

甲南大学学則

(昭和 26 年 3 月 15 日)
認 可

改正 令和 7 年 3 月 28 日

第 1 章 総則

第 1 条 本大学は、教育基本法(平成 18 年法律第 120 号)及び学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に則り、学術の府として広くかつ深く学芸を教授研究するとともに、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的とする。

第 2 章 組織

第 2 条 本大学は、学部及び大学院よりなる。

第 3 条 本大学に次の学部・学科を置く。

学部	学科
文学部	日本語日本文学科
	英語英米文学科
	社会学科
	人間科学科
	歴史文化学科
理工学部	宇宙理学・量子物理工学科
	生物学科
	物質化学科
	環境・エネルギー工学科
経済学部	経済学科
法学部	法学科
経営学部	経営学科
知能情報学部	知能情報学科
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科
フロンティアサイエンス学部	生命化学科

2 本大学に大学設置基準(昭和 31 年文部省令第 28 号)に定める学部等連係課程実施基本組織として次の学環を置く。

学環
グローバル教養学環

第 3 条の 2 各学部・学科及び学環における人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標は次のとおりとする。

学部	学科	学環	人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標
文学部			幅広く深い教養を基盤に、人文科学の専門分野における調査、研究技量を磨く経験を通して、問題を見出し、考え、成果を言葉で表現する力を形成する。それによつて、仕事を含む人生の様々な活動に発生する問題を主体的に解決できる人材を社会に送り出す。

	日本語日本文学科	古典・近現代文学・日本語学・日本語教育学等のバランスの取れた教育・研究を通して、社会での活動の基盤である日本語の理解力・表現力を鍛えることを目標とする。
	英語英米文学科	実践的語学教育と並行して英語学及び英米の文化・文学の教育を行い、英語圏文化の深い理解に裏打ちされた英語運用能力を持つ人材を育成し、国際化する社会の要請に応える。
	社会学科	情報化、国際化の進展によつて急速に変化し、多様性や不確実性が高まっている社会の中で必要とされる「自ら調査・分析・表現・発信する実証的・実践的な態度と能力」を涵養する。
	人間科学科	心理学、哲学、芸術学の知を関連づけながら、理論と実践の両面から「人間とは何か」を探究することにより、社会の諸問題を多角的に捉え、柔軟に問題解決できる人材育成を目指す。
	歴史文化学科	人類がこれまで蓄積してきた有形・無形の文化遺産及び歴史の中における生活の場としての環境と人類との交流について歴史学、地理学・民俗学の分野から探求し、これら各分野を横断する総合的立場から教育を行う。
理工学部		自然科学の強固な学問的土台を身につけて、純粋理学と応用科学を融合させることのできる能力を養い、時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して創造性を発揮できる人材の育成を目指す。
	宇宙理学・量子物理工学科	時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して、問題の解決に果敢に挑み、創造性を発揮し、国際社会に貢献できる人材の養成を目的とし、物理学の基本的な知識及び論理的思考法・手法を講義と実験・実習科目による相補的な積み上げ方式によつて修得させ、卒業研究を通して総合的な問題解決能力を養う。
	生物学科	今日の社会が直面する生命や環境等に関わる諸問題を正しく理解し、それらの解決に貢献できる国際的視野を持った人材の養成を目的とし、そのために必要な現代生物学の専門知識と技術及びそれらを十分に活用するための思考力を修得させる。
	物質化学科	科学技術に携わる者に求められる責任感と倫理観を有し、化学の専門知識並びに自然科学に対する柔軟な思考力を身につけた人材の養成を目的とし、化学の基礎的な知識・豊富な経験に基づく課題設定能力・解決能力を得て、現代社会の要請に応えることのできる能力を獲得させる。
	環境・エネルギー工学科	現代社会が抱える種々の課題の中でも、環境・資源・エネルギーに係わる課題に取り組むうえで必要な化学・物理学・地学の基礎知識、ならびに環境・エネルギー工学に関する専門知識を身につけた人材の養成を目的とし、環境・エネルギー工学分野での課題設定能力・問題解決能力を修得して、実社会の養成に応えることのできる能力を獲得させる。
経済学部	経済学科	経済学の学習を通じて、変化の激しい経済社会で充実した活動ができる知性と創造力を備えた人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、経済・社会問題を的確に捉える能力、筋道を立てて問題を考える能力、自らの力で解決策を示す能力を求める。
法学部	法学科	法曹・行政・経済をはじめ社会の様々な分野で指導的な役割を担うことができる人材を養成するため、学生の個性尊重を旨として、法及び政治に関する専門知識の修得と思考力の涵養を通じて、個々の学生の論理的な思考力と柔軟な応用力を培うことを教育目標とする。
経営学部	経営学科	ヒト・モノ・カネ・情報等からなる組織（企業）の存続・発展のあり方について、自律的な洞察力を有し、社会に資するビジネスパーソンの養成を目的とする。このために学生が修得すべき能力として、次の各能力を求める。

		<p>(1) 幅広い教養に裏付けられた経営学の知識・理解力</p> <p>(2) 各種スキルと論理的思考力に支えられた経営問題の発見・説明・解決力</p> <p>(3) ビジネスパーソンに必要な社会的協調力と自発的遂行力及び倫理的責任力</p> <p>(4) トータルな人間性と豊かな個性に基づいた社会的貢献力</p>
知能情報学部	知能情報学科	人間力をベースに、感性・知性で高度国際情報社会におけるリーダーシップがとれる人材の育成を目指す。そのため、数学的基礎学力、知能情報学における専門知識、効果的な発表能力並びにコミュニケーション能力の修得を目標とする。
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	自ら学ぶ力を涵養し、営利、非営利、パブリックなどいずれの分野にあつても、社会的責任を創造的に果たしていくマネジメント能力を開発し、世界に貢献しうる人物育成を目指す。
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能を修得させることにより、社会の発展、福祉の増進のためとくに生命化学分野におけるフロンティア開発に資する人材を養成する。
グローバル教養学環		多様な文化と言語背景を持つ人々と関わり効果的に協働することを可能にする複数言語の運用能力、異文化間の価値観の異なりや多様性に起因する問題に対する異文化間調整能力、AI・データサイエンス、ICTの活用などを含めた文理横断的な知識と技能、課題解決のための企画立案・提案力を備え、グローバル社会又は地域社会の持続的発展に貢献することのできるグローバル人材の育成を目指す。

第4条 学部及び学環における学生の収容定員は、次のとおりとする。

学部及び学環	学 科	入学定員	収容定員
文学部	日本語日本文学科	70	280
	英語英米文学科	90	360
	社会学科	90	360
	人間科学科	95	380
	歴史文化学科	60	240
	計	405	1,620
理工学部	宇宙理学・量子物理工学科	45	180
	生物学科	45	180
	物質化学科	45	180
	環境・エネルギー工学科	40	160
	計	175	700
経済学部	経済学科	335	1,340
	計	335	1,340
法学部	法学科	330	1,320
	計	330	1,320
経営学部	経営学科	335	1,340
	計	335	1,340
知能情報学部	知能情報学科	120	480
	計	120	480
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	170	680
	計	170	680

フロンティアサイエンス学部	生命化学科	45	180
	計	45	180
グローバル教養学環		25	100
合 計		1,940	7,760

第5条 大学院に関する規程は、別に定める

第3章 授業科目及び履修方法

第6条 本大学の授業科目を、基礎共通科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、副専攻科目、単位互換科目、日本語特設科目、国際交流科目及び専門教育科目に分ける。

- 2 基礎共通科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、副専攻科目、単位互換科目、日本語特設科目、国際交流科目の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。
- 3 文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部及び知能情報学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(1)のとおりとする。
- 4 マネジメント創造学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(3)のとおりとする。
- 5 フロンティアサイエンス学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(4)のとおりとする。
- 6 グローバル教養学環における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(5)のとおりとする。
- 7 卒業に必要な単位数は、別表第2の(1)、別表第2の(3)、別表第2の(4)及び別表第2の(5)のとおりとする。

第6条の2 特定の分野又は課題に関する授業科目を体系的に編成する副専攻を置くことができる。

- 2 副専攻に関する規程については、別に定める。

第7条 本大学の修業年限は、4年とする。

第8条 中学校及び高等学校の教育職員免許状を得るために必要な教科及び教職に関する科目（教科に関する専門的事項の科目を除く。）の授業科目及び単位数は、別表第3のとおりとする。

第9条 教育職員免許状を得るための資格を得ようとする者は、別に定める教育職員養成課程に関する規程に従い、必要な単位を修得しなければならない。

- 2 本大学において、取得できる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

学 部	学 科	免許教科	免許状の種類
文学部	日本語日本文学科	国語	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
		英語	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
	社会学科	社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状
	人間科学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
	歴史文化学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状

理工学部	宇宙理学・量子物理工学科 生物学科 物質化学科 環境・エネルギー工学科	理科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
経済学部	経済学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
法学部	法学科	社会	中学校教諭一種免許状
		地理歴史	高等学校教諭一種免許状
		公民	
経営学部	経営学科	社会	中学校教諭一種免許状
		公民	高等学校教諭一種免許状
		商業	
知能情報学部	知能情報学科	数学	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
		情報	高等学校教諭一種免許状

第 10 条 図書館司書又は学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、別表第 4 の (1) に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第 10 条の 2 博物館学芸員の資格を得ようとする者は、別表第 4 の (2) に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第 10 条の 3 公認心理師の受験資格を得るために大学において必要な科目を修めようとする者は、別表第 4 の (3) に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第 11 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 4 5 時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

- (1) 講義及び演習については、1 5 時間から 3 0 時間までの範囲の授業をもつて 1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、3 0 時間から 4 5 時間までの範囲の授業をもつて 1 単位とする。
- (3) 一つの授業科目のなかで、講義、演習、実験、実習又は実技のうち 2 以上の方法の併用により行う場合の授業科目については、その組み合わせに応じ、前 2 号に規定する基準を考慮して定める時間の授業をもつて 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業実験等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第 11 条の 2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本大学は、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 本大学は、第 1 項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 本大学は、第 1 項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

第 11 条の 3 学生に対して、授業の方法及び内容並びに 1 年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第4章 試験及び学士の学位

第12条 学生は、学期の初めに履修を希望する授業科目を届け出て承認を得なければならない。

第12条の2 教育上有益と認めるときは、他の大学（外国の大学を含む。）との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることがある。

2 前項により修得した単位は、60単位を限度として、本大学において修得した単位とみなすことができる。

3 第1項の規定に基づく外国留学（以下「留学」という。）に関しては、この学則に定めるもののほか別に定める。

第13条 単位の認定は、試験その他適当な方法による。ただし、実験、実習、演習、体育の実技等は、平常の成績によることができる。

2 授業科目の成績の評価は、秀（AA）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D）の5種とし、その評点は、100点を満点として次のとおり定める。

秀（AA）	90点以上	}	合格
優（A）	80点以上90点未満		
良（B）	70点以上80点未満		
可（C）	60点以上70点未満		
不可（D）	60点未満		不合格

第14条 試験は、原則として学期末又は学年末に行う。

第15条 削除

第16条 4年以上在学して第6条に掲げられた所定の授業科目及び履修方法により卒業に必要な単位数を修得した者には、学部教授会又は学環会議及び合同教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与する。

2 本大学に3年以上在学した学生が、別に定める規程に従い卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認められる場合には、第7条に規定する修業年限の特例扱いとして学部教授会又は学環会議及び合同教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与することができる。

第16条の2 前条第1項の定めにかかわらず、卒業に必要な要件を満たした者が目標とする進路、資格等を獲得するために卒業を保留し、引き続き在学を希望した場合、学部教授会又は学環会議及び合同教授会の審議を経て、学長は卒業の延期を許可することができる。

2 卒業の延期に関する事項については、別に定める。

第17条 本大学を卒業した者には、学部・学科及び学環に応じて、次のとおり学士の学位を授与する。

文学部	日本語日本文学科 英語英米文学科 社会学科 人間科学科 歴史文化学科	学士(文学) 学士(文学) 学士(社会学) 学士(文学) 学士(文学)
理工学部	宇宙理学・量子物理工学科 生物学科 物質化学科 環境・エネルギー工学科	学士(理学)又は学士(理工学) 学士(理学) 学士(理工学) 学士(理工学)
経済学部	経済学科	学士(経済学)
法学部	法学科	学士(法学)
経営学部	経営学科	学士(経営学)
知能情報学部	知能情報学科	学士(知能情報学)

マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	学士（マネジメント）
フロンティアサイエンス学部	生命化学科	学士（理工学）
グローバル教養学環		学士（グローバル教養）

第5章 学年、学期及び休業日

第18条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第19条 学年は、前期・後期の2学期に分ける。

前 期 4月1日～9月16日

後 期 9月17日～3月31日

第20条 休業日を次のとおり定める。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 本学園創立記念日（4月21日）

(4) 夏期休業日、冬期休業日は学年暦によるものとする。

2 学長は、学年暦編成上必要ある場合は、前項の休業日を授業日に変更することができる。

3 学長は、必要に応じ臨時に授業を休止又は変更することができる。

第6章 入学、転学部、留学、休学、除籍及び退学

第21条 入学の時期は、学年初めとする。

第22条 本大学の第1年次に入学する資格のある者は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

(1) 高等学校又は中等教育学校の卒業生

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(7) その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者

第23条 入学は、選考によつて学長が決定する。

第24条 選考によつて入学を決定された者は、所定の期日までに入学に必要な手続をしなければならない。

第25条 本大学への編入学を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

2 編入学についての細則は、別に定める。

第26条 本大学を卒業し、さらに本大学の他の学部・学科及び学環に学士入学を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

2 学士入学についての細則は、別に定める。

第27条 他の学部へ転学部を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

2 転学部についての細則は、別に定める。

第27条の2 第12条の2の規定に基づく留学を希望する者は、願い出て学長の許可を受けなければならない

ない。

2 前項により留学をした期間は、第 16 条及び第 29 条に規定する在学期間に算入する。

第 28 条 疾病その他やむを得ない理由により休学を願い出る者があるときは、学長は、これを許可することができる。

2 疾病のため修学に適さないと認められる者については、学長が休学を命ずることがある。

3 海外渡航の期間が 6 箇月以上にわたるときは、休学しなければならない。

4 休学の期間は、継続して 2 年を、通算して 4 年を超えることができない。

5 休学期間中に復学を願い出る者があるときは、学長は、これを許可することができる。

6 休学の期間は、第 16 条及び次条に規定する在学期間に算入しない。

第 29 条 本大学に在学する期間は、8 年を超えることができない。

2 在学期間が 8 年を超える場合は、除籍する。

第 30 条 学費を納付しない者は、除籍する。ただし、1 年以内に復籍を願い出たとき、又は 1 年経過後再入学を願い出たときは、審議の上、学長は、これを許可することができる。

第 30 条の 2 死亡又は行方不明となつた者は、除籍する。

第 31 条 疾病その他やむを得ない理由によつて退学しようとするときは、学長の許可を受けなければならない。

第 32 条 前条により退学した者が再入学を願い出たときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

第 33 条 他の大学へ入学又は転学を願い出ようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

第 7 章 科目等履修生、研究生、聴講生、特別聴講生及び高大連携聴講生

第 34 条 特定の授業科目について履修を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、科目等履修生として許可することができる。

2 科目等履修生規程については、別に定める。

第 34 条の 2 本大学専任教員の指導を受け、特定の事項について研究をしようとする者があるときは、選考の上、学長は、研究生として許可することができる。

2 研究生規程については、別に定める。

第 34 条の 3 特定の授業科目について聴講を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、聴講生として許可することができる。

2 聴講生規程については別に定める。

第 34 条の 4 他の大学との協議に基づき、本大学の授業科目を履修させる場合には、選考の上、学長は、特別聴講生として許可することができる。

第 34 条の 5 甲南高等学校との協議及び教育委員会又は高等学校との協定に基づき、当該高校生が本大学が指定する授業科目の聴講を願い出る場合は、選考の上、学長は、高大連携聴講生として許可することができる。

2 高大連携聴講生については、別に定める。

第 7 章の 2 特別の課程

第 34 条の 6 学校教育法に規定する本大学の学生以外の者を対象とした特別の課程として、履修証明プログラムを編成することができる。

2 履修証明プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

第7章の3 外国人留学生

第34条の7 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に定める留学という在留資格の取得を必要とする者が、本大学に入学しようとする場合は、選考の上、学長は、外国人留学生として、これを許可することができる。

2 外国人留学生の受入れについては、別に定める。

第8章 賞罰

第35条 学業、人物、文化芸術、運動等の分野において優秀な者は表彰する。

第36条 学生に本大学の規則に違反し、又は学生の本分にもとる行為があると認めるときは、合同教授会の審議を経て、学長が懲戒を決定する。

2 学生の懲戒に関する規程は、別に定める。

第37条 懲戒処分は、訓告、停学及び退学とする。退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
- (4) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第9章 入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料、聴講生検定料、入学金、授業料、研究資料費、実験費、実習費、復籍料、在籍料、学修在籍料、科目等履修料、研究生登録料及び聴講料

第38条 本大学に入学を願い出る者は、別表第5に定める入学受験料を納付しなければならない。

2 本大学に科目等履修生を願い出る者は、別表第5に定める科目等履修生検定料を納付しなければならない。

3 研究生を願い出る者は、別表第5に定める研究生申請料を納付しなければならない。

4 聴講生を願い出る者は、別表第5に定める聴講生検定料を納付しなければならない。

第39条 本大学に入学を許可された者は、別表第6に定める入学金を納付しなければならない。

第40条 学生は、別表第7の(1)に定める授業料を納付しなければならない。実験又は実習を要する授業科目を履修する者は、別表第7の(2)に定める実験費又は別表第7の(3)に定める実習費を納付しなければならない。

2 文学部人間科学科1年次学生は、別表第7の(1)に定める研究資料費を納付しなければならない。

3 休学中の者は、別表第7の(4)に定める在籍料を納付しなければならない。

4 第30条により復籍を許可された者は、復籍料を納付しなければならない。

5 第16条の2により卒業の延期を許可された者は、別表第7の(6)に定める学修在籍料を納付しなければならない。

第41条 科目等履修生は、別表第7の(5)に定める科目等履修料を納付しなければならない。

第41条の2 研究生は、別表第7の(5)に定める研究生登録料を納付しなければならない。

第41条の3 聴講生は、別表第7の(5)に定める聴講料を納付しなければならない。

第42条 入学金、授業料、研究資料費、実験費、実習費、復籍料、在籍料、学修在籍料、科目等履修料、研究生登録料、聴講料、履修証明プログラム履修料等の学費及び入学受験料、科目等履修生検定料、研

研究生申請料、聴講生検定料の徴収については、別に定める。

第 43 条 既納の学費、入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料及び聴講生検定料は、返還しない。
2 入学許可を得た者で、指定の期日までに入学手続きの取消しを願い出たものについては、前項にかかわらず、入学金又はこれに相当する金額を除く学費を返還することがある。

第 10 章 図書館

第 44 条 本大学に図書館を置く。
2 図書館に関する規程は、別に定める。

第 44 条の 2 削除
2 削除

第 11 章 研究所

第 45 条 本大学に総合研究所を置く。
2 総合研究所に関する規程は、別に定める。

第 45 条の 2 削除

第 45 条の 3 削除

第 45 条の 4 本大学に人間科学研究所を置く。
2 人間科学研究所に関する規程は、別に定める。

第 45 条の 5 本大学に先端生命工学研究所を置く。
2 先端生命工学研究所に関する規程は、別に定める。

第 45 条の 6 本大学にフロンティア研究推進機構を置く。
2 フロンティア研究推進機構に関する規程は、別に定める。

第 45 条の 7 削除

第 45 条の 8 本大学にビジネス・イノベーション研究所を置く。
2 ビジネス・イノベーション研究所に関する規程は、別に定める。

第 45 条の 9 削除

第 45 条の 10 削除

第 12 章 全学教育推進機構

第 46 条 本大学に全学教育推進機構を置く。
2 全学教育推進機構に関する規程は、別に定める。

第 46 条の 2 全学教育推進機構の下に、全学共通教育センターを置く。
2 全学共通教育センターに関する規程は、別に定める。

第 46 条の 3 全学教育推進機構の下に、スポーツ・健康科学教育研究センターを置く。
2 スポーツ・健康科学教育研究センターに関する規程は、別に定める。

第 46 条の 4 全学教育推進機構の下に、教育学習支援センターを置く。
2 教育学習支援センターに関する規程は、別に定める。

第 46 条の 5 全学教育推進機構の下に、国際言語文化センターを置く。
2 国際言語文化センターに関する規程は、別に定める。

第 46 条の 6 全学教育推進機構の下に、グローバル教養学環を置く。
2 グローバル教養学環に関する規程は、別に定める。

第 13 章 削除

第 47 条 削除

第 13 章の 2 削除

第 47 条の 2 削除

第 13 章の 3 学生支援機構

第 47 条の 3 本大学に学生支援機構を置く。
2 学生支援機構に関する規程は、別に定める。

第 47 条の 4 学生支援機構の下に、学生生活支援センターを置く。
2 学生生活支援センターに関する規程は、別に定める。

第 47 条の 5 学生支援機構の下に、学生相談センターを置く。
2 学生相談センターに関する規程は、別に定める。

第 14 章 削除

第 48 条 削除

第 14 章の 2 削除

第 48 条の 2 削除

第 14 章の 3 国際交流センター

第 48 条の 3 本大学に国際交流センターを置く。
2 国際交流センターに関する規程は、別に定める。

第 14 章の 4 教職教育センター

第 48 条の 4 本大学に教職教育センターを置く。
2 教職教育センターに関する規程は、別に定める。

第 14 章の 5 社会連携機構

第 48 条の 5 本大学に社会連携機構を置く。
2 社会連携機構に関する規程は、別に定める。

第 48 条の 6 社会連携機構の下に、地域連携センターを置く。
2 地域連携センターに関する規程は、別に定める。

第 48 条の 7 社会連携機構の下に、リカレント教育センターを置く。

2 リカレント教育センターに関する規程は、別に定める。

第 1 4 章の 6 公認心理師養成センター

第 48 条の 8 本学に公認心理師養成センターを置く。

2 公認心理師養成センターに関する規程は、別に定める。

第 1 5 章 教職員組織

第 49 条 本大学に学長、教授、准教授、講師、助教及びその他の職員を置く。

2 職制に関する規程は、別に定める。

第 1 6 章 教授会

第 50 条 本大学に合同教授会、学部教授会、全学共通教育センター教員会議及び学環会議（以下、「教授会等」という。）を置く。

2 教授会等は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、これを審議し、意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会等の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

3 教授会等は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会等が置かれる組織の長（以下、この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

第 51 条 削除

第 52 条 削除

第 53 条 合同教授会に関する規程は、別に定める。

第 54 条 削除

第 55 条 削除

第 55 条の 2 削除

第 55 条の 3 削除

第 56 条 各学部の教授会及び全学共通教育センターの教員会議に関する規程は、別に定める。

2 前項に定める教授会等の下に、各種委員会を設置することができる。

第 1 7 章 削除

第 57 条 削除

第 58 条 削除

第 59 条 削除

第 60 条 削除

第 1 7 章の 2 削除

第 60 条の 2 削除

第 60 条の 3 削除

第 60 条の 4 削除

第 60 条の 5 削除

第 18 章 大学会議

第 61 条 本大学に大学会議を置く。

第 62 条 削除

第 63 条 削除

第 64 条 大学会議に関する規程は、別に定める。

第 19 章 自己点検・評価、認証評価、情報公開等

第 65 条 本大学は、教育研究水準の向上を図り、本大学の目的及び社会的使命を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、本大学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

2 前項の点検及び評価に関する規程は、別に定める。

3 本大学は、第 1 項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

第 66 条 本大学は、本大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第 67 条 本大学は、本大学における教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によつて、積極的に情報を提供するものとする。

附 則

この学則は、昭和 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 4 条のグローバル教養学環入学定員及び収容定員は、法学部法学科及びマネジメント創造学部マネジメント創造学科の入学定員及び収容定員の内数とし、グローバル教養学環の入学定員及び収容定員に係る各学科の内数は、次のとおりとする。

学部及び学環	学科	入学定員	収容定員
法学部	法学科	345 (15)	1,380 (60)
	計	345 (15)	1,380 (60)
マネジメント創造学部	マネジメント創造学科	180 (10)	720 (40)
	計	180 (10)	720 (40)

※ () は、グローバル教養学環の入学定員及び収容定員に係る各学科の内数を示す。

附 則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和8年4月1日から施行する。

別表第1

ア 基礎共通科目

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
人文科学系			社会科学系		
A群 リベラル アーツ	哲学	2	A群 リベラル アーツ	社会学	2
	倫理	2		社会学	2
	心理	2		社会学	2
	歴史	2		社会学	2
	文芸	2		政治学	2
	哲学プラクティス	2		地理学	2
	女性学	2		国際関係論	2
現代の芸術	2				
宗教学	2				
B群 人間を学ぶ	生態人類学	2	B群 経済を学ぶ	産業界と経済	2
	環境と文化	2		企業と情報	2
	芸術と社会学	2		歴史と経済	2
	生命と倫理	2		現代社会と企業	2
	人権(同和)の問題	2		世界と経済	2
	感情・人格心理学	2		暮らしと経済	2
	DE&I入門	2		福祉と経済	2
		社会とファイナンス	2		
		SDGsとISO国際標準	2		
C群 文化を学ぶ	ことばと社会学	2	C群 社会を学ぶ	現代社会学論	2
	コミュニケーション論	2		現代都市論	2
	イメージと文化	2		公共哲学	2
	日本語の諸相	2		環境人間学	2
	比較文化論	2		社会福祉論	2
	芸術学基礎論	2		家族関係論	2
	現代思想	2		歴史と社会学	2
	近現代の文学	2		ボランティア論	2
	日本研究	2		グローバル化と文化	2
越境する文化と文学	2	地域連携入門	2		
伝統文化を学ぶ	2	地域とメディア	2		
D群 歴史を学ぶ	社会思想史	2	D群 法と政治を学ぶ	日本国憲法	2
	歴史と文化	2		社会生活と法	2
	文学と歴史	2		現代政治論	2
	地域と文化	2		法と情報学	2
	芸術史	2		環境法	2
	歴史とメディア	2		家族関係と法	2
	国際化の歴史	2		少子高齢社会と法	2
	生活の歴史	2		財産と法	2
		消費者問題	2		
		市場と法	2		
		組織と法	2		
		まちづくりと行政	2		
		地域創生	2		

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
自然科学系			学際融合系		
A群 リベラルアーツ	数 学	2	ケ ア の 論 理	2	
	物 理	2	ラ イ フ プ ラ ン 教 育	2	
	化 学	2	癒 し の 諸 相	2	
	生 物	2	自 己 の 探 求	2	
	地 生 命 化	2	心 の 健 康 科 学	2	
B群 自然の歴史を学ぶ	生 命 化	2	保 健 衛 生	2	
	地 球 の 歴 史	2	人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病	2	
	生 物 の 歴 史	2	環 境 教 育 の 実 践	2	
	自 然 と 人 間	2	食 品 科 学	2	
	自 然 科 学 史	2	フ ロ ン ト ラ ン ナ ー 講 座	2	
	技 術 の 歴 史	2	情 報 社 会 の セ キ ュ リ テ ィ	2	
	環 境 と 地 理	2	社 会 を 読 み 解 く (クリティカルシンキング)	2	
C群 現代科学を学ぶ	現 代 生 活 と 物 理 学	2	文 章 表 現 論	2	
	現 代 生 活 と 生 物 学	2	国際言語文化系		
	現 代 生 活 と 数 理 科 学	2	ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 を 学 ぶ	2	
	現 代 生 活 と 最 先 端 科 学	2	ア ジ ア の 文 化 を 学 ぶ	2	
	核 と 環 境	2	ヨ ー ロ ッ パ の 言 語 と 社 会	2	
	環 境 の 化 学	2	ア ジ ア の 言 語 と 社 会	2	
	大 気 と 海 洋	2	国 際 理 解	2	
	国 際 化 と 情 報 ネットワーク	2	国 際 理 解 E n g l i s h	2	
	国 際 社 会 に お け る 最 先 端 科 学	2	日 本 理 解	2	
	現 代 生 活 と 生 命 化 学	2	J a p a n T o p i c s	2	
	Science in the world Today	2	C u l t u r e T o p i c s I	2	
	Science, Technology and SDGs	2	C u l t u r e T o p i c s II	2	
	Science News	2	E n g l i s h f o r S c i e n c e	2	
D群 情報を学ぶ	知 能 情 報	2	S c i e n c e W r i t i n g	2	
	生 体 情 報	2	スポーツ健康系		
	感 性 情 報	2	ス ポ ー ツ 心 理 学	2	
	生 命 情 報	2	ス ポ ー ツ 運 動 学	2	
	認 知 科 学	2	ス ポ ー ツ 文 化 論	2	
			ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	2	
			生 涯 ス ポ ー ツ 論	2	
			ス ポ ー ツ 社 会 学	2	
			ス ポ ー ツ 医 学	2	
			運 動 生 理 学	2	
			健 康 と 生 命 科 学	2	
			ス ポ ー ツ コ ー チ ン グ 論	2	
			ト レ ー ニ ン グ 論	2	
			基 礎 ス ポ ー ツ 健 康 科 学	2	
			導入共通科目		
			甲 南 大 学 と 平 生 鈞 三 郎	2	
			共 通 基 礎 演 習	2	
			I T 基 礎	2	
			AI・データサイエンス入門	2	

履修方法

- 1 文学部、経済学部、法学部及び経営学部の学生は、次に定めるとおり18単位を修得しなければならない。
 - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ4単位以上
 - (2) 学際融合系、国際言語文化系、スポーツ健康系の授業科目の中から、2単位以上
 - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「IT基礎」「AI・データサイエンス入門」の中から、2単位以上
- 2 国際言語文化副専攻に登録した文学部、経済学部、法学部及び経営学部の学生は、上記の第1項にかかわらず、基礎共通科目及び第2号に定める外国語科目から次に定めるとおり18単位を修得しなければならない。
 - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ2単位以上
 - (2) 国際言語文化系の授業科目、外国語科目「中級英語Writing」「中級英語Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ」「中級ドイツ語Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ」「中級フランス語Ⅱ」「中級中国語Ⅰ」「中級中国語Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ」「中級韓国語Ⅱ」の中から、8単位
 - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「IT基礎」「AI・データサイエンス入門」の中から、2単位以上
- 3 スポーツ健康副専攻に登録した文学部、経済学部、法学部及び経営学部の学生は、上記の第1項にかかわらず、基礎共通科目から次に定めるとおり18単位を修得しなければならない。
 - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ2単位以上
 - (2) スポーツ健康系の授業科目の中から、8単位
 - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「IT基礎」「AI・データサイエンス入門」の中から、2単位以上
- 4 理工学部及び知能情報学部の学生は、次に定めるとおり16単位を修得しなければならない。
 - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ4単位
 - (2) 学際融合系、国際言語文化系、スポーツ健康系の授業科目の中から、2単位
 - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「AI・データサイエンス入門」の中から、2単位
- 5 国際言語文化副専攻に登録した理工学部及び知能情報学部の学生は、上記の第4項にかかわらず、次に定めるとおり16単位を修得しなければならない。
 - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ2単位
 - (2) 国際言語文化系の授業科目の中から、8単位
 - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「AI・データサイエンス入門」の中から、2単位
- 6 スポーツ健康副専攻に登録した理工学部及び知能情報学部の学生は、上記の第4項にかかわらず、次に定めるとおり16単位を修得しなければならない。
 - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ2単位
 - (2) スポーツ健康系の授業科目の中から、8単位
 - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「AI・データサイエンス入門」の中から、2単位
- 7 フロンティアサイエンス学部の学生は、次に定める授業科目の中から10単位を修得しなければならない。
 - (1) 人文科学系、社会科学系、学際融合系（「フロントランナー講座」を除く。）、国際言語文化系、スポーツ健康系の授業科目
 - (2) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「AI・データサイエンス入門」
- 8 マネジメント創造学部の学生は、次に定める授業科目の中から8単位を修得しなければならない。
 - (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系、学際融合系、国際言語文化系、スポーツ健康系の授業科目
 - (2) 導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」「AI・データサイエンス入門」

- 9 グローバル教養学環の学生は、次に定める授業科目の中から 18 単位を修得しなければならない。
- (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ 4 単位以上
 - (2) 学際融合系、国際言語文化系、スポーツ健康系の授業科目の中から、2 単位以上
 - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈆三郎」「共通基礎演習」「IT 基礎」の中から、2 単位以上
- 10 スポーツ健康副専攻に登録したグローバル教養学環の学生は、上記の第 9 項にかかわらず、基礎共通科目から次に定めるとおり 18 単位を修得しなければならない。
- (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ 2 単位以上
 - (2) スポーツ健康系の授業科目の中から、8 単位
 - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈆三郎」「共通基礎演習」「IT 基礎」の中から、2 単位以上
- 11 文学部、経済学部、法学部及び経営学部の外国人留学生（正規留学生）入学試験に合格して入学した学生は、上記第 1 項にかかわらず、次に定めるとおり 18 単位を修得しなければならない。
- (1) 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ 2 単位以上
 - (2) 学際融合系、スポーツ健康系、国際言語文化系の授業科目の中から、2 単位以上
 - (3) 導入共通科目「甲南大学と平生鈆三郎」「共通基礎演習」「IT 基礎」「AI・データサイエンス入門」の中から、2 単位以上
 - (4) 外国語科目「大学日本語中級Ⅰ」「大学日本語中級Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ」「大学日本語上級Ⅱ」の中から、4 単位以上

イ 外国語科目

授 業 科 目				単位数	備 考	授 業 科 目				単位数	備 考
基礎 外国語	英語	Skill - based	College English Reading	1		英語	Test Preparation	上級英語 TOEIC		4	
			College English Writing	1				Content - based	上級英語 Global Topics I	2	
			College English Listening	1					上級英語 Global Topics II	2	
			College English Speaking	1					上級英語 Life Topics I	2	
		Content/Project-based	College English Topics I	1			上級英語 Life Topics II		2		
			College English Topics II	1			上級英語 Career English I		2		
			College English Project I	1			上級英語 Career English II		2		
			College English Project II	1							
	ドイツ語	基礎ドイツ語Ⅰ	2	上級 外国語		ドイツ語	上級ドイツ語Ⅰ	4			
		基礎ドイツ語Ⅱ	2				上級ドイツ語Ⅱ	4			
	フランス語	基礎フランス語Ⅰ	2			フランス語	上級フランス語Ⅰ	4			
		基礎フランス語Ⅱ	2				上級フランス語Ⅱ	4			
	中国語	基礎中国語Ⅰ	2			中国語	上級中国語Ⅰ	4			
		基礎中国語Ⅱ	2				上級中国語Ⅱ	4			
韓国語	基礎韓国語Ⅰ	2	韓国語		上級韓国語Ⅰ	4					
	基礎韓国語Ⅱ	2			上級韓国語Ⅱ	4					
日本語	大学日本語入門Ⅰ	2									
	大学日本語入門Ⅱ	2									

履修方法

- 1 文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部、知能情報学部及びグローバル教養学環の学生は、次に定めるとおり8単位を修得しなければならない。
 - (1) 基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位を修得しなければならない。
 - (2) 基礎外国語のうち、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語について1外国語4単位を修得しなければならない。
 - (3) 上記(2)にかかわらず、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生は、基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位及び日本語4単位を修得しなければならない。
- 2 理工学部及び知能情報学部の学生は、次に定めるとおり8単位を修得しなければならない。
 - (1) 基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位を修得しなければならない。
 - (2) 基礎外国語のうち、英語 (Content/Project-based)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語について1外国語4単位を修得しなければならない。
 - (3) 上記(2)にかかわらず、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生は、基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位及び日本語4単位を修得しなければならない。
- 3 フロンティアサイエンス学部の学生は、基礎外国語のうち、英語 (Skill-based) 4単位を修得しなければならない。
- 4 外国語科目のうち、日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

ウ 保健体育科目

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
スポーツ健康マネジメント演習Ⅰ	1		生涯スポーツ・レクリエーションスポーツⅠ	1	
スポーツ健康マネジメント演習Ⅱ	1		生涯スポーツ・レクリエーションスポーツⅡ	1	
生涯スポーツ・バドミントンⅠ	1		生涯スポーツ・ジョギングⅠ	1	
生涯スポーツ・バドミントンⅡ	1		生涯スポーツ・トレーニング実習Ⅰ	1	
生涯スポーツ・硬式テニスⅠ	1		生涯スポーツ・トレーナー実習Ⅰ	1	
生涯スポーツ・硬式テニスⅡ	1		生涯スポーツ・フィットネス実習Ⅰ	1	
生涯スポーツ・卓球Ⅰ	1		生涯スポーツ・スノースポーツⅠ	1	
生涯スポーツ・エアロビクスⅠ	1		生涯スポーツ・スノースポーツⅡ	1	
生涯スポーツ・ゴルフⅠ	1		履修方法 「スポーツ健康マネジメント演習Ⅰ」及び「スポーツ健康マネジメント演習Ⅱ」2単位を修得しなければならない。		
生涯スポーツ・ゴルフⅡ	1				
生涯スポーツ・健康柔道Ⅰ	1				
生涯スポーツ・健康柔道Ⅱ	1				
生涯スポーツ・バスケットボールⅠ	1				
生涯スポーツ・バスケットボールⅡ	1				
生涯スポーツ・バレーボールⅠ	1				
生涯スポーツ・バレーボールⅡ	1				
生涯スポーツ・フットサルⅠ	1				
生涯スポーツ・フットサルⅡ	1				

エ キャリア創生共通科目

授 業 科 目	単位数	備 考
演習	共通応用演習Ⅰ	2
	共通応用演習Ⅱ	2
	文理融合総合研究	8

キャリアデザイン系	ベーシック・キャリアデザイン	2	
	キャリア実習	2	
	キャリアゼミ	2	
	プラクティカル・キャリアデザインⅠ	2	
	プラクティカル・キャリアデザインⅡ	2	
	アドバンスト・キャリアデザイン	2	
ビジネス系	入門 マネジメント	2	
	実践 マネジメント	2	
	入門 パーソナルファイナンス	2	
	応用 パーソナルファイナンス	2	
	入門 ビジネス会計	2	
	実践 ビジネス会計	2	
	入門 商業簿記Ⅰ	2	
	入門 商業簿記Ⅱ	2	
	中級 簿記	4	
	工業簿記	4	
	上級 簿記Ⅰ	2	
	上級 簿記Ⅱ	2	
	上級 財務諸表論Ⅰ	2	
	上級 財務諸表論Ⅱ	2	
	上級 工業簿記	2	
	上級 原価計算	2	
起業・アントレプレナーシップを学ぶ	2		
政策・法務系	ビジネスを支える法の世界	2	
	入門 ビジネス法務	2	
	実践 ビジネス法務	2	
	入門 民法 財産法編Ⅰ	2	
	入門 民法 財産法編Ⅱ	2	
	実践 民法Ⅰ	2	
	実践 民法Ⅱ	2	
	実践 民法Ⅲ	2	
	実践 民法Ⅳ	2	
	実践 民法Ⅴ	2	
	実践 民法Ⅵ	2	
	入門 商法 会社法編	2	
	証券市場と法	2	
	金融取引と法	2	
	証券業と法	2	
公共政策論Ⅰ	2		
公共政策論Ⅱ	2		
知的財産とイノベーションⅠ	2		
知的財産とイノベーションⅡ	2		
情報系	IT 応用	2	
	情報通信テクノロジーⅠ	2	
	情報通信テクノロジーⅡ	2	
	ICT セキュリティ	2	
	基本情報技術	2	
	統計基礎	2	
	データサイエンス基礎	2	
	統計活用情報分析Ⅰ	2	
	統計活用情報分析Ⅱ	2	

国際系	グローバル・コミュニケーション I	4	
	グローバル・コミュニケーション II	4	
	エリアスタディーズ I	2	
	エリアスタディーズ II	2	
	エリアスタディーズ III	2	
	エリアスタディーズ IV	2	
	エリアスタディーズ V	2	
	エリアスタディーズ VI	2	
	エリアスタディーズ VII	2	
	エリアスタディーズ VIII	2	
	エリアスタディーズ IX	2	
	エリアスタディーズ X	2	
	世界の 中の 日本 I	2	
	世界の 中の 日本 II	2	
	海外 ボランティア I	4	
海外 ボランティア II	2		
海外 キャリア 実習	4		
ボランティア・地域連携系	実践 ボランティア I	1	
	実践 ボランティア II	1	
	地域 ファシリテイト	2	
	地域 プロジェクト I	2	
	地域 プロジェクト II	2	
福祉・スポーツ健康科学系	応用 スポーツ健康科学	2	
	障害者・障害児心理学	2	
	福祉心理学	2	

オ 副専攻科目

授業科目	単位数	備考
副専攻外国留学科目 I	2	
副専攻外国留学科目 II	2	
副 専 攻 演 習	2	

カ 単位互換科目

- (1) 甲南女子大学との単位互換協定に関する科目 (1科目2又は4単位)
- (2) 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学間単位互換協定に関する科目 (1科目1から4単位)

キ 削除

ク 日本語特設科目

授 業 科 目	単位数	備考
日 本 語 I	10	
日 本 語 II	10	
日 本 語 III	10	
日 本 語 IV	10	
日 本 語 V	10	
履修方法 Year-in-Japanプログラム参加留学生用		
中 級 日 本 語 I	2	
中 級 日 本 語 II	2	

上級日本語	2	
日本の文化Ⅰ	2	
日本の文化Ⅱ	2	
履修方法 一般交換留学生用		

ケ 国際交流科目

授業科目		単位数	備考
ジャパNSTAディーズ	ジャパNSTAディーズ 1	3	
	ジャパNSTAディーズ 2	3	
	ジャパNSTAディーズ 3	3	
	ジャパNSTAディーズ 4	3	
	ジャパNSTAディーズ 5	3	
	ジャパNSTAディーズ 6	3	
	ジャパNSTAディーズ 7	3	
	ジャパNSTAディーズ 8	3	
	ジャパNSTAディーズ 9	3	
	ジャパNSTAディーズ 10	3	
	ジャパNSTAディーズ 11	3	
	ジャパNSTAディーズ 12	3	
	ジャパNSTAディーズ 13	2	
	ジャパNSTAディーズ 14	2	
履修方法 甲南大学外国人留学生、本学学生共に履修可能			

別表第2の(1)

文学部

日本語日本文学科

授業科目			単位数	備考	授業科目			単位数	備考	
必修科目	日本文学概論 I		2	30 単位必修	日本語分野	言語学概論 I		2	4 単位以上 選択必修	
	日本文学概論 II		2			言語学概論 II		2		
	日本語学概論 I		2			日本語音声学 I		2		
	日本語学概論 II		2			日本語音声学 II		2		
	基礎演習 I		2			日本語語彙論 I		2		
	基礎演習 II		2			日本語語彙論 II		2		
	演習 I a		2			現代日本語研究 I		2		
	演習 I b		2			現代日本語研究 II		2		
	演習 II a		2			日本語学特殊講義 I		2		
	演習 II b		2							
	研究演習		2							
	卒業研究		8							
基礎科目	日本語表現法 I		2	16 単位以上 選択必修	発展科目	日本語と社会		2	4 単位以上 選択必修	
	日本語表現法 II		2			マスコミ言語研究 I		2		
	日本文学史 I a		2			マスコミ言語研究 II		2		
	日本文学史 I b		2			日本語教育概論 I		2		
	日本文学史 II a		2			日本語教育概論 II		2		
	日本文学史 II b		2			社会言語学 I		2		
	漢文学 I a		2			社会言語学 II		2		
	漢文学 I b		2			対照言語学 I		2		
	漢文学 II a		2			対照言語学 II		2		
	漢文学 II b		2			日本語学特殊講義 II		2		
	日本語史 I		2			日本語教育研究 I		2		
	日本語史 II		2			日本語教育研究 II		2		
日本語文法論 I		2	日本事情		2					
日本語文法論 II		2	日本語教授法研究 I		2					
発展科目	日本文学分野	古典文学	上代文学講読 I		2	共通分野	文学と表現 I		2	4 単位以上 選択必修
			上代文学講読 II		2		文学と表現 II		2	
			中古文学講読 I		2		日本文学特殊講義 I		2	
			中古文学講読 II		2		日本文学特殊講義 II		2	
			中世文学講読 I		2		比較文学特殊講義		2	
			中世文学講読 II		2		ことばの研究		2	
			近世文学講読 I		2		こどもの文学とことば		2	
			近世文学講読 II		2		関西のことばと文学		2	
			近世文学講読 III		2		日本の舞台芸術		2	
	近現代文学		近代文学講読 I		2		映像表現研究		2	
			近代文学講読 II		2		マンガ・アニメ史		2	
			近代文学講読 III		2		融合フォーラム (ジェンダー)		2	
			近代文学講読 IV		2		演習 III a		2	
			現代文学講読 I		2		演習 III b		2	
			現代文学講読 II		2		演書		2	
			現代文学講読 III		2					
			現代文学講読 IV		2					
			近代文学研究		2					
現代文学研究		2								

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
関連科目	横断演習Ⅰ	2	関連科目	民俗学の諸問題Ⅱ	2
	横断演習Ⅱ	2		地理学・民俗学資料研究Ⅰ	2
	英語圏文化Ⅰ	2		地理学・民俗学資料研究Ⅱ	2
	英語圏文化Ⅱ	2		古文書学Ⅰ	2
	英語の獲得と理解	2		古文書学Ⅱ	2
	社会心理学	2		IT応用	2
	文化人類学	2		阪神文化論	2
	多文化共生論	2			
	地域社会論	2			
	情報社会論	2			
	コミュニケーション研究	2			
	メディア研究	2			
	現代文化論	2			
	文学思想史	2			
	発達心理学	2			
	民俗学の諸問題Ⅰ	2			

卒業必要単位数

1 文学部日本語日本文学科の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	130単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

- (1) 文学部他学科の専門教育科目及び共通・関連科目
- (2) 中級・上級外国語（国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語Writing」「中級英語Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」及び「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。）については、16単位以内
- (3) 海外語学講座・留学支援科目については、8単位以内
- (4) 生涯スポーツについては、2単位以内
- (5) 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目及びキャリア創生共通科目については、あわせて16単位以内

英語英米文学科

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考					
必修	英米文化・文学入門	4	30 単位必修	D群 (リーディング)	講 読 演 習 I a	1	2 単位 以上 選択 必修	12 単位 以上 選択 必修		
	英 語 学 入 門	4			講 読 演 習 I b	1				
	基 礎 演 習 I a	1			講 読 演 習 II a	1				
	基 礎 演 習 I b	1			講 読 演 習 II b	1				
	基 礎 演 習 II a	1			講 読 演 習 III a	1				
	基 礎 演 習 II b	1			講 読 演 習 III b	1				
	Qualifying Test	2		E群 (ライティング)	英 作 文 I a	1	2 単位 以上 選択 必修			
	セ ミ ナ ー I a	2			英 作 文 I b	1				
	セ ミ ナ ー I b	2			英 作 文 II a	1				
	セ ミ ナ ー II a	2			英 作 文 II b	1				
	セ ミ ナ ー II b	2			英 作 文 III a	1				
	卒 業 研 究	8			英 作 文 III b	1				
文化・文学・英語学	A群 (英・米・英語圏文化)	英米文化探訪 I	2	4 単位 以上 選択 必修	F群 (スピーキング)	イングリッシュ・フォーラム Ia	1	2 単位 以上 選択 必修		
		英米文化探訪 II	2			イングリッシュ・フォーラム Ib	1			
		ブリティッシュ・スタディーズ I	2			イングリッシュ・フォーラム IIa	1			
		ブリティッシュ・スタディーズ II	2			イングリッシュ・フォーラム IIb	1			
		アメリカン・スタディーズ I	2			イングリッシュ・フォーラム IIIa	1			
		アメリカン・スタディーズ II	2			イングリッシュ・フォーラム IIIb	1			
		英米文化研究 I	2			G群 (英語力強化)	ボキャブラリー・ビルディング I		2	14 単位 以上 選択 必修
		英米文化研究 II	2				ボキャブラリー・ビルディング II		2	
		英語圏文化 I	2				ワークショップ I a		2	
	英語圏文化 II	2	ワークショップ I b	2						
	西洋史概説 I	2	ワークショップ II a	2						
	西洋史概説 II	2	ワークショップ II b	2						
	西洋史特論 II	2	ワークショップ III a	2						
			ワークショップ III b	2						
			時事英語 I	2						
	B群 (英・米・英語圏文学)	文学探訪 a	2	4 単位 以上 選択 必修	英語英米文学科専門その他	時事英語 II	2			
		文学探訪 b	2			C A L L I	2			
		イギリス文学思潮史 I	2			C A L L II	2			
イギリス文学思潮史 II		2	ビジネス・イングリッシュ I			1				
アメリカ文学思潮史 I		2	ビジネス・イングリッシュ II			1				
アメリカ文学思潮史 II		2	翻訳セミナー I			2				
英米文学研究 I		2	翻訳セミナー II			2				
英米文学研究 II		2	H群 (留学関連)			Japan in English I	2			
英語圏文学 I		2				Japan in English II	2			
英語圏文学 II	2	留学特別講座 I		4						
比較文学特殊講義	2	留学特別講座 II		4						
文学思想史	2	留学特別講座 III		4						
C群 (英語学)	英語の文法	2		4 単位 以上 選択 必修	English Studies I	2				
	英語の音声	2			English Studies II	2				
	英語の意味	2			English Studies III	2				
	英語の歴史	2			English Studies IV	2				
	英語のレキシコン	2	English Studies V		2					
	英語の獲得と理解	2	English Studies VI		2					
	英語学講座 I	2	English Studies VII		2					
	英語学講座 II	2	English Studies VIII		2					
	英語学講座 III	2								
	英語学講座 IV	2								
	英語学研究 I	2								
	英語学研究 II	2								

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
関連科目	西洋美術史	2	関連科目	芸術表象論	2
	歴史と思想	2		多文化共生論	2
	比較文化論	2		学習・言語心理学	2
	西洋史研究Ⅰ	2		心理学統計法	2
	西洋史研究Ⅱ	2		日本語文法論Ⅰ	2
	哲学入門	2		日本語文法論Ⅱ	2
	マンガ・アニメ史	2		日本語音声学Ⅰ	2
	融合フォーラム(ファンタジー)	2		日本語音声学Ⅱ	2
	融合フォーラム(文化と自然)	2		自然言語処理	2
	文学と表現Ⅰ	2		横断演習Ⅰ	2
文学と表現Ⅱ	2	横断演習Ⅱ	2		

卒業必要単位数

1 文学部英語英米文学科の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	130単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

- (1) 文学部他学科の専門教育科目及び共通・関連科目
- (2) 中級・上級外国語（国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語Writing」「中級英語Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」及び「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。）については、16単位以内
- (3) 海外語学講座・留学支援科目については、8単位以内
- (4) 生涯スポーツについては、2単位以内
- (5) 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目及びキャリア創生共通科目については、あわせて16単位以内

社会学科

授 業 科 目			単位数	備 考	授 業 科 目			単位数	備 考
必修科目	研究法入門演習		2	22 単位必修	応用領域	組織とネットワーク	ソーシャル・キャピタル論	2	
	社会調査基礎演習		2				社会ネットワーク論	2	
	共通演習		2				集団組織論	2	
	ゼミナール 1	2	社会運動論				2		
	ゼミナール 2	2	社会・集団・家族心理学				2		
	ゼミナール 3	2	教育・学校心理学				2		
	ゼミナール 4	2							
卒業研究		8							
基本科目	公共社会学		2	18 単位以上 選択必修	発展研究	メディア文化論	2	6 単位以上 選択必修	
	社会学概論		2			映像文化論	2		
	文化人類学		2			創作過程論	2		
	多文化共生論		2			情報社会論	2		
	社会心理学		2			芸術社会史	2		
	社会意識論		2			サウンドスケープ研究	2		
	社会調査法		2			社会調査実践研究	4		
	家族社会学		2			量的データ解析	2		
	社会人口論		2			発展研究 A (社会理論の可能性)	2		
	文化社会学		2			発展研究 B (ライフスタイルと社会 I)	2		
	コミュニケーション研究		2			発展研究 B (ライフスタイルと社会 II)	2		
	メディア研究		2			発展研究 C (文化と共生 I)	2		
	NPO / NGO 論		2			発展研究 C (文化と共生 II)	2		
都市社会学		2	発展研究 D (サステナビリティと地域 I)	2					
阪神文化論		2	発展研究 D (サステナビリティと地域 II)	2					
計量社会学		2	発展研究 E (組織とネットワーク I)	2					
社会統計学		2	発展研究 E (組織とネットワーク II)	2					
フィールドワーク研究		2	発展研究 F (メディアコミュニケーションと表現 I)	2					
			発展研究 F (メディアコミュニケーションと表現 II)	2					
応用領域	ライフスタイルと社会	現代家族論	2	34 単位以上 選択必修	関連科目	横断演習 I	2		
		ライフコース論	2			横断演習 II	2		
		生活福祉論	2			日本史概説 I	2		
		社会階層論 I	2			日本史概説 II	2		
		労働経済 I	2			アジア史概説 I	2		
		労働経済 II	2			アジア史概説 II	2		
	文化と共生	比較文化論	2			西洋史概説 I	2		
		現代文化論	2			西洋史概説 II	2		
		社会人類学	2			日本史研究 I	2		
		ジェンダー/セクシュアリティ論	2			日本史研究 II	2		
		融合フォーラム (ジェンダー)	2			アジア史研究 I	2		
	現代思想	2	アジア史研究 II			2			
	サステナビリティと地域	サステナビリティ論	2			西洋史研究 I	2		
		市民社会論	2			西洋史研究 II	2		
		環境社会論	2			西人文学地	2		
		地域社会論	2			政治学概論	2		
		観光文明学 I	2			政治学入門	2		
観光文明学 II		2	政治学原論	2					
			政治学誌 I	2					
		政治学誌 II	2						
		民俗学の諸問題 I	2						
		民俗学の諸問題 II	2						
		自然地理学	2						
		西のこぼれ	2						
		IT 応	2						

卒業必要単位数

1 文学部社会科学の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	130単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることできる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

- (1) 文学部他学科の専門教育科目及び共通・関連科目
- (2) 中級・上級外国語（国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語Writing」「中級英語Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」及び「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。）については、16単位以内
- (3) 海外語学講座・留学支援科目については、8単位以内
- (4) 生涯スポーツについては、2単位以内
- (5) 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目及びキャリア創生共通科目については、あわせて10単位以内

授 業 科 目		単位数	備 考	授 業 科 目		単位数	備 考	
必修科目	人間科学入門	2	24単位 必修	哲学思想史	比較思想史	2		
	人間科学基礎演習Ⅰ	2			人間環境論Ⅰ	2		
	人間科学基礎演習Ⅱ	2			人間環境論Ⅱ	2		
	人間科学基礎演習Ⅲ	2			倫理思想史	2		
	演習Ⅰ a	2			芸術学分野	サウンドスケープ研究		2
	演習Ⅰ b	2				視覚メディア論		2
	演習Ⅱ a	2				マンガ・アニメ史		2
	演習Ⅱ b	2				モダンアート研究		2
卒業研究	8	映像表現研究	2					
融合科目	融合フォーラム(死生学)	2	12単位以上 選択必修	心理学分野	サブカルチャー研究	2		
	融合フォーラム(ジェンダー)	2			芸術表象論	2		
	融合フォーラム(文化と自然)	2			アート・ワークショップ実践	2		
	融合フォーラム(ファンタジー)	2			現代芸術研究	2		
	西洋古典文化論	2			身体表現研究	2		
	西洋人間科学思想入門Ⅰ	2			現代芸術ワークショップ	2		
	西洋人間科学思想入門Ⅱ	2			デザイン・ワークショップ入門	2		
	アート・ワークショップ入門	2			デザイン・ワークショップ実践	2		
	心理学と哲学	2			言語表現論	2		
	心理学と芸術	2			心理学分野	心理学統計法		2
	環境学入門論	2				発達臨床心理学		2
	身体論	2				心理学実験実習		2
トラウマ学	2	心理療法学	2					
芸術療法	2	力動的心理学	2					
防災心理学	2	臨床心理学概論	2					
基礎科目	心理学概論	2	12単位以上 選択必修	社会・集団・家族心理学		2		
	こころの科学	2		心理検査法		2		
	発達心理学	2		心理学研究法		2		
	学習・言語心理学	2		教育・学校心理学		2		
	哲学入門	2		精神疾患とその治療	2			
	倫理学基礎論	2		神経・生理心理学	2			
	応用倫理学	2		心理的アセスメント	2			
	西洋美術史	2		心理尺度構成法実習	2			
	日本美術史	2		心理調査計画法	2			
	日本文学思想史	2		心理地域援助	4			
	日本文学思想史	2		知覚・認知心理学	2			
	日本文学思想史	2		健康・医療心理学	2			
展開科目	分野共通	欧文講読基礎Ⅰ	2	関連科目	日本文学史Ⅱ a	2		
		欧文講読基礎Ⅱ	2		日本文学史Ⅱ b	2		
		欧文講読基礎Ⅲ	2		N P O / N G O 論	2		
		欧文講読基礎Ⅳ	2		メディア文化論	2		
		演習Ⅲ a	2		地域社会論	2		
		演習Ⅲ b	2		社会心理学	2		
	哲学分野	現代思想学	2		社会意識論	2		
		環境思想史	2		現代史Ⅰ	2		
		宗教思想史	2		現代史Ⅱ	2		
		日本哲学史	2		比較文学特殊講義	2		
		メディア哲学	2		日本の舞台芸術	2		
		ヒューマンライツ	2		アメリカ文学思潮史Ⅰ	2		
西洋史概説Ⅰ	2	アメリカ文学思潮史Ⅱ	2					
西洋史概説Ⅱ	2	イギリス文学思潮史Ⅰ	2					
				イギリス文学思潮史Ⅱ	2			
				ソーシャル・キャピタル論	2			

歴史文化学科

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考		
必修科目	基礎演習Ⅰ	2	22 単位必修	日本史史料研究Ⅰ	2	28 単位 以上 選択必修	
	基礎演習Ⅱ	2		日本史史料研究Ⅱ	2		
	日演本習Ⅰ	2		日本史史料研究Ⅲ	2		
	日演本習Ⅱ	2		日本史史料研究Ⅳ	2		
	日演本習Ⅲ	2		西洋史史料研究Ⅰ	2		
	日演本習Ⅳ	2		西洋史史料研究Ⅱ	2		
	日演本習Ⅴ	2		西洋史史料研究Ⅲ	2		
	卒業研究	8		西洋史史料研究Ⅳ	2		
基本科目	阪神文化論	2	32 単位以上 選択必修	アジア史史料研究Ⅰ	2		
	日本史概説Ⅰ	2		アジア史史料研究Ⅱ	2		
	日本史概説Ⅱ	2		アジア史史料研究Ⅲ	2		
	西洋史概説Ⅰ	2		アジア史史料研究Ⅳ	2		
	西洋史概説Ⅱ	2		地理学・民俗学資料研究Ⅰ	2		
	アジア史概説Ⅰ	2		地理学・民俗学資料研究Ⅱ	2		
	アジア史概説Ⅱ	2		地理学・民俗学資料研究Ⅲ	2		
	地理学の諸問題Ⅰ	2		地理学・民俗学資料研究Ⅳ	2		
	地理学の諸問題Ⅱ	2		古文書学Ⅰ	2		
	民俗学の諸問題Ⅰ	2		古文書学Ⅱ	2		
	民俗学の諸問題Ⅱ	2		実践地域学	2		
	日本史研究Ⅰ	2		ブリティッシュ・スタディーズⅠ	2		
	日本史研究Ⅱ	2		ブリティッシュ・スタディーズⅡ	2		
	西洋史研究Ⅰ	2		アメリカン・スタディーズⅠ	2		
	西洋史研究Ⅱ	2		アメリカン・スタディーズⅡ	2		
	アジア史研究Ⅰ	2		映像文化論	2		
	アジア史研究Ⅱ	2		現代文化論	2		
	地誌Ⅰ	2		地域社会論	2		
	地誌Ⅱ	2		芸術表象論	2		
	人文地理	2		西洋美術史	2		
	民俗文化研究	2		日本美術	2		
	人文地理特論Ⅰ	2		観光文明学Ⅰ	2		
	人文地理特論Ⅱ	2		観光文明学Ⅱ	2		
	民俗文化特論	2		歴史文化特殊講義Ⅰ	2		
	日本史特論Ⅰ	2		歴史文化特殊講義Ⅱ	2		
	日本史特論Ⅱ	2		歴史文化特殊講義Ⅲ	2		
	西洋史特論Ⅰ	2		歴史文化特殊講義Ⅳ	2		
	西洋史特論Ⅱ	2					
	アジア史特論Ⅰ	2					
	アジア史特論Ⅱ	2					
	発展科目	現代史Ⅰ		2	関連科目	博物館概論	2
		現代史Ⅱ		2		博物館教育論	2
現代史Ⅲ		2	博物館経営論	2			
歴史と美術		2	博物館資料論	2			
考古学Ⅰ		2	博物館展示論	2			
考古学Ⅱ		2	博物館資料保存論	2			
社会意識論		2	博物館情報・メディア論	2			
自然地理学		2	博物館実習Ⅰ	1			
都市社会学		2	博物館実習Ⅱ	1			
歴史思想		2	博物館実習Ⅲ	1			
歴史自然史		2	博物館生涯学	2			
文化流		2	社会学概論	2			
技術と文化		2	社会学概論	2			
地理と情報		2	文化人類学	2			
地理と情報		2	多文化共生論	2			
			社会調査法	2			
			フィールドワーク研究	2			
			哲学入門	2			
			理学基礎論	2			
			応用倫理	2			

関連科目	宗	教	思	想	史	2				
	日	本	哲	学	史	2				
	法	律	学	概	論	2				
	政	治	学	入	門	2				
	政	治	学	原	論	2				
	横	断	学	原	論	2				
	横	断	演	習	Ⅱ	2				

卒業必要単位数

1 文学部歴史文化学科の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	130単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

- (1) 文学部他学科の専門教育科目及び共通・関連科目
- (2) 中級・上級外国語（国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語 Writing」「中級英語 Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」及び「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。）については、16単位以内
- (3) 海外語学講座・留学支援科目については、8単位以内
- (4) 生涯スポーツについては、2単位以内
- (5) 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目及びキャリア創生共通科目については、あわせて16単位以内

共通・関連科目

授	業	科	目	単	位	数	備	考	授	業	科	目	単	位	数	備	考		
横断科目	横断	演習	I	2					言語基礎科目	ギリシア語	入門		2						
	横断	演習	II	2						ラテン語	入門		2						
地域連携講座科目	関西の	ことばと	文学	2					社会科学基礎科目	初級マ	クロ	経済学	2						
	地域	社会	論	2						初級ミ	クロ	経済学	2						
	NPO	/	NGO	論	2						経済	史	4						
	メ	ディ	ア	文化	論	2					労働	経済	I	2					
	阪	神	文	化	論	2					労働	経済	II	2					
	観	光	文	明	学	I	2				社会	経済	思想	I	2				
	観	光	文	明	学	II	2				社会	経済	思想	II	2				
国際交流科目	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	1	3				社	会	経	済	法	I	2		
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	2	3				社	会	経	済	法	II	2		
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	3	3				憲	法	法	II	2				
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	4	3				労働	法	I	2					
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	5	3				経	営	学	総	論	4			
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	6	3				経	営	学	総	論	4			
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	7	3				マ	ー	ケ	テ	ィ	ン	グ	総	論
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	8	3				教	育	心	理	2				
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	9	3				教	育	相	談	2				
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	10	3				教	育	育	行	史	2			
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	11	3				教	育	社	会	政	論	2		
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	12	3				教	育	社	会	政	論	2		
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	13	2				教	育	社	会	政	論	2		
	ジャ	パン	スタ	ディ	ーズ	14	2				教	育	社	会	政	論	2		

理工学部

宇宙理学・量子物理工学科 宇宙理学コース

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
(必 修 科 目)			(少人数・参加型科目)		
基礎物理学実験	1	} 27 単位必修	数学演習 I a	1	
物理学実験 1	2		数学演習 I b	1	
物理学実験 2	2		力学・電磁気学演習 I	1	
物理学実験 3	2		力学・電磁気学演習 II	1	
力学 I	2		ワークショップ II a	1	
力学 II	2		ワークショップ II b	1	
電磁気学 I	2		ワークショップ III a	1	
電磁気学 II	2		ワークショップ III b	1	
量子論入門	2		ワークショップ IV a	1	
天文学入門	2		ワークショップ IV b	1	
物理学卒業研究	8		天体観測ワークショップ	2	
			プログラミング・AI実践	3	
(選 択 必 修 科 目 A)		} 20 単位以上 選択必修	(選 択 科 目)		
トピカル・フィジクス	2		電子物性工学	2	
力学基礎	2		光・量子エレクトロニクス	2	
電磁気学基礎	2		量子情報工学	2	
振動・波動	2		光物性工学	2	
微分積分学 I	2		半導体デバイス	2	
微分積分学 II	2		確率統計学 I	2	
線形代数学 I	2		確率統計学 II	2	
線形代数学 II	2		解析学 I	2	
プログラミング・AIのためのIT入門	2		解析学 II	2	
ベクトル解析	2		コンピュータサイエンス	2	
複素関数論	2		地学通論 I	2	
解析力学	2		地学通論 II	2	
電磁気学 III	2		化学通論 I	2	
熱・統計力学	2		化学通論 II	2	
プログラミング・AI実習 I	2	生物学通論 I	2		
		生物学通論 II	2		
(選 択 必 修 科 目 B)		} 8 単位以上 選択必修	地学実験	3	
統計力学 I	2		基礎化学実験	3	
統計力学 II	2		基礎生物学実験	3	
量子力学 I	2		博物館資料論	2	
量子力学 II	2		博物館情報・メディア論	2	
相対性理論	2				
電気・電子回路	2				
特殊関数論	2				
物性物理学 I	2				
物性物理学 II	2				
流体力学 I	2				
流体力学 II	2				
プログラミング・AI実習 II	2				
英語で学ぶ物理学	2				
科学英語	2				
(コース別科目 C-1)		} 8 単位以上 選択必修			
素粒子物理学	2				
原子核物理学	2				
天文学概論	2				
宇宙物理学	2				
量子線計測学	2				
宇宙理学リサーチ	4				

卒業必要単位数

1 理工学部宇宙物理学・量子物理工学科宇宙物理学コースの学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 中級英語、「外国留学科目Ⅰ～Ⅳ」、「English RegionsⅢ・Ⅳ」、「海外語学講座Ⅰ・Ⅳ」、「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」、「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」、「海外ボランティアⅠ・Ⅱ」については、専門教育科目として8単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

3 大学日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

4 「IT基礎」、「ベーシック・キャリアデザイン」及び「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

5 宇宙物理学コースの卒業要件を充足した者には「学士(理学)」を授与する。

宇宙理学・量子物理工学科 量子物理工学コース

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
(必 修 科 目)			(少人数・参加型科目)		
基礎物理学実験	1	} 27 単位必修	数学演習 I a	1	
物理学実験 1	2		数学演習 I b	1	
物理学実験 2	2		力学・電磁気学演習 I	1	
物理学実験 3	2		力学・電磁気学演習 II	1	
力学 I	2		ワークショップ II a	1	
力学 II	2		ワークショップ II b	1	
電磁気学 I	2		ワークショップ III a	1	
電磁気学 II	2		ワークショップ III b	1	
量子論入門	2		ワークショップ IV a	1	
天文学入門	2		ワークショップ IV b	1	
物理学卒業研究	8		天体観測ワークショップ	2	
			プログラミング・AI 実践	3	
(選 択 必 修 科 目 A)			(選 択 科 目)		
トピカル・フィジックス	2	} 20 単位以上 選択必修	素粒子物理学	2	
力学基礎	2		原子核物理学	2	
電磁気学基礎	2		天文学概論	2	
振動・波動	2		宇宙物理学	2	
微分積分学 I	2		量子線計測学	2	
微分積分学 II	2		確率統計学 I	2	
線形代数学 I	2		確率統計学 II	2	
線形代数学 II	2		解析学 I	2	
プログラミング・AIのためのIT入門	2		解析学 II	2	
ベクトル解析	2		コンピュータサイエンス	2	
複素関数論	2		地学通論 I	2	
解析力学	2		地学通論 II	2	
電磁気学 III	2		化学通論 I	2	
熱・統計力学	2		化学通論 II	2	
プログラミング・AI 実習 I	2	生物学通論 I	2		
		生物学通論 II	2		
(選 択 必 修 科 目 B)			地学実験	3	
統計力学 I	2	} 8 単位以上 選択必修	基礎化学実験	3	
統計力学 II	2		基礎生物学実験	3	
量子力学 I	2		博物館資料論	2	
量子力学 II	2		博物館情報・メディア論	2	
相対性理論	2				
電気・電子回路論	2				
特殊関数論	2				
物性物理学 I	2				
物性物理学 II	2				
流体力学 I	2				
流体力学 II	2				
プログラミング・AI 実習 II	2				
英語で学ぶ物理学	2				
科学英語	2				
(コース別科目 C・2)					
電子物性工学	2	} 8 単位以上 選択必修			
光・量子エレクトロニクス	2				
量子情報工学	2				
光物性工学	2				
半導体デバイス	2				
量子物理工学リサーチ	4				

卒業必要単位数

- 1 理工学部宇宙理学・量子物理工学科量子物理工学コースの学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

- 2 中級英語、「外国留学科目Ⅰ～Ⅳ」、「English RegionsⅢ・Ⅳ」、「海外語学講座Ⅰ・Ⅳ」、「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」、「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」、「海外ボランティアⅠ・Ⅱ」については、専門教育科目として8単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。
- 3 大学日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。
- 4 「IT基礎」、「ベーシック・キャリアデザイン」及び「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。
- 5 量子物理工学コースの卒業要件を充足した者には「学士(理工学)」を授与する。

宇宙理学・量子物理工学科 文理融合コース

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
(必修科目)		27単位必修	原子核物理学	2	
基礎物理学実験	1		天文学概論	2	
物理学実験1	2		宇宙物理学	2	
物理学実験2	2		量子線計測学	2	
物理学実験3	2		電子物性工学	2	
力学I	2		光・量子エレクトロニクス	2	
力学II	2		量子情報工学	2	
電磁気学I	2		光物性工学	2	
電磁気学II	2		半導体デバイス	2	
量子論入門	2		博物館資料論	2	
天文学入門	2		博物館情報・メディア論	2	
文理融合総合研究	8				
(選択必修科目 A)		20単位以上 選択必修	(コース別科目 C-3)		8単位必修
トピカル・フィジックス	2		共通応用演習Ⅰ	2	
力学基礎	2		共通応用演習Ⅱ	2	
電磁気学基礎	2		文理融合リサーチ	4	
振動・波動	2		(少人数・参加型科目)		
微分積分学Ⅰ	2		数学演習Ⅰa	1	
微分積分学Ⅱ	2		数学演習Ⅰb	1	
線形代数学Ⅰ	2		力学・電磁気学演習Ⅰ	1	
線形代数学Ⅱ	2		力学・電磁気学演習Ⅱ	1	
プログラミング・AIのためのIT入門	2		ワークショップⅡa	1	
ベクトル解析	2		ワークショップⅡb	1	
複素関数論	2	ワークショップⅢa	1		
解析力学	2	ワークショップⅢb	1		
電磁気学Ⅲ	2	ワークショップⅣa	1		
熱・統計力学	2	ワークショップⅣb	1		
プログラミング・AI実習Ⅰ	2	天体観測ワークショップ	2		
(選択必修科目 B)		8単位以上 選択必修	プログラミング・AI実践	3	
統計力学Ⅰ	2				
統計力学Ⅱ	2				
量子力学Ⅰ	2				
量子力学Ⅱ	2				
相対性理論	2				
電気・電子回路論	2				
特殊関数論	2				
物性物理学Ⅰ	2				
物性物理学Ⅱ	2				
流体力学Ⅰ	2				
流体力学Ⅱ	2				
プログラミング・AI実習Ⅱ	2				
英語で学ぶ物理学	2				
科学英語	2				
確率統計学Ⅰ	2				
確率統計学Ⅱ	2				
解析学Ⅰ	2				
解析学Ⅱ	2				
コンピュータサイエンス	2				
地学通論Ⅰ	2				
地学通論Ⅱ	2				
化学通論Ⅰ	2				
化学通論Ⅱ	2				
生物学通論Ⅰ	2				
生物学通論Ⅱ	2				
地学実験	3				
基礎化学実験	3				
基礎生物学実験	3				
素粒子物理学	2				

卒業必要単位数

1 理工学部宇宙理学・量子物理工学科文理融合学コースの学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 中級英語、「外国留学科目Ⅰ～Ⅳ」、「English RegionsⅢ・Ⅳ」、「海外語学講座Ⅰ・Ⅳ」、「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」、「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」、「海外ボランティアⅠ・Ⅱ」については、専門教育科目として8単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

3 大学日本語科目(大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ)は、外国人留学生(正規留学生)入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

4 「IT基礎」、「ベーシック・キャリアデザイン」及び「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

5 キャリア創生共通科目(エリアスタディーズⅠ～Ⅹ、海外ボランティアⅠ・Ⅱ、ベーシック・キャリアデザイン、データサイエンス基礎を除く)を、専門教育科目として22単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

6 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目を、専門教育科目として16単位以内を卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

7 文理融合コースの卒業要件を充足した者には「学士(理学)」を授与する。

生物学科

授 業 科 目	単 位 数	備 考	授 業 科 目	単 位 数	備 考
(選 択 必 修 A)			コンピュータサイエンス	2	30 単位以上 選択必修 ただし、 C ₂ からは 8 単位、 C ₃ からは 16 単位を 限度として 含めること ができる。
細胞生物学	2	32 単位以上 選択必修	線形代数 A	2	
生態学	2		線形代数 B	2	
植物生物学	2		微分積分 A	2	
植物細胞工	2		微分積分 B	2	
遺伝学概論	2		確率統計学 I	2	
分子遺伝概論	2		確率統計学 II	2	
発生生物学	2		博物館資料論	2	
生物物理化学	2		博物館情報・メディア論	2	
酵素化学	2		情報通信テクノロジー I	2	
環境生物学	2		IT 応用	2	
系統分類学	2		統計基礎	2	
動物生理学	2		データサイエンス基礎	2	
比較生理	2		(選 択 必 修 C ₂)		
植物細胞生物学	2		文化人類学	2	
植物分子生物学	2		多文化共生論	2	
微生物生理学	2		自然地理学	2	
微生物遺伝学	2		人文地理学	2	
生物学入門	2		人文地理特論 I	2	
基礎生物学 I	2		環境学入門	2	
基礎生物学 II	2		環境学	2	
科学英語演習 I	2		(選 択 必 修 C ₃)		
科学英語演習 II	2		中級英語 Speaking	4	
基礎生物学演習 I	2		中級英語 Presentation	4	
基礎生物学演習 II	2	中級英語 Listening	4		
(選 択 必 修 B)		中級英語 Reading	4		
基礎生物学実験	3	中級英語 Writing	4		
生物学臨海実習	2	中級英語 Pronunciation	2		
生物学専門実験及び演習 I	5	中級英語 TOEIC	4		
生物学専門実験及び演習 II	5	中級英語 Global Topics I	2		
生物学専門実験及び演習 III	5	中級英語 Global Topics II	2		
生物学専門実験及び演習 IV	5	中級英語 Life Topics I	2		
(選 択 必 修 C ₁)		中級英語 Life Topics II	2		
生物学卒業実験	1 2	中級英語 Career English I	2		
生物学特殊講義 I	2	中級英語 Career English II	2		
生物学特殊講義 II	2	上級英語 TOEIC	4		
生物学特殊講義 III	2	上級英語 Global Topics I	2		
生物学特殊講義 IV	2	上級英語 Global Topics II	2		
生物学特殊講義 V	2	上級英語 Life Topics I	2		
生物学特殊講義 VI	2	上級英語 Life Topics II	2		
生物学特設科目 I	1	上級英語 Career English I	2		
生物学特設科目 II	2	上級英語 Career English II	2		
Biological Science I	1	海外語学講座 I	4		
Biological Science II	1	海外語学講座 II	4		
Biological Science III	2	海外語学講座 III	2		
Biological Science IV	2	海外語学講座 IV	2		
化学通論 I	2	T O E F L I	2		
化学通論 II	2	T O E F L II	2		
有機化学 A	2	I E L T S I	2		
有機化学 B	2	I E L T S II	2		
物理化学 A	2	English Regions I	2		
物理化学 B	2	English Regions II	2		
基礎化学実験	3	English Regions III	2		
分析化学 A	2	English Regions IV	2		
分析化学 B	2	外国留学科目 I	4		
物理学通論 I	2	外国留学科目 II	4		
物理学通論 II	2	外国留学科目 III	4		
熱力学	2	外国留学科目 IV	4		
ラボラトリー・フィジクス	3	上級外国留学科目 I	4		
地学通論 I	2	上級外国留学科目 II	4		
地学通論 II	2	大学日本語中級 I	4		
地学実	3	大学日本語中級 II	4		
		大学日本語上級 I	4		
		大学日本語上級 II	4		
		海外ボランティア I	4		
		海外ボランティア II	2		

授 業 科 目	単位数	備 考
(博物館学芸員科目)		
生涯学習概論	2	卒業必要単位数に充てることはできない。
博物館概論	2	
博物館経営論	2	
博物館資料保存論	2	
博物館教育論	2	
博物館展示論	2	
博物館実習Ⅰ	1	
博物館実習Ⅱ	1	
博物館実習Ⅲ	1	
卒業必要単位数		
1 理工学部生物学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。		
基礎共通科目	16単位	
外国語科目	8単位	
保健体育科目	2単位	
専門教育科目	102単位以上	
計	128単位以上	
2 エリアスタディーズⅠ～Ⅹについては2単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てること ができる。ただし、選択必修の単位数に充てることはできない。		
3 大学日本語科目（大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ）は、外国人留学生（正規留学生）入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。		

物質化学科

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
(実 験 研 究 科 目)			(応 用 科 目)		
物 質 化 学 入 門 験	2	} 17 単位必修	有 機 材 料 工 学	2	
基 礎 化 学 実 験	3		固 体 化 学	2	
物 質 化 学 実 験 A	3		有 機 構 造 化 学	2	
物 質 化 学 実 験 B	3		材 料 電 気 化 学	2	
物 質 化 学 実 験 C	3		反 応 速 度 論	2	
物 質 化 学 講 座	1		応 用 分 析 化 学	2	
化 学 研 究 に お け る 安 全 と 倫 理	2		量 子 論	2	
(基 礎 科 目)			合 成 有 機 化 学	2	
化 学 基 礎 A	2	} 14 単位必修	化 学 工 学	2	
化 学 基 礎 B	2		キ ャ リ ア デ ザ イ ン	1	
分 析 化 学 基 礎	2		技 術 と ビ ジ ネ ス	2	
分 子 化 学 基 礎	2		光 材 料 工 学	2	
有 機 化 学 基 礎	2		応 用 有 機 化 学	2	
無 機 化 学 基 礎	2		物 質 化 学 特 別 講 義 1	1	
材 料 化 学 基 礎	2		物 質 化 学 特 別 講 義 2	1	
(数 理 科 目)			物 質 化 学 特 別 講 義 3	1	
化 学 数 学 基 礎 A	2	} 10 単位以上 選 択 必 修	物 質 化 学 特 別 講 義 4	1	
化 学 数 学 基 礎 B	2		(自 然 科 学 ・ 情 報 科 目)		
化 学 数 学 基 礎 C	2		生 物 学 通 論 I	2	
化 学 数 学 基 礎 D	2		生 物 学 通 論 II	2	
化 学 数 学 A	2		地 学 通 論 I	2	
化 学 数 学 B	2		地 学 通 論 II	2	
化 学 の た め の 物 理 A	2		物 理 学 通 論 I	2	
化 学 の た め の 物 理 B	2		物 理 学 通 論 II	2	
(基 幹 科 目)			I T 基 礎	2	
分 析 化 学 A	2	} 18 単位以上 選 択 必 修	I T 応 用	2	
分 析 化 学 B	2		情 報 通 信 テ ク ノ ロ ジ	2	
物 理 化 学 A	2		統 計 基 礎	2	
物 理 化 学 B	2		デ ー タ サ イ エ ン ス 基 礎	2	
有 機 化 学 A	2		統 計 活 用 情 報 分 析 I	2	
有 機 化 学 B	2		統 計 活 用 情 報 分 析 II	2	
無 機 化 学 A	2		基 礎 生 物 学 実 験	3	
無 機 化 学 B	2		ラ ボ ラ ト リ ー ・ フ ィ ジ ッ ク ス	3	
高 分 子 合 成 化 学	2		地 学 実 験	3	
高 分 子 化 学	2		(キ ャ リ ア 系 科 目)		
材 料 化 学	2		実 践 ボ ラ ン テ ィ ア I	1	
錯 体 化 学	2	実 践 ボ ラ ン テ ィ ア II	1		
(卒 業 科 目)			情 報 通 信 テ ク ノ ロ ジ II	2	
物 質 化 学 卒 業 研 究	1 2	} 12 単位又は 6 単 位 選 択 必 修	地 域 プ ロ ジ ェ ク ト I	2	
物 質 化 学 卒 業 演 習 お よ び 実 習	6		地 域 プ ロ ジ ェ ク ト II	2	
			地 域 フ ァ シ リ テ イ ト	2	
			入 門 マ ネ ジ メ ン ト	2	
			入 門 ビ ジ ネ ス 会 計	2	
			入 門 商 業 簿 記 I	2	
			入 門 商 業 簿 記 II	2	
			ビ ジ ネ ス を 支 え る 法 の 世 界	2	
			入 門 ビ ジ ネ ス 法 務	2	
			知 的 財 産 と イ ノ ベ ー シ ョ ン I	2	
			知 的 財 産 と イ ノ ベ ー シ ョ ン II	2	
			基 本 情 報 技 術	2	
			I C T セ キ ュ リ テ イ	2	
			実 践 マ ネ ジ メ ン ト	2	
		実 践 ビ ジ ネ ス 会 計	2		
		実 践 ビ ジ ネ ス 法 務	2		
		起 業 ・ ア ン ト レ プ レ ナ ー シ ョ ン を 学 ぶ	2		

卒業必要単位数

1 理工学部物質化学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 「中級英語」については8単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、単位は「キャリア系科目」の単位数に算入することとする。

3 エリアスタディーズⅠ～Ⅹ及び English RegionsⅢ・Ⅳについては2単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、単位は「キャリア系科目」の単位数に算入することとする。

環境・エネルギー工学科

授業科目		単位数	備考	授業科目	単位数	備考		
必修科目	環境・エネルギー工学入門	1	} 26 単位必修	選択科目 A	(専 門 科 目)			
	ラボラトリー・フィジックス	3			合成有機化学	2		
	科学実験基礎	1			反応速度論	2		
	ラボラトリー・ケミストリー	3			材料電気化学	2		
	環境・エネルギー工学実験1	3			量子論	2		
	環境・エネルギー工学卒業研究	1 2			コンピュータ材料化学	2		
	研究における安全と倫理	1			電気・電子工学	2		
	工 学 英 語	2			エネルギー材料工学	2		
選択必修科目 A	(専 門 実 験 科 目)		} 4 単位以上 選択必修		有機材料工学	2		
	環境・エネルギー工学実験2	4			光材料工学	2		
	環境・エネルギー実験3	4			電子材料工学	2		
選択必修科目 B	(基 礎 科 目)		} 20 単位以上 選択必修		知的財産論	1		
	化 学	1			環境・エネルギー工学特別演習1	2		
	化 学	2			環境・エネルギー工学特別演習2	2		
	有機化学基礎	2			環境・エネルギー工学特別演習3	1		
	基礎科学演習1	1			環境・エネルギー工学特別講義1	1		
	基礎科学演習2	1			環境・エネルギー工学特別講義2	1		
	力学基礎	2			環境・エネルギー工学特別講義3	1		
	振動・波動	2			選択科目 B	(関 連 科 目)		} 12 単位を上限として卒業必要単位数に充てる ことができる。
	電磁気学基礎	2				生物学通論 I	2	
	地球科学1	2				生物学通論 II	2	
	地球科学2	2				I T 基礎	2	
天文学入門	2	I T 応用	2					
工学のための数学1	2	基礎生物学実験	3					
工学のための数学2	2	地 学 実 験	3					
選択必修科目 C	(専 門 基 礎 科 目)		} 21 単位以上 選択必修					
	工学のための数学演習1	1						
	工学のための数学演習2	1						
	工学のための応用数学1	2						
	工学のための応用数学2	2						
	工学のための I T	1						
	電磁気学 I	2						
	電磁気学 II	2						
	分析化学 A	2						
	熱力学基礎	2						
	物理化学 A	2						
物理化学 B	2							
有機化学 A	2							
有機化学 B	2							
無機化学 A	2							
無機化学 B	2							
量子化学	2							
高分子合成化学	2							
選択必修科目 D	(基 幹 専 門 科 目)		} 6 単位以上 選択必修					
	環境・エネルギー工学キャリアデザイン	1						
	環境・エネルギー工学基礎	1						
	固体科学入門	2						
環境科学	2							
環境材料工学	2							

卒業必要単位数

1 理工学部環境・エネルギー工学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 中級英語、「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」、及び「English Regions Ⅲ・Ⅳ」については10単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることできる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

3 キャリア創生共通科目のうち、「実践ボランティアⅠ・Ⅱ」及び「地域プロジェクトⅠ・Ⅱ」については4単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることできる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

4 キャリア創生共通科目のうち、「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることできる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

経済学部
経済学科

授業科目	単位数	備考	授業科目	単位数	備考			
基礎科目	基礎ゼミⅠ	2	18単位必修	A群 (理論・情報)	上級ミクロ経済学Ⅰ	2		
	基礎ゼミⅡ	4			上級ミクロ経済学Ⅱ	2		
	経済入門Ⅰ	4			上級マクロ経済学Ⅰ	2		
	経済入門Ⅱ	4			上級マクロ経済学Ⅱ	2		
	入門ミクロ経済学	4			計量経済Ⅰ	2		
	入門マクロ経済学	4			計量経済Ⅱ	2		
	基礎ゼミⅡ	2			家計の経済	2		
	英語で読む経済Ⅰ	2			B群 (財政・金融)	国際金融Ⅰ	2	
	英語で読む経済Ⅱ	2				国際金融Ⅱ	2	
	ベーシック・キャリアデザイン	2				地方財政Ⅰ	2	
統計入門	2	地方財政Ⅱ	2					
数学入門	2	金融政策Ⅰ	2					
		金融政策Ⅱ	2					
		ファイナンスⅠ	2					
		ファイナンスⅡ	2					
		C群 (公共・経済)	公共政策	2				
			経済体制Ⅰ	2				
			経済体制Ⅱ	2				
			労働経済Ⅱ	2				
			健康経済	2				
			地域政策ワークショップA	2				
			地域政策ワークショップB	2				
			D群 (国際・経済)	現代アジア経済Ⅰ	2			
				現代アジア経済Ⅱ	2			
				現代中国経済	2			
		現代アメリカ経済		2				
		現代ヨーロッパ経済		2				
		現代日本経済		2				
		E群 (産業・企業)		産業組織Ⅰ	2			
				産業組織Ⅱ	2			
				ネットワークエコノミクスⅠ	2			
				ネットワークエコノミクスⅡ	2			
		F群 (歴史・思想)	環境経済Ⅰ	2				
			環境経済Ⅱ	2				
			現代経済学の諸潮流	2				
			日本の経済思想家	2				
中級科目	共通科目	ゼミⅠ	2	上級科目	F群 (歴史・思想)	日本経済史Ⅰ	2	
		英語で読む経済Ⅱ	2			日本経済史Ⅱ	2	
		経済政策	4			西洋経済史Ⅰ	2	
		経済学の歴史	4			西洋経済史Ⅱ	2	
		情報リテラシーA	2					
		情報リテラシーB	2					
		PC統計学	2					
		キャリアゼミ	2					
		プロジェクトゼミ	2					
		現代経済学特論Ⅰ	2					
	現代経済学特論Ⅱ	2						
	経済数学	2						
	地域プロジェクトⅠ	2						
	外国大学中級科目A	4						
	外国大学中級科目B	4						
	A群 (理論・情報)	中級ミクロ経済学	4					
		中級マクロ経済学	4					
		中級統計学	4					
B群 (財政・金融)		財金	4					
		政融	4					
C群 (公共・経済)		公共経済	4					
		労働経済Ⅰ	2					
地域政策		2						
D群 (国際・経済)	国際経済	4						
E群 (産業・企業)	産業経済	4						
F群 (歴史・思想)	経済史	4						
	社会経済思想Ⅰ	2						
	社会経済思想Ⅱ	2						
上級科目	共通科目	ゼミⅡ	4					
		ゼミⅢ	2					
		震災と地域経済Ⅰ	2					
		震災と地域経済Ⅱ	2					
		所得課税法	2					
		法人課税法	2					
		ビジネスデータ分析	2					
		キャリア実習	2					
		地域プロジェクトⅡ	2					
		外国大学上級科目A	4					
		外国大学上級科目B	4					
		外国大学上級科目C	4					
		外国大学上級科目D	4					

合計 38 単位
以上選択必修

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
プラクティカル・キャリアデザインⅠ	2		アジア史概説Ⅰ	2	
プラクティカル・キャリアデザインⅡ	2		アジア史概説Ⅱ	2	
アドバンスト・キャリアデザイン	2		西洋史概説Ⅰ	2	
簿記Ⅰ	4		西洋史概説Ⅱ	2	
簿記Ⅱ	4		日本史概説Ⅰ	2	
公 共 社 会 学	2		日本史概説Ⅱ	2	
社 会 学 概 論	2		地域ファシリテイト	2	
文 化 人 類 学	2		外国大 学 科 目 A	2	
多 文 化 共 生 論	2		外国大 学 科 目 B	2	
憲 法 Ⅰ	2		外国大 学 科 目 C	2	
憲 法 Ⅱ	2		外国大 学 科 目 D	2	
労 働 法 Ⅰ	2		入門民法 財産法編Ⅰ	2	
経 済 法 Ⅰ	2		入門民法 財産法編Ⅱ	2	
経 済 法 Ⅱ	2		実 践 民 法 Ⅰ	2	
政 治 学 入 門	2		実 践 民 法 Ⅱ	2	
税 法 Ⅰ	2		実 践 民 法 Ⅲ	2	
税 法 Ⅱ	2		実 践 民 法 Ⅳ	2	
経 営 学 総 論	4		実 践 民 法 Ⅴ	2	
会 計 学 総 論	4		実 践 民 法 Ⅵ	2	
マ ー ケ テ ィ ン グ 総 論	4		入 門 商 法 会 社 法 編	2	
経 営 実 務 a	2		証 券 市 場 と 法	2	
経 営 実 務 b	2		金 融 取 引 と 法	2	
経 営 実 務 c	2		証 券 業 と 法	2	
人 文 地 理	2				
地 誌 Ⅰ	2				
地 誌 Ⅱ	2				
自 然 地 理 学	2				
法 律 学 概 論	2				
政 治 学 原 論	2				

卒業必要単位数

1 経済学部経済学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上を修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	100単位以上
計	128単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることできる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることはできない。

ア 中級外国語・上級外国語・海外語学講座・留学支援科目については、16単位以内（ただし、国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語 Writing」「中級英語 Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」及び「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。）

イ 「グローバル・コミュニケーションⅠ」、「グローバル・コミュニケーションⅡ」については、8単位以内

ウ ジャパンスタディーズについては、4単位以内

エ エリアスタディーズについては、2単位以内

オ 生涯スポーツについては、2単位以内

カ 「IT応用」、「データサイエンス基礎」については、2単位以内

キ 実践ボランティアについては、2単位以内

ク 甲南女子大学との単位互換協定に関する科目については、4単位以内

ケ 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学間単位互換協定に関する科目については、4単位以内

法学部
法学科

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考		
A 専門基礎	公 法 入 門	2	D	憲 法 I	2		
	民 事 法 入 門	2				憲 法 II	2
	刑 事 法 入 門	2				憲 法 III	2
	政 治 学 入 門	2				比 較 憲 法	2
6 単位以上 選択必修			行 政 法 総 論 I	2	8 単位以上 選択必修		
			行 政 法 総 論 II	2			
			行 政 救 済 法 I	2			
			行 政 救 済 法 II	2			
B 基礎法	法 社 会 学 I	2	地 方 自 治	2			
	法 社 会 学 II	2	税 法 I	2			
	西 洋 法 史 I	2	税 法 II	2			
	西 洋 法 史 II	2	国 際 法 I	2			
	日 本 法 史 I	2	国 際 法 II	2			
	日 本 法 史 II	2	国 際 法 III	2			
	英 米 法 I	2	刑 法 総 論 I	2			
	英 米 法 II	2	刑 法 総 論 II	2			
	ア ジ ア 法	2	刑 法 各 論 I	2			
	比 較 法 文 化 論	2	刑 法 各 論 II	2			
	法 哲 学 I	2	刑 事 訴 訟 法 I	2			
	法 哲 学 II	2	刑 事 訴 訟 法 II	2			
C 政治	西 洋 政 治 史 I	2	E 民事法	民 法 総 則 I	2		
	西 洋 政 治 史 II	2		民 法 総 則 II	2		
	日 本 政 治 史 I	2		物 権 法 I	2		
	日 本 政 治 史 II	2		物 権 法 II	2		
	行 政 学 I	2		債 権 法 I	2		
	行 政 学 II	2		債 権 法 II	2		
	国 際 政 治 学 I	2		不 法 行 為 法	2		
	国 際 政 治 学 II	2		親 族 続 続 法	2		
	外 交 史 I	2		国 際 私 法 I	2		
	外 交 史 II	2		国 際 私 法 II	2		
	グ ローバル地域研究	2	商 法 I	2			
	ア メリカ地域研究	2	商 法 II	2			
	ア ジア地域研究	2	商 法 III	2			
	政 治 学 原 論	2	商 法 IV	2			
	現 代 政 治 学 I	2	商 法 V	2			
	現 代 政 治 学 II	2	民 事 訴 訟 法 I	2			
	政 治 過 程 論 I	2	民 事 訴 訟 法 II	2			
	政 治 過 程 論 II	2	民 事 訴 訟 法 III	2			
	日 本 政 治 思 想 史 I	2	労 働 法 I	2			
	日 本 政 治 思 想 史 II	2	労 働 法 II	2			
西 洋 政 治 思 想 史 I	2	社 会 保 障 法 I	2				
西 洋 政 治 思 想 史 II	2	社 会 保 障 法 II	2				
6 単位以上 選択必修			知 的 財 産 法 I	2	8 単位以上 選択必修		
			知 的 財 産 法 II	2			
			経 済 法 I	2			
			経 済 法 II	2			

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考		
F 隣接領域	初級ミクロ経済学	2	26単位まで、卒業 必要単位数に充 てることのでき る。	G 情報	ビジネスシステム論	4	
	初級マクロ経済学	2			法学部情報処理Ⅰ	2	
	経営学総論	4			法学部情報処理Ⅱ	2	
	会計学総論	4		H 演習	基礎演習	2	2単位必修
	マーケティング総論	4			アドバンスト・ゼミⅠ	2	6単位まで、卒 業必要単位数に 充てることので きる。
	司法・犯罪心理学	2			アドバンスト・ゼミⅡ	2	
	日本史概説Ⅰ	2			アドバンスト・ゼミⅢ	2	
	日本史概説Ⅱ	2			選択演習Ⅰ	2	8単位まで、卒 業必要単位数に 充てることので きる。
	アジア史概説Ⅰ	2			選択演習Ⅱ	2	
	アジア史概説Ⅱ	2			選択演習Ⅲ	2	
	西洋史概説Ⅰ	2			選択演習Ⅳ	2	
	西洋史概説Ⅱ	2			選択演習Ⅴ	2	
	労働経済Ⅰ	2			選択演習Ⅵ	2	
	労働経済Ⅱ	2		選択演習Ⅶ	2		
	財政	4		選択演習Ⅷ	2		
	国際経済	4		選択演習Ⅷ	2		
	公共経済	4		専門演習	4		
	経営管理論	4		I 特殊講義	特殊講義Ⅰ	2	
	経営戦略論	4			特殊講義Ⅱ	2	
	財務諸表論	4			特殊講義Ⅲ	2	
	ベンチャービジネス	4			特殊講義Ⅳ	2	
	ソーシャル・キャピタル論	2			外国文献講読	2	
	家族社会学	2			留学(法学・政治学)Ⅰ	2	
	現代家族論	2			留学(法学・政治学)Ⅱ	2	
	福祉法政策	2			自治体のしくみと仕事	2	
	司法福祉論	2			実践法学Ⅰ	2	
	ジェンダー法学	2			実践法学Ⅱ	2	
	環境学入門	2		実践法学Ⅲ	2		
	環境学	2		J その他	法律学概論	2	卒業必要単位 数に充てるこ とはできない。
	NPO/NGO論	2			留学(その他)Ⅰ	2	
	公共社会学	2			留学(その他)Ⅱ	2	
	社会学概論	2			留学(その他)Ⅲ	2	
社会心理学	2	K キャリア	留学(その他)Ⅳ	2	6単位まで、卒 業必要単位数に 充てることので きる。		
社会意識論	2		ベーシック・キャリアデザイン	2			
			キャリアゼミ	2			
			キャリア実習	2			
			プラクティカル・キャリアデザインⅠ	2			
		プラクティカル・キャリアデザインⅡ	2				
		アドバンスト・キャリアデザイン	2				

卒業必要単位数

1 法学部法学科の学生は、次に定めるところに従って合計126単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	98単位以上
計	126単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。なお、(1) (2) (3) 併せて16単位以内とする。

- (1) 中級外国語・上級外国語・海外語学講座・留学支援科目については、16単位以内（ただし、国際言語文化副専攻を選択した者が履修する「中級英語 Writing」「中級英語 Presentation」「中級ドイツ語 I・II」「中級フランス語 I・II」「中級中国語 I・II」「中級韓国語 I・II」及び「大学日本語中級 I・II」「大学日本語上級 I・II」を除く。）
- (2) エリアスタディーズについては、2単位以内
- (3) ジャパンスタディーズについては、8単位以内
- (4) 「IT 応用」「データサイエンス基礎」については、2単位以内

経営学部
経営学科

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
基礎演習	4	16単位以上 選択必修	B P コース特論 I	2	
経営学総論	4		B P コース特論 II	2	
会計学総論	4		B P コース特論 III	2	
マーケティング総論	4		B P 演習 I a	2	
経済学入門	2		B P 演習 I b	2	
入門簿記	4		B P 演習 II a	2	
簿記演習	2		B P 演習 II b	2	
			BP インターンシップ実践演習	2	
統計学入門	4	62単位以上 選択必修	B P 演習 III	4	
情報処理概論	4		B P 特別演習	4	
グローバル・コミュニケーション I	4		BP インターンシップ I	6	
グローバル・コミュニケーション II	4		BP インターンシップ II	6	
経営管理論	4		BP インターンシップ III	6	
経営戦略論	4		BP 経営コンサルティング論	2	
財務諸表	4				
原価計算	4				
商学基礎論	4				
経営史	4				
経営学史	4				
経営財務論	4				
経営労務論	4				
経営組織論	4				
工業経営論	4				
国際経営論	4				
アジア経営論	4				
国際ビジネス事情	4				
ベンチャービジネス	4				
経営科学	4				
ビジネスシステム論	4				
中小企業論	4				
環境経営論	4				
非営利組織論	4				
管理会計	4				
監査論	4				
情報会計システム論	4				
税務会計	4				
国際会計論	4				
財務諸表分析	4				
会計史	4				
企業会計理論	4				
経営分析	4				
マーケティング管理論	4				
国際マーケティング論	4				
消費者行動論	4				
流通システム論	4				
金融論	4				
証券論	4				
リスクマネジメント	4				
地域・観光マネジメント	4				
地域金融論	4				
専門演習 I	2				
専門演習 II	8				
			GB ビジネス特論 I	2	
			GB ビジネス特論 II	2	
			GB コース TOEFL・IELTS I	2	
			GB コース TOEFL・IELTS II	2	
			GB コース TOEFL・IELTS III	2	
			GB コース TOEFL・IELTS IV	2	
			GB ビジネス英語 I	2	
			GB ビジネス英語 II	2	
			GB ビジネス英会話・初級	4	
			GB ビジネス英会話・上級	4	
			GB 外書講読 I	4	
			GB 外書講読 II	4	
			GB 国際アクティビティー I	2	
			GB 国際アクティビティー II	2	
			GB 国際アクティビティー III	2	
			AP アカウンティング・プラクティス I	4	
			AP アカウンティング・プラクティス演習 I	2	
			AP アカウンティング・プラクティス II	4	
			AP アカウンティング・プラクティス演習 II	2	
			AP アカウンティング・プラクティス III	2	
			AP 経営コンサルティング論	2	
			上級簿記 I	2	
			上級簿記 II	2	
			上級財務諸表論 I	2	
			上級財務諸表論 II	2	
			上級工業簿記	2	
			上級原価計算	2	
			入門パーソナルファイナンス	2	
			応用パーソナルファイナンス	2	

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考
経 営 学 特 論 a	4		国 際 経 済 学	4	
経 営 学 特 論 b	4		産 業 経 済 学	4	
経 営 学 特 論 c	4		入 門 ビジネス法務	2	
経 営 学 特 論 d	4		ビジネスを支える法の世界	2	
経 営 学 特 論 e	2		ベーシック・キャリアデザイン	2	
会 計 学 特 論 a	4		プラクティカル・キャリアデザインⅠ	2	
会 計 学 特 論 b	4		プラクティカル・キャリアデザインⅡ	2	
会 計 学 特 論 c	4		アドバンスト・キャリアデザイン	2	
会 計 学 特 論 d	4		キ ャ リ ア 実 習	2	
会 計 学 特 論 e	2		実 践 ボ ラ ン テ ィ ア Ⅰ	1	
商 学 特 論 a	4		実 践 ボ ラ ン テ ィ ア Ⅱ	1	
商 学 特 論 b	4		イ ン タ ー ナ シ ョ ナ ル OCA	2	
商 学 特 論 c	4		職 業 指 導 Ⅰ	2	
商 学 特 論 d	4		職 業 指 導 Ⅱ	2	
商 学 特 論 e	2		人 文 地 理	2	
経 営 実 務 a	2		地 誌 Ⅰ	2	
経 営 実 務 b	2		自 然 地 理 学	2	
経 営 実 務 c	2		日 本 史 概 説 Ⅰ	2	
経 営 実 務 d	2		日 本 史 概 説 Ⅱ	2	
中 級 簿 記	4		ア ジ ア 史 概 説 Ⅰ	2	
工 業 簿 記	4		ア ジ ア 史 概 説 Ⅱ	2	
起業・アントレプレナーシップを学ぶ	2		西 洋 史 概 説 Ⅰ	2	
経 営 コ ン サ ル テ ィ ン グ 論	2		西 洋 史 概 説 Ⅱ	2	
情 報 処 理 Ⅰ	4		政 治 学 入 門	2	
情 報 処 理 Ⅱ	4		政 治 学 原 論	2	
グ ローバル・ビ ジ ネ ス 特 論 Ⅰ	2		法 律 学 概 論	2	
グ ローバル・ビ ジ ネ ス 特 論 Ⅱ	2		入 門 民 法 財 産 法 編 Ⅰ	2	
外 書 講 読 Ⅰ	4		入 門 民 法 財 産 法 編 Ⅱ	2	
外 書 講 読 Ⅱ	4		実 践 民 法 Ⅰ	2	
ビ ジ ネ ス 英 語 Ⅰ	2		実 践 民 法 Ⅱ	2	
ビ ジ ネ ス 英 語 Ⅱ	2		実 践 民 法 Ⅲ	2	
ビ ジ ネ ス 英 会 話 ・ 初 級	4		実 践 民 法 Ⅳ	2	
ビ ジ ネ ス 英 会 話 ・ 上 級	4		実 践 民 法 Ⅴ	2	
実 践 的 経 営 シ ャ ー ジ ョ ン 演 習	4		実 践 民 法 Ⅵ	2	
初 級 マ ク ロ 経 済 学	2		入 門 商 法 会 社 法 編	2	
初 級 ミ ク ロ 経 済 学	2		証 券 市 場 と 法	2	
財 政	4		金 融 取 引 と 法	2	
金 融	4		証 券 業 と 法	2	
			公 共 政 策 論 Ⅰ	2	
			公 共 政 策 論 Ⅱ	2	

卒業必要単位数

1 経営学部経営学科の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	18単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	<u>102単位以上</u>
計	130単位以上

2 BPコース・GBコース・APコース科目は、ビジネス・リーダー養成プログラムに所属している学生のみ履修できる。

3 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、選択必修の単位数に充てることができない。

(1) 中級外国語・上級外国語・海外語学講座・留学支援科目の単位を併せて20単位以内（ただし、国際言語文化副専攻に登録した者が履修する「中級英語 Writing」「中級英語 Presentation」「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」及び「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」を除く。）

(2) 文学部英語英米文学科の「English Studies Ⅰ～Ⅷ」から、8単位以内

(3) 生涯スポーツについては、2単位以内

(4) 「IT応用」の2単位

(5) 「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」については、4単位以内

(6) 「ジャパNSTAディーズ1～14」については、6単位以内

(7) 「地域ファシリテイト」、「地域プロジェクトⅠ」、「地域プロジェクトⅡ」については、6単位以内

(8) 「データサイエンス基礎」の2単位

授 業 科 目	単位数	備 考	授 業 科 目	単位数	備 考	
(必 修 科 目)			(選 択 科 目)			
知能情報学概論及び基礎演習	2	34 単位必修	I T 基 礎	2		
プログラミング演習Ⅰ	2		情 報 社 会 と 情 報 倫 理	2		
プログラミング演習Ⅱ	2		確 率 統 計 Ⅱ	2		
微分積分及び演習Ⅰ	3		応 用 統 計 学	2		
微分積分及び演習Ⅱ	3		オブジェクト指向プログラミング	2		
線形代数及び演習Ⅰ	3		信 号 解 析	2		
線形代数及び演習Ⅱ	3		ブレインサイエンスⅠ	2		
確 率 統 計 Ⅰ	2		コンパイラ・インタプリタ	2		
アドバンストプログラミング演習	2		ブレインサイエンスⅡ	2		
知能情報学セミナーⅠ	2		数値プログラミング技法	2		
知能情報学セミナーⅡ	2		最 適 化	2		
卒 業 研 究 及 び 演 習	8		情 報 セ キ ュ リ テ ィ	2		
(選 択 必 修 科 目 A)			14 単位以上 選択必修	セ ン サ ー 工 学	2	
コンピュータサイエンス	2	電 気 電 子 回 路 入 門		2		
情報通信ネットワーク	2	グ ラ フ 理 論		2		
情 報 理 論	2	離 散 数 学		2		
データ構造とアルゴリズムⅠ	2	集 合 と 論 理		2		
コンピュータアーキテクチャ	2	プ ロ ジ ェ ク ト 演 習		2		
オペレーティングシステム	2	情 報 英 語		2		
人 工 知 能	2	人 間 工 学		2		
ヒューマンインタフェース	2	ロ ボ テ ィ ク ス		2		
データ構造とアルゴリズムⅡ	2	メ デ ィ ア 情 報 処 理		2		
デ ー タ ベ ース	2	Web コンピューティング		2		
(選 択 必 修 科 目 B)		2 単位以上 選択必修		コンピュータグラフィックス	2	
コース演習：クラウドシステム	2			ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	2	
コース演習：AIデータサイエンス	2		機 械 学 習	2		
コース演習：知能ロボット	2		シ ス テ ム 解 析	2		
コース演習：メディアデザイン	2		行 動 計 測 学	2		
コース演習：ヒューマンセンシング	2		生 理 計 測 学	2		
コース演習：数理情報	2		自 然 言 語 処 理	2		
			実 験 デ ザ イン と デ ー タ 処 理	2		
			画 像 工 学	2		
			感 性 計 測 学	2		
			メ デ ィ ア デ ザ イン	2		
			代 数 学 Ⅰ	2		
			代 数 学 Ⅱ	2		
			解 析 学 Ⅰ	2		
			解 析 学 Ⅱ	2		
			幾 何 学 Ⅰ	2		
			幾 何 学 Ⅱ	2		
		情 報 と 職 業	2			

卒業必要単位数

1 知能情報学部知能情報学科の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	16単位
外国語科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
計	128単位以上

2 データサイエンス基礎の2単位については、専門教育科目として選択科目に充てることができる。

3 ベーシック・キャリアデザイン、キャリア実習、プラクティカル・キャリアデザインⅠ、プラクティカル・キャリアデザインⅡについては、合計4単位までを専門教育科目として選択科目に充てることができる。

4 中級外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・外国留学科目・日本語）、上級外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・外国留学科目・日本語）、海外語学講座・留学支援科目（うち、海外語学講座のみ。）、キャリア創生共通科目（国際系）のうちエリアスタディーズ、キャリア創生共通科目（ボランティア・地域連携系）のうち地域連携系科目については、専門教育科目として8単位以内を選択科目に充てることができる。ただし、上記の専門教育科目の選択科目に充てることができるエリアスタディーズおよびキャリア創生共通科目（ボランティア・地域連携系）のうち地域連携系科目の修得単位数の上限は、それぞれ2単位とする。

5 大学日本語科目（大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ、大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ）は、外国人留学生（正規留学生）入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

別表第2の(2)削除

別表第2の(3)

マネジメント創造学部

マネジメント創造学科

授業科目		単位数	備考	授業科目	単位数	備考		
フレーム形成科目	CUBE入門	2	18単位 必修	経済学の実践	産業と規制	2	24単位以上 選択必修	
	学びデザイン	2			経済と社会	2		
	ロジカル・シンキング	2			雇用と賃金	2		
	リサーチ・イントロダクション	2			こころと経済	2		
	経済学入門Ⅰ	2			地球環境政策	2		
	経済学入門Ⅱ	2			公共政策	2		
	経営学入門Ⅰ	2			国際金融と貿易	2		
	経営学入門Ⅱ	2			経済成長と国際協力	2		
ITリテラシー	2		ミクロ経済と現代社会	2				
			マクロ経済と現代社会	2				
導入基礎科目	Core科目	Global Challenges	2	経営学の実践	組織論	2		
		American Studies	2		イノベーション・マネジメント	2		
		Speech and Discussion	2		経営財務分析	2		
		Discussion and Debate	2		戦略論	2		
		CUBE English I	1		会計基礎	2		
		CUBE English II	1		会計応用	2		
		Japan Studies	1		ファイナンス基礎	2		
		European Studies	1		コーポレートファイナンス	2		
		Business Communication	1		マーケティング基礎	2		
		Introduction to TOEIC	1		マーケティングとCSR	2		
		大学日本語入門Ⅰ	2	マーケティングリサーチ	2			
		大学日本語入門Ⅱ	2	消費者行動	2			
				NPO	2			
				中小企業経営	2			
外国語科目	Applied科目	Media Studies	2	実践・創造科目	社会の現状認識	社会問題と思想	2	
		English for Business Contexts	2			社会問題と制度	2	
		Studies in Literacy	2			都市政策	2	
		Cross-Disciplinary Studies	2			社会保障	2	
		English as a Second Language I	2			少子化と人口問題	2	
		English as a Second Language II	2			国際関係と多文化共生	2	
	English as a Second Language III	2	国際通商			2		
			Academic Foundations Workshop I			2	ビジネスと法	2
			Academic Foundations Workshop II			2	Academic Subjects I	3
			Academic Success Workshop I			2	Academic Subjects II	3
		Academic Success Workshop II	2	Academic Subjects III	3			
				Academic Subjects IV	3			
				Academic Subjects V	3			
				Academic Subjects VI	3			

授業科目		単位数	備考	授業科目	単位数	備考					
プロジェクト導入科目	数学的論理思考	2	6単位以上選択必修	フィールドワーク科目	国内短期フィールドワークⅠ	2					
	芸術と多文化理解	2			国内短期フィールドワークⅡ	2					
	科学技術と倫理Ⅰ	2			国内短期フィールドワークⅢ	2					
	科学技術と倫理Ⅱ	2			国内短期フィールドワークⅣ	2					
	ITの実践	2			国内短期フィールドワークⅤ	2					
	情報の科学	2			国内中期フィールドワークⅠ	3					
	データ分析の実践	2			国内中期フィールドワークⅡ	3					
	データ分析とプログラミング	2			国内中期フィールドワークⅢ	3					
	社会調査	2			国内長期フィールドワークⅠ	4					
	政策評価の手法	2			海外短期フィールドワークⅠ	2					
	英語で学ぶ経済学	2			海外短期フィールドワークⅡ	2					
	英語で学ぶ経営学	2			海外中期フィールドワークⅠ	3					
	Liberal Studies in English	2			海外中期フィールドワークⅡ	3					
	Regional Studies	2			海外中期フィールドワークⅢ	3					
プロジェクト科目	パブリック研究プロジェクトBⅠ	6	12単位以上選択必修。ただし、3科目以上修得すること。	キャリア関連科目	卒業研究プロジェクト	8	8単位必修				
	パブリック研究プロジェクトBⅡ	6			ボランティア体験Ⅰ	4					
	パブリック研究プロジェクトBⅢ	6			ボランティア体験Ⅱ	4					
	パブリック研究プロジェクトBⅣ	6			ボランティア体験Ⅲ	2					
	パブリック研究プロジェクトBⅤ	6			ボランティア体験Ⅳ	2					
	ビジネス研究プロジェクトBⅠ	6			グローバル研究プロジェクトBⅠ	CUBE ジョブトライアルⅠ	4				
	ビジネス研究プロジェクトBⅡ	6				グローバル研究プロジェクトBⅡ	6		CUBE ジョブトライアルⅡ	4	
	ビジネス研究プロジェクトBⅢ	6				グローバル研究プロジェクトBⅢ	6		CUBE ジョブトライアルⅢ	2	
	ビジネス研究プロジェクトBⅣ	6				グローバル研究プロジェクトBⅣ	6		CUBE ジョブトライアルⅣ	2	
	ビジネス研究プロジェクトBⅤ	6				グローバル研究プロジェクトBⅤ	6		コミュニケーション支援Ⅰ	2	
	研究プロジェクト科目	超領域研究プロジェクトBⅠ			6	30単位以上選択必修	特設科目	特設科目Ⅰ	2		
		超領域研究プロジェクトBⅡ			6			特設科目Ⅱ	2		
		超領域研究プロジェクトBⅢ			6			特設科目Ⅲ	2		
		パブリック研究プロジェクトAⅠ			4			大学日本語中級Ⅰ	4	外国語科目 中級・上級	
パブリック研究プロジェクトAⅡ		4	大学日本語上級Ⅰ	4							
パブリック研究プロジェクトAⅢ		4									
パブリック研究プロジェクトAⅣ		4									
パブリック研究プロジェクトAⅤ		4									
ビジネス研究プロジェクトAⅠ		4									
ビジネス研究プロジェクトAⅡ		4									
ビジネス研究プロジェクトAⅢ		4									
ビジネス研究プロジェクトAⅣ		4									
ビジネス研究プロジェクトAⅤ		4									
グローバル研究プロジェクトAⅠ		4									
グローバル研究プロジェクトAⅡ	4										
グローバル研究プロジェクトAⅢ	4										
グローバル研究プロジェクトAⅣ	4										
グローバル研究プロジェクトAⅤ	4										
超領域研究プロジェクトAⅠ	4										
超領域研究プロジェクトAⅡ	4										
超領域研究プロジェクトAⅢ	4										

卒業必要単位数

1 マネジメント創造学部マネジメント創造学科の学生は、次に定めるところに従って合計124単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目	8単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	114単位以上

計 124単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

- (1) キャリア創生共通科目については、8単位以内
- (2) 生涯スポーツについては、3単位以内
- (3) 基礎ドイツ語、基礎フランス語、基礎中国語、基礎韓国語については、いずれか1外国語4単位以内
- (4) 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学間単位互換協定に関する科目については、4単位以内

3 大学日本語科目（大学日本語入門Ⅰ・Ⅱ、大学日本語中級Ⅰ、大学日本語上級Ⅰ）は、外国人留学生（正規留学生）入学試験に合格して入学した学生及び日本語を母語としない学生が履修することができる。

別表第2の(4)

フロンティアサイエンス学部

生命化学科

授業科目		単位数	備考	授業科目	単位数	備考				
必修科目	教養科目	フロントランナー講座	2	32単位必修	キャリア科目	ベーシック・キャリアデザイン	2	選択必修科目の単位数に充てることができる。		
	基礎科目	科学英語コミュニケーション1	1			理系キャリアデザイン	2			
		科学英語コミュニケーション2	1			キャリア実習	2			
		プレゼンテーション演習1	1		応用専門科目	メディカルサイエンス概論	2	先進科学コース選択者は14単位以上、学際科学コース選択者は8単位以上選択必修		
		プレゼンテーション演習2	1			メディカルバイオテクノロジー	2			
		数学及び演習	3			バイオ・食品関連研究開発論	2			
		日本語表現及び演習	3			知財マネジメント	2			
	基礎専門科目	バイオサイエンス序論	2			バイオセンシングと環境	2			
		ナノサイエンス序論	2			アドバンストマテリアル	2			
		ナノバイオサイエンス序論	2		国際産学コーディネーター	2				
		ケミカルサイエンス序論	2		創薬テクノロジー	2				
	専門科目	ナノバイオラボベーシックA	2		ケミカルバイオロジー	2	教養科目		科学と健康	2
		ナノバイオラボベーシックB	2		先端ナノ・マイクロ材料科学	2			科学と産業政策	2
		ナノバイオラボ1A	4		医療関連研究開発論	2				
		ナノバイオラボ1B	4		エリアスタディーズV	2				
選択必修科目A群	A1：バイオサイエンスパック			先進科学コース 選択者は24単位以上(ただし、いずれか1パックについてはすべて修得すること。)、 学際科学コース 選択者は12単位以上(ただし、すべてのパックから2単位以上ずつ修得すること。) 選択必修。	先進科学コース必修科目	基礎科目	科学英語プレゼンテーション演習1	1	先進科学コース 選択者は32単位必修	
	ベーシック科目	分子生物学	2			科学英語プレゼンテーション演習2	1			
		遺伝子工学・バイオテクノロジー	2			科学英語プレゼンテーション演習3	1			
		生命機能科学	2			安全倫理工学	2			
		細胞工学	2		専門科目	ナノバイオラボ2A	6			
	アドバンスト科目	薬理学	2			ナノバイオラボ2B	6			
		発生理学	2			ナノバイオ卒業研究	15			
	A2：ナノサイエンスパック				学際科学コース必修科目	基礎科目	学際科学プレゼンテーション演習1	1	学際科学コース 選択者は14単位必修	
	ベーシック科目	無機化学	2				学際科学プレゼンテーション演習2	1		
		量子物理化学	2			専門科目	共通応用演習Ⅰ	2		
		固体光化学	2				共通応用演習Ⅱ	2		
		ナノテクノロジー	2		文理融合総合研究	8				
	アドバンスト科目	電気化学	2		選択必修科目A群	A3：ナノバイオサイエンスパック				
		生物無機化学	2			ベーシック科目	生化学	2		
	A4：ケミカルサイエンスパック						生命分析化学	2		
ベーシック科目	構造有機化学	2	生命物理化学	2						
	有機電子論	2	バイオ計測工学	2						
	有機反応各論	2	アドバンスト科目	高分子化学		2				
	有機化学と分光法	2		生体分子工学		2				
アドバンスト科目	生物有機化学	2	A4：ケミカルサイエンスパック							
	有機合成化学	2	ベーシック科目	構造有機化学		2				
A4：ケミカルサイエンスパック				有機電子論		2				
ベーシック科目	有機反応各論	2		有機化学と分光法		2				
	有機化学と分光法	2		アドバンスト科目		生物有機化学	2			
	生物有機化学	2	有機合成化学			2				
	有機合成化学	2	A4：ケミカルサイエンスパック							

卒業必要単位数

1 フロンティアサイエンス学部生命化学科の学生は、次に定めるところに従って合計 128 単位以上を修得しなければならない。

基礎共通科目	10 単位
外国語科目	4 単位
保健体育科目	2 単位
専門教育科目	
先進科学コース	102 単位以上
学際科学コース	66 単位以上

計 128 単位以上

- 2 先進科学コース・学際科学コースの必修科目、選択必修科目の必要単位数については、次の①～④に従うものとする。
- ① 先進科学コース選択者は、必修科目 32 単位、選択必修 A 群 24 単位以上（ただし、いずれか 1 パックについてはすべて修得すること。）、選択必修 B 群 14 単位以上、先進科学コース必修単位 32 単位、修得すること。
 - ② 学際科学コース選択者は、必修科目 32 単位、選択必修 A 群 12 単位以上（ただし、すべてのパックから 2 単位以上ずつ修得すること。）、選択必修 B 群 8 単位以上、学際科学コース必修単位 14 単位、修得すること。
 - ③ 学際科学コース選択者は、キャリア創生共通科目から 20 単位以上、修得すること
 - ④ 学際科学コース選択者は、中級英語 Speaking、中級英語 Presentation、中級英語 Writing、中級英語 Pronunciation、中級英語 Global Topics I、中級英語 Global Topics II、中級英語 Life Topics I、中級英語 Life Topics II の中から 4 単位以上、修得すること。
- 3 次の科目については、専門教育科目として卒業単位に充てることができる。ただし、必修又は選択必修科目のいずれの単位数にも充てることができない。
- (1) 基礎共通科目のうち自然科学系の授業科目及びキャリア創生共通科目（「ベーシック・キャリアデザイン」、「キャリア実習」、「エリアスタディーズV」は除く。）
 - (2) 基礎ドイツ語、基礎フランス語、基礎中国語、基礎韓国語、大学日本語入門については、いずれか 1 外国語 4 単位以内。
 - (3) 「エリアスタディーズ I～IV」及び「エリアスタディーズVI～X」については、2 単位以内。
 - (4) 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目については、学際科学コース選択者は 16 単位以内。

別表第2の(5)

グローバル教養学環

科目		単位数	備考	科目	単位数	備考		
必修科目	STAGE演習	STAGE演習ⅠA	2	20単位必修	留学支援	TOEFLⅠ	2	
		STAGE演習ⅠB	2			TOEFLⅡ	2	
		STAGE演習ⅡA	2			IELTSⅠ	2	
		STAGE演習ⅡB	2			IELTSⅡ	2	
		STAGE演習ⅢA	2			海外語学講座Ⅰ	4	
		STAGE演習ⅢB	2			海外語学講座Ⅱ	4	
		STAGE演習 Capstone	8			海外語学講座Ⅲ	2	
						海外語学講座Ⅳ	2	
		外国留学科目Ⅰ	4					
		外国留学科目Ⅱ	4					
		外国留学科目Ⅲ	4					
		外国留学科目Ⅳ	4					
	中級英語②	中級英語 Listening	4	国際理解・グローバル科目	A群	国際理解Ⅰ(異文化理解)	2	6単位以上選択必修
		中級英語 Reading	4			国際理解Ⅱ(国際問題)	2	
		中級英語 Pronunciation	2			SDGs 概論	2	
		中級英語 TOEIC	4			グローバルイノベーションⅠ	2	
		中級英語 Life TopicsⅠ	2			グローバルイノベーションⅡ	2	
		中級英語 Life TopicsⅡ	2					
		中級英語 Career EnglishⅠ	2					
		中級英語 Career EnglishⅡ	2					
	上級英語	上級英語 TOEIC	4		B群	世界の中の日本Ⅰ	2	14単位以上選択必修
		上級英語 Global TopicsⅠ	2			世界の中の日本Ⅱ	2	
		上級英語 Global TopicsⅡ	2			English RegionsⅠ	2	
		上級英語 Global TopicsⅢ	2			English RegionsⅡ	2	
		上級英語 Career EnglishⅠ	2			English RegionsⅢ	2	
		上級英語 Career EnglishⅡ	2			English RegionsⅣ	2	
		上級英語 Life TopicsⅠ	2			German StudiesⅠ	2	
		上級英語 Life TopicsⅡ	2			German StudiesⅡ	2	
	ドイツ語	中級ドイツ語Ⅰ	4		German StudiesⅢ	2		
		中級ドイツ語Ⅱ	4		German StudiesⅣ	2		
		中級ドイツ語Ⅲ	4		French StudiesⅠ	2		
		中級ドイツ語Ⅳ	4		French StudiesⅡ	2		
		上級ドイツ語Ⅰ	4		French StudiesⅢ	2		
		上級ドイツ語Ⅱ	4		French StudiesⅣ	2		
	フランス語	中級フランス語Ⅰ	4		Chinese StudiesⅠ	2		
		中級フランス語Ⅱ	4		Chinese StudiesⅡ	2		
		中級フランス語Ⅲ	4		Chinese StudiesⅢ	2		
		中級フランス語Ⅳ	4		Chinese StudiesⅣ	2		
		上級フランス語Ⅰ	4		Korean StudiesⅠ	2		
		上級フランス語Ⅱ	4		Korean StudiesⅡ	2		
中国語	中級中国語Ⅰ	4	Korean StudiesⅢ	2				
	中級中国語Ⅱ	4	Korean StudiesⅣ	2				
	中級中国語Ⅲ	4	社会学概論	2				
	中級中国語Ⅳ	4	多文化共生論	2				
	上級中国語Ⅰ	4	文化人類学	2				
	上級中国語Ⅱ	4	社会人間学	2				
韓国語	中級韓国語Ⅰ	4	社会心理学	2				
	中級韓国語Ⅱ	4	グローバルイノベーションⅠ	2				
	中級韓国語Ⅲ	4	グローバルイノベーションⅡ	2				
	中級韓国語Ⅳ	4	アメリカン・スタディーズⅠ	2				
	上級韓国語Ⅰ	4	アメリカン・スタディーズⅡ	2				
	上級韓国語Ⅱ	4	社会問題と思想	2				
		社会問題と制度	2					
		グローバル研究プロジェクトA	4					
		グローバル研究プロジェクトB	6					

		海外ボランティアⅠ	4					入門民法 財産法編Ⅰ	2		
		海外ボランティアⅡ	2					入門民法 財産法編Ⅱ	2		
		海外キャリア実習	4					入門商法 会社法編	2		
		エリアスタディーズⅠ	2					入門ビジネス法務	2		
		エリアスタディーズⅡ	2					実践ビジネス法務	2		
		エリアスタディーズⅢ	2					ビジネスを支える法の世界	2		
		エリアスタディーズⅣ	2					公共政策論Ⅰ	2		
		エリアスタディーズⅤ	2					公共政策論Ⅱ	2		
		エリアスタディーズⅥ	2					知的財産とイノベーションⅠ	2		
		エリアスタディーズⅦ	2					知的財産とイノベーションⅡ	2		
		エリアスタディーズⅧ	2					国際法Ⅰ	2		
		エリアスタディーズⅧ	2					国際法Ⅱ	2		
		エリアスタディーズⅨ	2					国際政治学Ⅰ	2		
		エリアスタディーズⅩ	2					国際政治学Ⅱ	2		
		実践ボランティアⅠ	1					経済法Ⅰ	2		
		実践ボランティアⅡ	1					経済法Ⅱ	2		
		地域ファシリテイト	2								
	データサイエンス科目	AI・データサイエンス入門	2	8単位以上 選択必修				入門マネジメント	2		
		データサイエンス基礎	2					実践マネジメント	2		
		IT応用	2					入門ビジネス会計	2		
		情報通信テクノロジーⅠ	2					実践ビジネス会計	2		
		情報通信テクノロジーⅡ	2					経営管理論	4		
		ICTセキュリティ	2					経営戦略論	4		
		基本情報技術	2					ベンチャービジネス	4		
		統計基礎	2					環境経営論	4		
		統計活用情報分析Ⅰ	2					国際経営論	4		
		統計活用情報分析Ⅱ	2					アジア経営論	4		
							国際マーケティング論	4			
							経営コンサルティング論	2			
社会科学科目	経済学	初級ミクロ経済学	2					STAGEアカデミック留学科目Ⅰ	4		
		初級マクロ経済学	2					STAGEアカデミック留学科目Ⅱ	4		
		国際経済	4					STAGEアカデミック留学科目Ⅲ	4		
		経済政策	4					STAGEアカデミック留学科目Ⅳ	4		
		地域政策	2					STAGEアカデミック留学科目Ⅴ	4		
		現代アジア経済Ⅰ	2								
		現代アジア経済Ⅱ	2								
		現代中国経済	2								
		現代アメリカ経済	2								
		公共政策	2								
		中級統計学	4								
		計量経済Ⅰ	2								
		計量経済Ⅱ	2								
		ビジネスデータ分析	2								
								アカデミック留学科目			
								キャリアデザイン科目			
								国際理解Ⅱ(グローバルキャリア)	2		
								ベーシック・キャリアデザイン	2		
								プラクティカル・キャリアデザインⅠ	2		
								プラクティカル・キャリアデザインⅡ	2		

卒業必要単位数

1 グローバル教養学環の学生は、次に定めるところに従って合計130単位以上修得しなければならない。

基礎共通科目 18単位

外国語科目 8単位

保健体育科目 2単位

専門教育科目 102単位以上

計 130単位以上

2 次の科目については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修又は選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。

(1) 第3外国語として履修する基礎外国語科目については、4単位以内

(2) 関係学部長の許可を得た他学部の専門教育科目及びキャリア創生共通科目(専門科目表に属する科目は除く。)については、12単位以内

別表第3

教科及び教職に関する科目（教科に関する専門的事項の科目を除く。）

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
教 育 原 論	2	理 科 教 育 法 III	2
教 職 入 門	2	理 科 教 育 法 IV	2
教 育 社 会 行 政 論	2	数 学 科 教 育 法 I	2
教 育 心 理	2	数 学 科 教 育 法 II	2
特 別 支 援 教 育 論	2	数 学 科 教 育 法 III	2
教 育 課 程 論	2	数 学 科 教 育 法 IV	2
道 徳 指 導 法	2	情 報 科 教 育 法 I	2
特別活動・総合的な学習の時間指導法	2	情 報 科 教 育 法 II	2
教育の方法・技術（ICTの活用含む）	2	教 育 史	2
生徒指導法（進路指導含む）	2	人 権 教 育 論	2
教 育 相 談	2	学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	2
教 育 実 習 I	5	学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	2
教 育 実 習 II	3	学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	2
教職実践演習（中・高）	2	読 書 と 豊 かな 人 間 性	2
国 語 科 教 育 法 基 礎 I	2	情 報 メ デ ィ ア の 活 用	2
国 語 科 教 育 法 基 礎 II	2		
国 語 科 教 育 法 I	2		
国 語 科 教 育 法 II	2		
英 語 科 教 育 法 基 礎 I	2		
英 語 科 教 育 法 基 礎 II	2		
英 語 科 教 育 法 I	2		
英 語 科 教 育 法 II	2		
社 会 科 ・ 地 歴 科 教 育 法 I	2		
社 会 科 ・ 地 歴 科 教 育 法 II	2		
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法 I	2		
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法 II	2		
商 業 科 教 育 法 I	2		
商 業 科 教 育 法 II	2		
理 科 教 育 法 I	2		
理 科 教 育 法 II	2		

別表第4の(1)

図書館学に関する専門教育科目

図書館司書

群	授 業 科 目	単位数	備 考
A群	生涯学習概説	2	12 科目 24 単位 必修
	図書館概論	2	
	情報図書館学	2	
	図書館行政学	2	
	図書館サービス概論	2	
	情報サービス論	2	
	児童サービス論	2	
	情報サービス演習	2	
	図書館情報メディア論	2	
	資料情報組織法	2	
	資料情報組織演習	2	
図書館情報学研究	2		
B群	コミュニケーション論	2	4 単位以上 選択必修
	社会調査法	2	
	情報社会論	2	
	知的財産法II	2	

学校図書館司書教諭

授 業 科 目	単位数	備 考
学校経営と学校図書館	2	5 科目 10 単位 必修
学校図書館メディアの構成	2	
学習指導と学校図書館	2	
読書と豊かな人間性	2	
情報メディアの活用	2	

別表第4の(2)

博物館学に関する専門教育科目

博物館学芸員

授 業 科 目		単位数	備 考
	生涯学習概論	2	11科目必修 19単位
	博物館概論	2	
	博物館経営論	2	
	博物館資料論	2	
	博物館資料保存論	2	
	博物館展示論	2	
	博物館教育論	2	
	博物館情報・メディア論	2	
	博物館実習Ⅰ	1	
	博物館実習Ⅱ	1	
	博物館実習Ⅲ	1	
A	日本史概説Ⅰ	2	2群以上 8単位以上 選択必修
	日本史概説Ⅱ	2	
	アジア史概説Ⅰ	2	
	アジア史概説Ⅱ	2	
	西洋史概説Ⅰ	2	
	西洋史概説Ⅱ	2	
	考古学Ⅰ	2	
	考古学Ⅱ	2	
	民俗学の諸問題Ⅰ	2	
	民俗学の諸問題Ⅱ	2	
B	歴史と美術史	2	
	西洋美術史	2	
	日本美術史	2	
	芸術社会学研究	2	
	モダンアート研究	2	
C	環境学入門	2	
	環境学	2	
	人間環境論Ⅰ	2	
	人間環境論Ⅱ	2	
	環境教育の実践	2	
	地理学通論Ⅰ	2	
D	地理学通論Ⅱ	2	
	環境生物学	2	
	生態学	2	
E	生物学臨海実習	2	
	物理学通論Ⅰ	2	
	物理学通論Ⅱ	2	
	物理学基礎Ⅰ	2	
E	物理学基礎Ⅱ	2	
	物理学基礎Ⅲ	2	

別表第4の(3)

公認心理師に関する専門教育科目

科目群	分野	授業科目	単位数	備考		
心理学基礎科目	心理学基礎科目	必修	公認心理師の職責	2	A群	
			心理学概論	2	B群	
			臨床心理学概論	2	B群	
			心理学研究法	2	B群	
			心理学統計法	2	B群	
		選択必修	心理学実験	2	A群	
			心理学実験実習	2	B群	
心理学発展科目	基礎心理学	必修	知覚・認知心理学	2	B群	
			学習・言語心理学	2	B群	
			感情・人格心理学	2	C群	
			神経・生理心理学	2	B群	
			社会・集団・家族心理学	2	B群	
			発達心理学	2	B群	
			障害者・障害児心理学	2	B群	
			心理的アセスメント	2	B群	
			心理学的支援法	2	A群	
			実践心理学	健康・医療心理学	2	B群
	福祉心理学			2	B群	
	教育・学校心理学			2	B群	
	司法・犯罪心理学			2	B群	
	産業・組織心理学			2	A群	
	心理学 関連科目			人体の構造と機能及び疾病	2	C群
				精神疾患とその治療	2	B群
	関係行政論		2	A群		
科目 実習演習	科目 実習演習	必修	心理演習	2	A群	
			心理実習	2	A群	
演習科目	演習科目	選択	公認心理セミナーⅠ	2	A群	
			公認心理セミナーⅡ	2	A群	
心理学基礎科目の必修科目10単位、選択必修2単位以上、心理学発展科目の必修科目34単位、実習演習科目の必修科目4単位、計25科目50単位以上を修得すること。						

別表第 5

(単位 円)

種 別	金 額	
入 学 受 験 料	大学入学共通テスト利用型入学試験（前期日程）（後期日程） 15,000	
	一般選抜入学試験(前期日程)2教科判定方式、一般選抜入学試験（前期日程）外部英語試験活用型〔併願〕、一般選抜入学試験（中期日程）外部英語試験活用型〔併願〕、大学入学共通テスト併用型入学試験（前期日程）（中期日程）、公募制推薦入学試験【教科科目型】〔併願〕、公募制推薦入学試験【外部英語試験活用型】〔併願〕 5,000	
	公募制推薦入学試験【個性重視型】【探究活動評価型】【女子特別推薦型】	第1次選考 10,000 第2次選考 25,000
	上記以外の入学試験	35,000
科目等履修生検定料	10,000	
研 究 生 申 請 料	1,000	
聴 講 生 検 定 料	5,000	

別表第 6

(単位 円)

入 学 金	250,000
-------	---------

別表第 7 の(1)

授業料

(単位 円)

学 部	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
文学部	936,000	1,151,000	1,151,000	1,151,000
経済学部・法学部・経営学部	936,000	1,111,000	1,111,000	1,111,000
理工学部・知能情報学部	1,321,000	1,570,000	1,570,000	1,570,000
マネジメント創造学部	972,000	1,221,000	1,221,000	1,221,000
フロンティアサイエンス学部	1,496,000	1,746,000	1,746,000	1,746,000
グローバル教養学環	972,000	1,221,000	1,221,000	1,221,000

在学期間中毎年徴収する。

研究資料費

(単位 円)

文学部人間科学科	金 額
	1 年次
	10,000

別表第7の(2)

実験費

(単位 円)

「ラボラトリー・フィジックス」	
「基礎化学実験」「基礎生物学実験」	
1科目	20,000
2科目	35,000
3科目	50,000
「基礎物理学実験」	15,000
「物理学実験1」	20,000
「物理学実験2」	20,000
「物理学実験3」	40,000
「生物学専門実験及び演習Ⅰ」	15,000
「生物学専門実験及び演習Ⅱ」	15,000
「生物学専門実験及び演習Ⅲ」	15,000
「生物学専門実験及び演習Ⅳ」	15,000
「物質化学実験A」	20,000
「物質化学実験B」	20,000
「物質化学実験C」	20,000
「物理学卒業研究」	60,000
「生物学卒業実験」	60,000
「物質化学卒業研究」	60,000
「環境・エネルギー工学卒業研究」	60,000
「科学実験基礎」	10,000
「ラボラトリー・ケミストリー」	20,000
「環境・エネルギー工学実験1」	20,000
「環境・エネルギー工学実験2」	20,000
「環境・エネルギー工学実験3」	20,000
「地学実験」	20,000

別表第7の(3)

実習費

(単位 円)

「物質化学卒業演習及び実習」	30,000
「コース演習：知能ロボット」	5,000
「コース演習：メディアデザイン」	3,000
「コース演習：ヒューマンセンシング」	3,000
「プロジェクト演習」	10,000
「知能情報セミナーⅠ」	5,000
「知能情報セミナーⅡ」	10,000
「卒業研究及び演習」	30,000
教育実習Ⅰ（3週間）	16,000
教育実習Ⅱ（2週間）	11,000
博物館実習Ⅰ	3,000
博物館実習Ⅱ	5,000
博物館実習Ⅲ	5,000
生物学臨海実習	30,000
心理実習	25,000

別表第7の(4)

在籍料

(単位 円)

前 期	75,000
後 期	75,000
通 年	150,000

別表第7の(5)

(単位 円)

種 別	金 額
科目等履修料	1単位 10,000
研究生登録料	50,000

聴講料	1単位 5,000
-----	-----------

※研究生登録料は、別途消費税を加えた額を徴収する。

別表第7の(6)

学修在籍料

(単位 円)

通年	300,000
----	---------

第1章 総則

第1条 甲南大学大学院は、甲南大学の教育精神に基づいて育成された一般的及び専門的教養を基盤として、学術の理論と応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、人類文化の向上発展と社会福祉の増進に貢献することを目的とする。

2 削除

3 甲南大学大学院に修士課程及び博士課程を置く（以下、両課程を表示する場合は「大学院」という。）。

4 修士課程は、学部における一般的及び専門的教養を基礎とし、広い視野に立つて精深な学識を受け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うものとする。

5 博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

6 博士課程は、これを前期2年の課程（以下、修士課程として取り扱うものとする。）及び後期3年の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分する。

第1条の2 大学院は、教育研究水準の向上を図り、大学院の目的及び社会的使命を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、大学院における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

2 前項の点検及び評価に関する規程は、別に定める。

3 大学院は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

第1条の3 大学院は、大学院の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第1条の4 大学院は、大学院における教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によつて、積極的に情報を提供するものとする。

第2章 研究科の組織、教育目標及び収容定員

第2条 大学院には、次の研究科及び専攻を置く。

研究科	専攻	課程
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	修士課程・博士後期課程
	英語英米文学専攻	修士課程・博士後期課程
	応用社会学専攻	修士課程・博士後期課程
	人間科学専攻	修士課程・博士後期課程
自然科学研究科	物理学専攻	修士課程・博士後期課程
	化学専攻	修士課程
	生物学専攻	修士課程
	生命・機能科学専攻	博士後期課程
	知能情報学専攻	修士課程・博士後期課程
	環境・エネルギー工学専攻	修士課程・博士後期課程
社会科学研究科	経済学専攻	修士課程

	経営学専攻	修士課程・博士後期課程
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	修士課程・博士後期課程

第2条の2 各研究科・専攻における人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標は次のとおりとする。

研究科	専攻	人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標
人文科学 研究科	修士課程	人文科学研究科では、4専攻の人文科学の諸分野における、より深い教養と専門知識、技能を身につける機会を学生に提供するとともに、専門職としての資格を持つ高度専門職業人及び論文執筆の可能な自立した研究者の育成を目標とする。高い倫理性と明確な社会への貢献の意志を有する人材の育成を目指す。
	日本語日本文学専攻	日本語学、日本語教育学、日本古典文学、日本近現代文学の四つの専門領域の知識・技能を身につけた研究者・高度専門職業人を養成し社会の要請に応える。日本語・日本文学に関する広汎な知識の修得を促し、豊かな表現力、精緻な分析力、強靱かつ柔軟な思考力を養う。
	英語英米文学専攻	英語圏文学・文化及び英語学・言語科学の領域における高度で先端的な研究活動を促し、確かな英語運用力と、専門分野に関する豊かな学識をもった人材を育成する。その目的達成のため、自ら研究課題を設定し、英語文献及び資料を分析する基礎的な研究能力と、英語による自己表現能力を修得させる。
	応用社会学専攻	応用社会学の分野における専門研究能力や、高度の専門性が求められる職業を担う卓越した能力をもち、併せて優れた倫理観と品格を持った人材を育成する。そのために、資料分析と文献調査についての基礎的な研究能力を修得させるとともに、自ら研究課題を設定する力を涵養する。
	人間科学専攻	哲学、芸術学、心理学の三つの専門領域の担当教員が密接に協力し、教員、博物館学芸員等、現代社会の複雑な問題に柔軟に対応できる幅広い専門知識を備えた専門職業人及び創造性豊かな専門研究者を養成する。高い倫理性と積極的な社会貢献への意志を有する人材の育成を目指す。
博士後期課程		4専攻の人文科学のそれぞれの専門分野における研究状況を適切に把握して、新たな研究課題を探究し、学術論文にまとめ、集大成としての学位論文を執筆することができる高度な学問的能力を備えた人材及び専門職としての資格を持ち、高度な専門的知識、技能によって社会に貢献できる高度専門職業人の育成を目標とする。また、研究によって獲得した高度な学問的達成を、社会に生かすことのできる高い倫理性を備えた人材を養成する。
	日本語日本文学専攻	日本語学、日本語教育学、日本古典文学、日本近現代文学の四つの専門領域の高度な知識・技能を身につけた研究者・高度専門職業人を養成し社会の高度な要請に応える。日本語・日本文学の研究を新たに進展させる研究能力を修得させ、豊かな表現力、精緻な分析力、強靱かつ柔軟な思考力を養う。
	英語英米文学専攻	修士課程までに身につけた英米文化・文学及び英語学・言語科学の領域に関する理解を基盤として、独創性のある研究活動を展開できる高度専門職業人、研究者を育成する。その目的達成のため、きめ細かい指導のもとに研究成果の発表を促し、新たなテーマを自ら発掘・設定する能力、研究成果を説得力豊かに表現する能力を修得させる。

		応用社会学 専攻	応用社会学の分野における専門研究能力を持ち、学界の発展に貢献するだけでなく、優れた倫理観と品格をも併せ持った高度専門職業人、研究者を育成する。そのために独創性のある研究を自ら展開できる構想力を涵養する。
		人間科学専 攻	哲学、芸術学、心理学の三つの専門領域の担当教員が密接に協力し、教員、博物館学芸員等、現代社会の複雑な問題に広く、かつ、深く対応できる幅広い専門知識を備えた高度専門職業人及び創造性豊かな自立した専門研究者を養成する。高い倫理性と積極的な社会貢献への意志を有する人材の育成を目指す。
自然 科学 研究 科	修士課程		建学の理念のもとに、自然科学分野の幅広い知識と専攻分野における専門的な知識及び高い倫理観を教授し、独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者並びに自然科学に関係する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
		物理学専攻	建学の理念のもとに、自然科学分野の幅広い知識と物理学分野における専門的な知識及び高い倫理観を教授し、世界に通用する学識と独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者並びに物理学に関係する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
		化学専攻	現代社会の要請に応じて、基礎的な自然科学の基盤の上に、化学分野における基礎から最先端までの専門的な知識と技能を教授し、これらを身につけた高度専門職業人の育成並びに化学の発展に寄与する研究者の養成を目指す。
		生物学専攻	建学の理念のもとに、自然科学分野の幅広い知識と生物学・生命科学における専門的な知識及び高い倫理観を教授し、独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者並びに生物学・バイオテクノロジーに関係する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
		知能情報学 専攻	建学の理念のもとに、高い倫理観を持ち、知能情報学の基礎分野から応用分野までの広い基礎学力と高度な専門的学問を修得し、独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者並びに知能情報学に関係する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人の育成を目指す。
		環境・エネルギー 工学専 攻	建学の理念のもとに、現代社会の要請に応じて、基礎的な自然科学の基盤の上に、環境・エネルギー工学分野における専門的な知識及び高い倫理観を教授し、これらを身につけた高度専門職業人の育成並びに環境・エネルギー工学の発展に寄与する研究者の養成を目指す。
博士後期課程			建学の理念のもとに、自然科学の専攻分野における専門的な深い知識を教授し、自立して優れた独創的研究・開発ができる能力を持つ研究者並びに自然科学に関係する高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
		物理学専攻	建学の理念のもとに、物理学分野における深い専門的な知識及び高い倫理観を教授し、物理学の各専門分野で自立して優れた独創的研究・開発ができる能力を持つ研究者並びに物理学に関係する高度に専門的な業務

			に従事するに必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
		生命・機能科学専攻	建学の理念のもとに、化学、生物学及びその複合領域における専門的な深い知識を教授し、化学と生物学の有機的複合領域の分野を開拓・深化させることができる、優れた独創的研究・開発能力を持つ自立した研究者並びに化学、生物学及びその複合領域に関係する高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
		知能情報学専攻	建学の理念のもとに、高い倫理観を持ち、知能情報学分野の理論や技術の細分化、複合、境界領域の開拓及び複合化などの変革に対応し、新しい研究分野を開拓・深化し問題発掘・解決能力を身につけ、自立して優れた独創的研究・開発ができる能力を持つ研究者並びに知能情報学に関係する高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人の育成を目指す。
		環境・エネルギー工学専攻	建学の理念のもとに、環境・エネルギー工学分野における深い専門的な知識及び高い倫理観を教授し、環境・エネルギー工学分野の各専門分野で自立して研究・開発ができる能力を持つ研究者並びに環境・エネルギー工学に関係する高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
社会科学 研究科	修士課程		経済社会の激しい変化に対応して充実した活動ができるように、広い視野と豊かな創造力を有し、高度な専門的知識と理解力あるいは革新力を備えた人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、経済学・経営学に関する課題を探索・発見し、論理的かつ体系的に課題を考察・分析する能力、経済社会や企業組織が直面する諸問題に対する解決策を導出する能力を求める。
		経済学専攻	変化の激しい経済社会で充実した活動ができるように、広く経済的視野に立ちながら、同時に高度な専門性を必要とする職業に就く人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、学部で専攻した学問領域を踏まえつつ、経済・社会問題や税務問題を的確に捉える能力、論理的かつ体系的に問題を整理・思考する能力、自らの力で現実問題に対する解決策を示す能力を求める。
		経営学専攻	社会変化に対応して創造性ある問題解決能力を発揮する高度専門職業人並びに経営学に関する理論的・実践的課題を考察・分析する能力を有した研究者を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、経営学に関する高度な専門的知識・理解力、社会変化に対応した新しく多様な情報の探索能力、トータルな人間性・倫理性と豊かな個性に基づいた社会的貢献力、これらに加えて、高度専門職業人養成では、特に産業や企業組織が直面する諸問題を発見・解決する能力、また、研究者養成では、特に経営学に関する理論的・実践的課題を考察・分析する能力を求める。
	博士後期課程	経営学専攻	最先端の経営理論・経営実践を自立独創的に考案・革新する能力を有した創造性豊かな研究者並びに知識基盤社会に資する経営理念・方法を導出する高度で知的な素養のある人材を養成する。これらの人材養成上、

			学生が修得すべき能力として、より高度で複雑な経営現象に関する高度な専門的知識・理解力、社会変化に対応した最先端の経営理論・経営実践の探求能力、トータルな人間性・倫理性と豊かな個性に基づいた社会的貢献力、これらに加えて、研究者の養成では、経営現象や社会変化に対応するための最先端の経営理論・経営実践を自立独創的に考案・革新する能力、また、高度な知的人材養成では、特に経営実践で培われた経験をもとに知識基盤社会に資する経営理念・方法を導出する能力を求める。
フロンティアサイエンス研究科	修士課程	生命化学専攻	教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する専門的な知識と技能を修得させることにより、先進の科学技術を自在に扱うことのできる自立した研究者や、産業界でリーダーとなる人材を養成する。
	博士後期課程	生命化学専攻	生命化学分野における深い専門知識と、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能をバランス良く修得させることにより、自らが最先端科学技術を創出し、科学の新たな分野を開拓できる先導的研究者を養成する。

第3条 研究科の収容定員は、次のとおりとする。

研究科	専攻	修士課程		博士後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	5	10	2	6
	英語英米文学専攻	6	12	3	9
	応用社会学専攻	5	10	2	6
	人間科学専攻	10	20	3	9
	計	26	52	10	30
自然科学研究科	物理学専攻	12	24	3	9
	化学専攻	12	24	—	—
	生物学専攻	5	10	—	—
	生命・機能科学専攻	—	—	3	9
	知能情報学専攻	10	20	2	6
	環境・エネルギー工学専攻	3	6	1	3
	計	42	84	9	27
社会科学研究科	経済学専攻	10	20	—	—
	経営学専攻	10	20	3	9
	計	20	40	3	9
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	15	30	2	6

第3章 授業科目、研究指導及び履修方法

第4条 大学院の教育は、授業科目の授業、学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行うものとする。

第4条の2 教育、研究上有益と認めるときは、他大学の大学院又は研究所等との協議に基づき、学生が当該大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、修士課程の学生について認

める場合は、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

第5条 各研究科における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第1のとおりとする。

第5条の2 大学院の教育は、授業科目の授業及び研究指導によつて行うものとする。

2 前項の研究指導は、第32条に規定する研究指導教員が行うものとする。

第5条の3 大学院は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 大学院は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第6条 修士課程、博士後期課程においては、履修する授業科目の選択及び学位論文の作成について、研究指導教員の承認を得なければならない。

2 授業科目の履修及び学位論文の作成にあつては、学年又は学期の初めに申請して許可を得なければならない。

第6条の2 教育職員免許状を得るための資格を得ようとする者は、別に定める教育職員養成課程に関する規程に従い、必要な単位を修得しなければならない。

2 修士課程において、取得できる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

研究科	専攻	免許教科	免許状の種類
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	国語	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
	英語英米文学専攻	英語	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
	応用社会学専攻	社会	中学校教諭専修免許状
		地理歴史 公民	高等学校教諭専修免許状
	人間科学専攻	社会	中学校教諭専修免許状
		公民	高等学校教諭専修免許状
自然科学研究科	物理学専攻 化学専攻 生物学専攻 環境・エネルギー工学専攻	理科	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
	知能情報学専攻	数学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
	社会科学研究科	経済学専攻	社会
経営学専攻		公民	高等学校教諭専修免許状
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	理科	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状

第4章 標準修業年限及び最長在学年数

第7条 大学院の標準修業年限については、次のとおり定める。

- (1) 修士課程の標準修業年限は、2年とする。
- (2) 博士課程の標準修業年限は、5年とする。なお、博士後期課程の標準修業年限は、3年とする。

第8条 大学院における最長在学年数は、次のとおりとする。

- (1) 修士課程 4年

(2) 博士後期課程 6年

2 修士課程、博士後期課程において、第23条の規定により再入学した者の最長在学年数は、前項に規定する年数から大学院委員会の審議を経て学長が承認した再入学前の在学年数を控除した年数とする。

第8条の2 学生が、職業を有している等の事情により、第7条に規定する標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望するときは、その計画的な履修（以下「長期履修」という。）を認めることができる。

2 前項の規定により長期履修を認めることのできる履修期間は、次のとおりとする。

(1) 修士課程 4年

(2) 博士後期課程 6年

3 長期履修の取扱いに関し必要な事項は、別に定める。

第5章 課程修了の認定並びに学位及びその授与

第9条 単位の認定は、筆記試験、口述試験、報告等によつて、学期末又は学年末に行う。ただし、実験及び演習については、平常の成績によることができる。

第9条の2 研究、教育上有益と認めるときは、他の大学（外国の大学を含む。）との協議に基づき、学生に当該大学の大学院の授業科目を履修させることがある。

2 前項により修得した単位は、15単位を限度として、大学院において修得した単位とみなすことができる。

3 第1項の規定に基づく外国留学（以下「留学」という。）に関しては、この学則に定めるもののほか別に定める。

第9条の3 大学院は、教育上有益と認めるときは、学生が大学院に入学する前に大学院又は他の大学院において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生により修得した単位を含む。）を、大学院に入学した後の大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項により修得したものとみなす単位数は、10単位を超えないものとする。

第9条の4 第9条の2及び第9条の3により修得したものとみなす単位数は、併せて15単位を超えないものとする。

第10条 授業科目の成績は、秀・優・良・可・不可の5種とし、秀・優・良・可を合格とする。

第11条 最終試験は、所定の単位を修得し、学位論文を提出した者について、その論文を中心とし、それに関連のある授業科目について行う。

第12条 論文の審査及び最終試験は、研究科委員会が行う。

第13条 修士課程において、2年以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者は、修士課程を修了したものと認める。ただし、優れた業績を上げた者については、在学期間に関しては1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項の場合において、研究科において適当と認めるときは、特定の課題について研究の成果の審査をもつて修士論文の審査に代えることができる。

3 博士課程において、5年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者は、博士課程を修了したものと認める。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間に関しては3年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

4 第1項ただし書の規定による在学期間をもつて修士課程を修了した者が博士課程において、修士課程における在学期間に3年を加えた期間以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者は、博士課程を修了したものと認める。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間に関しては3年（修士課程における在学期間を含む。）以上在学

すれば足りるものとする。

- 5 前2項の規定にかかわらず第18条第2号から第7号の規定により、博士後期課程に入学した者が3年以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者は、博士課程を修了したものと認める。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間に関しては1年以上在学すれば足りるものとする。

第14条 前条による修士又は博士の課程を修了した者には、大学院研究科委員会及び大学院委員会の審議を経て、学長が学位を授与する。

2 学位の名称は、次のとおりとする。

(1) 修士の学位

人文科学研究科	日本語日本文学専攻	修士（文学）
	英語英米文学専攻	修士（文学）
	応用社会学専攻	修士（社会学）
	人間科学専攻	修士（文学）
自然科学研究科	物理学専攻	修士（理学）
	化学専攻	修士（理学）
	生物学専攻	修士（理学）
	知能情報学専攻	修士（知能情報学）
	環境・エネルギー工学専攻	修士（理工学）
社会科学研究科	経済学専攻	修士（経済学）
	経営学専攻	修士（経営学）
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	修士（理工学）

(2) 博士の学位

人文科学研究科	日本語日本文学専攻	博士（文学）
	英語英米文学専攻	博士（文学）
	応用社会学専攻	博士（社会学）
	人間科学専攻	博士（文学）
自然科学研究科	物理学専攻	博士（理学）
	生命・機能科学専攻	博士（理学）
	知能情報学専攻	博士（知能情報学）
	環境・エネルギー工学専攻	博士（理工学）
社会科学研究科	経営学専攻	博士（経営学）
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	博士（理工学）

第15条 学位及びその授与に関して必要な手続等は、別に定める。

第6章 学年、学期及び休業日

第16条 学年、学期及び休業日については、甲南大学学則第5章を準用する。

第7章 入学、留学、休学、退学及び除籍

第17条 大学院修士課程に入学する資格のある者は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

- (4) 外国の学校が行う通信教育の授業科目を我が国において履修することにより当該外国の16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院修士課程における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (9) 大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
- (10) 大学院において個別の入学資格審査により認めた者

第18条 大学院博士後期課程に入学する資格のある者は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育の授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

第18条の2 入学の時期は、前期又は後期の初めとする。

第18条の3 入学を志願する者は、所定の入学願書及びその他の書類を所定の期間内に提出しなければならない。

第19条 削除

第20条 大学院の入学者は、選考によつて決定する。

2 前項の選考による合格者の決定は、大学院委員会の審議を経て、学長が行う。

3 選考の結果合格し、所定の期日までに入学手続を行った者に入学を許可する。

第20条の2 第9条の2の規定に基づく留学を希望する者は、願い出て学長の許可を受けなければならない。

2 前項により留学をした期間は、第8条及び第13条に規定する在学期間に算入する。

第21条 疾病その他やむを得ない理由により休学を願い出る者があるときは、学長は、これを許可することができる。

2 疾病のため修学に適さないと認められる者については、学長が休学を命ずることがある。

3 休学の期間は、継続して2年を、通算して標準修業年限を超えることができない。

4 休学の期間は、第8条に規定する最長在学年数に算入しない。

5 休学期間中に復学を願い出る者があるときは、学長は、これを許可することができる。

第22条 疾病その他やむを得ない理由によつて退学しようとするときは、学長の許可を受けなければならない。

2 博士後期課程において、所定の単位を修得した者が退学しようとするときも前項に準ずる。

第23条 前条により退学した者が再入学を願い出たときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

第24条 次に該当する者は、除籍する。

- (1) 学費を納付しない者
- (2) 第8条に規定する最長在学年数を超える者
- (3) 第21条に規定する休学期間を超えた者
- (4) 死亡又は行方不明となつた者

2 前項第1号により除籍された者が1年以内に復籍を願い出たとき、又は1年経過後再入学を願い出たときは、審議の上、学長は、これを許可することができる。

第25条 他の大学院に入学又は転学を願い出ようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

第7章の2 外国人留学生

第25条の2 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に定める留学という在留資格の取得を必要とする者が、大学院に入学しようとする場合は、選考の上、学長は、外国人留学生として、これを許可することができる。

2 外国人留学生の受入れについては、別に定める。

第7章の3 科目等履修生、研究生及び聴講生

第25条の3 一又は複数の授業科目を履修する者（以下「科目等履修生」という。）に対し、単位を与えることができる。

2 科目等履修生に対する単位の授与については、第9条及び第10条の規定を準用する。

3 科目等履修生規程については、別に定める。

第25条の4 学生以外の者で第32条及び第32条の2に規定する専任教員の指導を受け、特定の事項について研究しようとする者があるときは、選考の上、学長は、研究生として許可することができる。

2 研究生規程については、別に定める。

第25条の5 特定の授業科目について聴講を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、聴講生として許可することができる。

2 聴講生規程については、別に定める。

第8章 入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料、聴講生検定料、入学金、授業料、研究実験費、施設設備費、在籍料、科目等履修料、研究生料及び聴講料

第26条 大学院に入学を願い出る者は、別表第2に定める入学受験料を納付しなければならない。

2 科目等履修生を願い出る者は、別表第2に定める科目等履修生検定料を納付しなければならない。

3 研究生を願い出る者は、別表第2に定める研究生申請料を納付しなければならない。

4 聴講生を願い出る者は、別表第2に定める聴講生検定料を納付しなければならない。

第27条 大学院に入学を許可された者は、別表第3に定める入学金を納付しなければならない。

第28条 学生は、別表第4の（1）に定める授業料を納付しなければならない。

2 自然科学研究科及びフロンティアサイエンス研究科に在学する者は、別に別表第4の（2）に定める研究実験費を納付しなければならない。

3 削除

4 削除

5 休学中の者は、別表第4の(3)に定める在籍料を納付しなければならない。

第28条の2 科目等履修生は、別表第5に定める科目等履修料を納付しなければならない。

第28条の3 研究生は、別表第5に定める研究生料を納付しなければならない。

第28条の4 聴講生は、別表第5に定める聴講料を納付しなければならない。

第29条 入学金、授業料、研究実験費、施設設備費、在籍料、科目等履修料、研究生料、聴講料等の学費及び入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料、聴講生検定料等の徴収については、別にこれを定める。

第30条 既納の学費、入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料及び聴講生検定料は、返付しない。

2 大学院に入学を許可された者で、指定の期日までに入学手続きの取消しを願い出たものについては、前項にかかわらず、入学金又はこれに相当する金額を除く学費を返還することがある。

第9章 賞罰

第31条 賞罰については、甲南大学学則第8章を準用する。

第10章 教員及び運営組織

第32条 大学院の担当教員は、授業科目の授業を担当する授業担当教員と研究指導を担当する研究指導教員とし、甲南大学の専任教員の中から学長が命ずる。

2 必要があるときは、非常勤講師及び連携客員教授を置くことができる。

第33条 研究科ごとに研究科委員会を置く。

2 研究科委員会に関する規程は、別に定める。

第34条 削除

第35条 各研究科に研究科長を置く。

2 研究科長の選出については、別に定める。

3 削除

第36条 大学院に大学院委員会を置く。

2 大学院委員会に関する規程は、別に定める。

第37条 削除

第11章 削除

第38条 削除

附 則

この学則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和5年11月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和8年4月1日から施行する。

別表第1

人文科学研究科

修士課程

日本語日本文学専攻

授業科目		単位数	備考
専門 科目	(必修)		
	特定研究	2	
	(必修A)		
	日本文学演習Ⅰa	2	
	日本文学演習Ⅰb	2	
	日本文学演習Ⅱa	2	
	日本文学演習Ⅱb	2	
	(必修B)		
	日本語学演習Ⅰa	2	
	日本語学演習Ⅰb	2	
	日本語学演習Ⅱa	2	
	日本語学演習Ⅱb	2	
	(選択)		
	日本文学演習Ⅲa	2	
	日本文学演習Ⅲb	2	
	日本文学研究Ⅰa	2	
	日本文学研究Ⅰb	2	
	日本文学研究Ⅱa	2	
	日本文学研究Ⅱb	2	
	日本文学研究Ⅲa	2	
	日本文学研究Ⅲb	2	
	日本文学研究Ⅳa	2	
	日本文学研究Ⅳb	2	
	日本文学特殊講義Ⅰa	2	
	日本文学特殊講義Ⅰb	2	
	日本文学特殊講義Ⅱa	2	
	日本文学特殊講義Ⅱb	2	
	日本語学演習Ⅲa	2	
	日本語学演習Ⅲb	2	
	日本語学研究Ⅰa	2	
	日本語学研究Ⅰb	2	
	日本語学研究Ⅱa	2	
日本語学研究Ⅱb	2		

	日本語学研究Ⅲa	2
	日本語学研究Ⅲb	2
	日本語学研究Ⅳa	2
	日本語学研究Ⅳb	2
	日本語学特殊講義Ⅰa	2
	日本語学特殊講義Ⅰb	2
	日本語学特殊講義Ⅱa	2
	日本語学特殊講義Ⅱb	2
	日本語教育研究Ⅰ	2
	日本語教育研究Ⅱ	2
	国語科教育特殊講義Ⅰ	2
	国語科教育特殊講義Ⅱ	2
専攻 横断 科目	日本文学の主要問題a	2
	日本文学の主要問題b	2
	日本語学の主要問題a	2
	日本語学の主要問題b	2
	英語学の主要問題a	2
	英語学の主要問題b	2
	英米文学の主要問題a	2
	英米文学の主要問題b	2
	英米文化の主要問題a	2
	英米文化の主要問題b	2
	応用社会学の主要問題Ⅰ	2
	応用社会学の主要問題Ⅱ	2
	歴史学と地理学の主要問題Ⅰ	2
	歴史学と地理学の主要問題Ⅱ	2
	人間科学の主要問題Ⅰ	2
	人間科学の主要問題Ⅱ	2
	人間科学の主要問題Ⅲ	2
	人間科学の主要問題Ⅳ	2
	人間科学の主要問題Ⅴ	2
	人間科学の主要問題Ⅵ	2
人間科学の主要問題Ⅶ	2	
専門探究コース		
1 日本文学を専修する者は、必修（2単位）、必修A（8単位）、選択科目から22単位以上、併せて32単位以上修得すること。		
2 日本語学を専修する者は、必修（2単位）、必修B（8単位）、選択科目から22単位以上、併せて32単位以上修得すること。		
3 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）を、専攻横断科目と併せて8単位を上限として選択科目に充てることができる。		
多元教養コース		

- 1 日本文学を専修する者は、必修（2単位）、必修A（8単位）、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて32単位以上修得すること。
- 2 日本語学を専修する者は、必修（2単位）、必修B（8単位）、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて32単位以上修得すること。
- 3 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。

英語英米文学専攻

授業科目		単位数	備考
専門 科目	(選択必修A)		
	英米文学演習Ⅰa	2	
	英米文学演習Ⅰb	2	
	英米文学演習Ⅱa	2	
	英米文学演習Ⅱb	2	
	英米文学演習Ⅲa	2	
	英米文学演習Ⅲb	2	
	英米文学演習Ⅳa	2	
	英米文学演習Ⅳb	2	
	英米文化演習Ⅰa	2	
	英米文化演習Ⅰb	2	
	英米文化演習Ⅱa	2	
	英米文化演習Ⅱb	2	
	(選択必修B)		
	英語学演習Ⅰa	2	
	英語学演習Ⅰb	2	
	英語学演習Ⅱa	2	
	英語学演習Ⅱb	2	
	英語学演習Ⅲa	2	
	英語学演習Ⅲb	2	
	英語学演習Ⅳa	2	
	英語学演習Ⅳb	2	
	(選択)		
	英米文学特殊講義Ⅰa	2	
	英米文学特殊講義Ⅰb	2	
	英米文学特殊講義Ⅱa	2	
	英米文学特殊講義Ⅱb	2	
	英米文学特殊講義Ⅲa	2	
	英米文学特殊講義Ⅲb	2	
	英米文学特殊講義Ⅳa	2	
	英米文学特殊講義Ⅳb	2	
	英米文化特殊講義Ⅰa	2	
英米文化特殊講義Ⅰb	2		

	英米文化特殊講義Ⅱa	2
	英米文化特殊講義Ⅱb	2
	統語論Ⅰa	2
	統語論Ⅰb	2
	統語論Ⅱa	2
	統語論Ⅱb	2
	音声学Ⅰa	2
	音声学Ⅰb	2
	音声学Ⅱa	2
	音声学Ⅱb	2
	音韻論Ⅰa	2
	音韻論Ⅰb	2
	音韻論Ⅱa	2
	音韻論Ⅱb	2
	意味論Ⅰa	2
	意味論Ⅰb	2
	意味論Ⅱa	2
	意味論Ⅱb	2
	心理言語学Ⅰa	2
	心理言語学Ⅰb	2
	心理言語学Ⅱa	2
	心理言語学Ⅱb	2
	アカデミック・ライティングⅠa	1
	アカデミック・ライティングⅠb	1
	アカデミック・ライティングⅡa	1
	アカデミック・ライティングⅡb	1
専攻 横断 科目	日本文学の主要問題a	2
	日本文学の主要問題b	2
	日本語学の主要問題a	2
	日本語学の主要問題b	2
	英語学の主要問題a	2
	英語学の主要問題b	2
	英米文学の主要問題a	2
	英米文学の主要問題b	2
	英米文化の主要問題a	2
	英米文化の主要問題b	2
	応用社会学の主要問題Ⅰ	2
	応用社会学の主要問題Ⅱ	2
	歴史学と地理学の主要問題Ⅰ	2
	歴史学と地理学の主要問題Ⅱ	2
	人間科学の主要問題Ⅰ	2

	人間科学の主要問題Ⅱ	2
	人間科学の主要問題Ⅲ	2
	人間科学の主要問題Ⅳ	2
	人間科学の主要問題Ⅴ	2
	人間科学の主要問題Ⅵ	2
	人間科学の主要問題Ⅶ	2
関連 基礎 科目	英語英米文学研究Ⅰ	2
	英語英米文学研究Ⅱ	2
	英語英米文学研究Ⅲ	2
	英語英米文学研究Ⅳ	2

専門探究コース

- 1 英語圏文学・文化を専修する者は、選択必修A（12単位以上）、選択科目を併せて32単位以上修得すること。
- 2 英語学・言語科学を専修する者は、選択必修B（8単位以上）、選択科目を併せて32単位以上修得すること。
- 3 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）を、専攻横断科目と併せて8単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 4 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。

多元教養コース

- 1 英語圏文学・文化を専修する者は、選択必修A（12単位以上）、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて32単位以上修得すること。
- 2 英語学・言語科学を専修する者は、選択必修B（8単位以上）、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて32単位以上修得すること。
- 3 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 4 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。

リカレントコース

- 1 選択必修A、選択必修B、専攻横断科目、選択科目を併せて40単位以上修得すること。
- 2 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 3 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。

応用社会学専攻

授業科目		単位数	備考
専門 科目	(必修A)		
	応用社会学演習Ⅰ	2	
	応用社会学演習Ⅱ	2	
	応用社会学演習Ⅲ	2	
	応用社会学演習Ⅳ	2	
	特定研究Ⅰ	2	
	特定研究Ⅱ	2	

	(必修B)	
	総合演習 I	2
	総合演習 II	2
	史学地理学民俗学演習 I	4
	史学地理学民俗学演習 II	4
	(選択)	
	応用社会学特殊講義 I	2
	応用社会学特殊講義 II	2
	家族社会学特殊講義	2
	経験社会学特殊講義	2
	表象文化特殊講義	2
	方法論研究 I	2
	方法論研究 II	2
	方法論研究 III	2
	方法論研究 IV	2
	人類学特殊講義 I	2
	人類学特殊講義 II	2
	社会運動特殊講義	2
	地域文化特殊講義	2
	歴史学特殊講義 I	2
	歴史学特殊講義 II	2
	歴史学特殊講義 III	2
	歴史学特殊講義 IV	2
	歴史学特殊講義 V	2
	歴史学特殊講義 VI	2
	人文地理学特殊講義 I	2
	人文地理学特殊講義 II	2
	民俗文化特殊講義 I	2
	民俗文化特殊講義 II	2
	社会史特殊講義 I	2
	社会史特殊講義 II	2
専攻	日本文学の主要問題a	2
横断	日本文学の主要問題b	2
科目	日本語学の主要問題a	2
	日本語学の主要問題b	2
	英語学の主要問題a	2
	英語学の主要問題b	2
	英米文学の主要問題a	2
	英米文学の主要問題b	2
	英米文化の主要問題a	2
	英米文化の主要問題b	2

	応用社会学の主要問題Ⅰ	2	
	応用社会学の主要問題Ⅱ	2	
	歴史学と地理学の主要問題Ⅰ	2	
	歴史学と地理学の主要問題Ⅱ	2	
	人間科学の主要問題Ⅰ	2	
	人間科学の主要問題Ⅱ	2	
	人間科学の主要問題Ⅲ	2	
	人間科学の主要問題Ⅳ	2	
	人間科学の主要問題Ⅴ	2	
	人間科学の主要問題Ⅵ	2	
	人間科学の主要問題Ⅶ	2	
関連 基礎 科目	応用社会学基礎研究Ⅰ	2	
	応用社会学基礎研究Ⅱ	2	
	史学地理学民俗学基礎研究Ⅰ	2	
	史学地理学民俗学基礎研究Ⅱ	2	

専門探究コース

- 1 社会と文化を専修する者は、必修A（6科目12単位）、選択科目から18単位以上、併せて30単位以上修得すること。
- 2 歴史と地理・民俗を専修する者は、必修B（4科目12単位）、選択科目から18単位以上、併せて30単位以上修得すること。
- 3 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）を、専攻横断科目と併せて8単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 4 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、4単位を上限として選択科目に充てることができる。

多元教養コース

- 1 社会と文化を専修する者は、必修A（6科目12単位）、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて30単位以上修得すること。
- 2 歴史と地理・民俗を専修する者は、必修B（4科目12単位）、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて30単位以上修得すること。
- 3 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 4 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、4単位を上限として選択科目に充てることができる。

人間科学専攻

		授業科目	単位数	備考
専門 科目	必修	人間科学総論	2	
		人間科学演習Ⅰ	2	
		人間科学演習Ⅱ	2	
		人間科学演習Ⅲ	2	
		人間科学演習Ⅳ	2	
	選択	人間科学思想研究	2	

	言語思想研究	2
	現代芸術思想研究	2
	芸術思想研究	2
	人間・環境学研究	2
	環境倫理研究	2
	生命倫理研究	2
	現代思想特論	2
	言語イメージ特論	2
	現代社会と表現	2
	芸術と福祉	2
	美学思想特論	2
	環境教育学特論	2
	心理学特別研究Ⅰ	2
	心理学特別研究Ⅱ	2
	心理学特別研究Ⅲ	2
	心理学特別研究Ⅳ	2
	心理学特別研究Ⅴ	2
	心理学特別研究Ⅵ	2
	発達心理学特論	2
	社会心理学特論	2
	人格心理学特論	2
	臨床心理学特論	2
	心理学統計法特論	2
	心理学研究法特論	2
	生態心理学特論	2
専攻横断科目	日本文学の主要問題a	2
	日本文学の主要問題b	2
	日本語学の主要問題a	2
	日本語学の主要問題b	2
	英語学の主要問題a	2
	英語学の主要問題b	2
	英米文学の主要問題a	2
	英米文学の主要問題b	2
	英米文化の主要問題a	2
	英米文化の主要問題b	2
	応用社会学の主要問題Ⅰ	2
	応用社会学の主要問題Ⅱ	2
	歴史学と地理学の主要問題Ⅰ	2
	歴史学と地理学の主要問題Ⅱ	2
	人間科学の主要問題Ⅰ	2
	人間科学の主要問題Ⅱ	2

	人間科学の主要問題Ⅲ	2
	人間科学の主要問題Ⅳ	2
	人間科学の主要問題Ⅴ	2
	人間科学の主要問題Ⅵ	2
	人間科学の主要問題Ⅶ	2
関連基礎科目	哲学基礎研究Ⅰ	2
	哲学基礎研究Ⅱ	2
	哲学基礎研究Ⅲ	2
	哲学基礎研究Ⅳ	2
	哲学基礎研究Ⅴ	2
	芸術学基礎研究Ⅰ	2
	芸術学基礎研究Ⅱ	2
	芸術学基礎研究Ⅲ	2
	芸術学基礎研究Ⅳ	2
	芸術学基礎研究Ⅴ	2
	心理学基礎研究Ⅰ	2
	心理学基礎研究Ⅱ	2
	心理学基礎研究Ⅲ	2
	心理学基礎研究Ⅳ	2
	心理学基礎研究Ⅴ	2

専門探究コース

- 1 必修科目10単位、選択科目20単位以上、併せて30単位以上修得すること。
- 2 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）を、専攻横断科目と併せて8単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 3 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、4単位を上限として選択科目に充てることができる。

多元教養コース

- 1 必修科目10単位、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて30単位以上を修得すること。
- 2 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 3 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、4単位を上限として選択科目に充てることができる。

リカレントコース

- 1 必修科目10単位、選択科目、専攻横断科目を併せて40単位以上修得すること。
- 2 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 3 関連基礎科目については、12単位を上限として選択科目に充てることができる。

博士後期課程

日本語日本文学専攻

	授業科目	単位数	備考
選択必修	日本文学特殊研究演習Ⅰ	4	

	日本文学特殊研究演習Ⅱ	4	
	日本文学特殊研究演習Ⅲ	4	
	日本語学特殊研究演習Ⅰ	4	
	日本語学特殊研究演習Ⅱ	4	
	日本語学特殊研究演習Ⅲ	4	
	日本文学特殊研究Ⅰ	4	
	日本文学特殊研究Ⅱ	4	
	日本語学特殊研究Ⅰ	4	
	日本語学特殊研究Ⅱ	4	
共通科目	ジョブ型研究インターンシップ	1	
選択必修科目より、演習4単位以上を含め、8単位以上を修得すること。			

英語英米文学専攻

	授業科目	単位数	備考
選択必修	英米文学特殊研究演習Ⅰ	4	
	英米文学特殊研究演習Ⅱ	4	
	英米文学特殊研究演習Ⅲ	4	
	英語学特殊研究演習Ⅰ	4	
	英語学特殊研究演習Ⅱ	4	
	英語学特殊研究演習Ⅲ	4	
	英米文化特殊研究演習Ⅰ	4	
	英米文化特殊研究演習Ⅱ	4	
	英米文化特殊研究演習Ⅲ	4	
	英米文学特殊研究Ⅰ	4	
	英米文学特殊研究Ⅱ	4	
	英米文学特殊研究Ⅲ	4	
	英語学特殊研究Ⅰ	4	
	英語学特殊研究Ⅱ	4	
	英語学特殊研究Ⅲ	4	
	英米文化特殊研究Ⅰ	4	
	英米文化特殊研究Ⅱ	4	
	英米文化特殊研究Ⅲ	4	
共通科目	ジョブ型研究インターンシップ	1	
選択必修科目より、8単位以上を修得すること。			

応用社会学専攻

	授業科目	単位数	備考
選択必修	応用社会学研究演習Ⅰ	4	
	応用社会学研究演習Ⅱ	4	
	応用社会学研究演習Ⅲ	4	
	応用社会学特殊研究Ⅰ	4	
	応用社会学特殊研究Ⅱ	4	
	応用社会学特殊研究Ⅲ	4	

	人文地理学特殊研究 I	4	
	歴史学特殊研究 I	4	
	歴史学特殊研究 II	4	
共通科目	ジョブ型研究インターンシップ	1	
選択必修科目より、8単位以上を修得すること。			

人間科学専攻

授業科目		単位数	備考
選択必修	心理学特殊研究 I	2	
	心理学特殊研究 II	2	
	心理学特殊研究 III	2	
	心理学特殊研究 IV	2	
	心理学特殊研究 V	2	
	心理学特殊研究 VI	2	
	哲学・芸術学特殊研究 I	2	
	哲学・芸術学特殊研究 II	2	
	哲学・芸術学特殊研究 III	2	
	哲学・芸術学特殊研究 IV	2	
	哲学・芸術学特殊研究 V	2	
	人間科学研究演習 I	4	
	人間科学研究演習 II	4	
	人間科学研究演習 III	4	
共通科目	ジョブ型研究インターンシップ	1	
選択必修科目より、10単位以上を修得すること。			

自然科学研究科

修士課程

物理学専攻

授業科目		単位数	備考		
専門 科目	必修	物理学研究演習 I	2		
		物理学研究演習 II	2		
		物理学特別研究	12		
		科学リテラシー	2		
	選択 必修A	宇宙物理学特論 II	2		
		原子核物理学特論 II	2		
		天文学特論	2		
		物理学特殊講義 I	2		
	選択 必修B	物理学特殊講義 II	2		
		光量子エレクトロニクス特論	2		
		電子物性物理学特論	2		
		電子相関物理学特論	2		
			物理学特殊講義 III		2

		物理学特殊講義Ⅳ	2	
基礎 科目	選択 必修C	量子物理学	2	
		固体物理学	2	
		半導体材料物理学	2	
		宇宙物理学特論Ⅰ	2	
		原子核物理学特論Ⅰ	2	
		天文学	2	
		科学技術英語	2	
共通 科目		知的財産法1	2	
		知的財産法2	2	

必修科目18単位、選択必修A科目2単位以上、選択必修B科目2単位以上、選択必修C科目4単位以上を含め、計30単位以上を修得すること。

なお、研究指導教員の指示を受けて他の専攻の講義科目4単位以内を前記選択必修科目の単位に充てることができる。

化学専攻

		授業科目	単位数	備考
専門 科目	必修	化学研究演習1	3	
		化学研究演習2	3	
		化学研究実験	12	
	選択 必修	物理化学特論Ⅱ	2	
		無機化学特論Ⅱ	2	
		有機化学特論Ⅱ	2	
		分析化学特論Ⅱ	2	
		高分子化学特論Ⅱ	2	
		材料化学特論Ⅱ	2	
		化学特殊講義1	1	
		化学特殊講義2	1	
		化学特殊講義3	1	
		化学特殊講義4	1	
基礎 科目	選択 必修	物理化学特論Ⅰ	2	
		無機化学特論Ⅰ	2	
		有機化学特論Ⅰ	2	
		分析化学特論Ⅰ	2	
		高分子化学特論Ⅰ	2	
		材料化学特論Ⅰ	2	
		科学技術英語	2	
共通 科目	選択	知的財産法1	2	
		知的財産法2	2	

専門科目の必修科目18単位、基礎科目の選択必修科目6単位以上、専門科目の選択必修科目6単位以上、計30単位以上を修得すること。なお、研究指導教員の指示を受けて他の専攻の講義科目及び共通科目（選択）4単位以内を専門科目の選択必修科目の単位に充てることができる。

生物学専攻

		授業科目	単位数	備考
専門 科目	必修	生物学研究演習Ⅰ	2	
		生物学研究演習Ⅱ	2	
		生物学研究実験	16	
	選択 必修	生化学特論	2	
		生体調節学	2	
		植物細胞生理学	2	
		分子遺伝学Ⅰ	2	
		分子遺伝学Ⅱ	2	
		多様性生物学	2	
		分子発生生物学	2	
基礎 科目	選択 必修	植物生化学特論	2	
		進化生物学	2	
		有機化学特論Ⅰ	2	
		有機化学特論Ⅱ	2	
		高分子化学特論Ⅰ	2	
		生物学特殊講義Ⅰ	2	
		生物学特殊講義Ⅱ	2	
		生物学特殊講義Ⅲ	2	
共通 科目	選択	生物学特殊講義Ⅳ	2	
		科学技術英語	2	
共通 科目	選択	知的財産法1	2	
		知的財産法2	2	
<p>専門科目中の必修科目20単位、専門科目及び基礎科目中の選択必修科目14単位以上、計34単位以上を修得すること。なお、研究指導教員の指示を受けて他の専攻の講義科目及び共通科目（選択）4単位以内を前記選択必修科目の単位に充てることができる。</p>				

知能情報学専攻

		授業科目	単位数	備考
専門 科目	必修	知能情報学特論	2	
		知能情報学研究演習Ⅰ	2	
		知能情報学研究演習Ⅱ	2	
		知能情報学特別研究	12	
基礎 科目	選択 必修	情報通信システム特論	2	
		ヒューマンインタフェース特論	2	
		知能情報システム特論	2	
		組合せ幾何学特論	2	
		計算機システム特論	2	
		コンピュータアーキテクチャ特論	2	
		数理認識特論	2	
	情報解析特論	2		

		生体情報システム特論	2	
		音響解析特論	2	
		データ工学特論	2	
		映像メディアシステム特論	2	
		可視化とシミュレーション特論	2	
		意思決定特論	2	
		非線形システム特論	2	
		計算理論特論	2	
		ロボティクス特論	2	
		自然言語処理特論	2	
		人工知能特論	2	
	選択	システム最適化特論	2	
		知識データベース特論	2	
		画像工学特論	2	
		ソフトウェア特論	2	
		システムモデリング特論	2	
共通科目	選択	科学技術英語	2	
		知的財産法1	2	
		知的財産法2	2	

必修科目18単位、選択必修科目2単位以上を含め、計30単位以上を修得すること。

環境・エネルギー工学専攻

		授業科目	単位数	備考
専門科目	必修	環境・エネルギー工学演習Ⅰ	3	
		環境・エネルギー工学演習Ⅱ	3	
		環境・エネルギー工学研究実験Ⅰ	6	
		環境・エネルギー工学研究実験Ⅱ	6	
	選択必修	地球科学特論	2	
		光触媒材料特論	2	
		界面物理化学特論	2	
		分子機能学特論	2	
		計算材料科学特論	2	
		半導体材料特論	2	
		有機電子材料特論	2	
		電池材料特論	2	
		環境・エネルギー工学特殊講義Ⅰ	1	
		環境・エネルギー工学特殊講義Ⅱ	1	
		環境・エネルギー工学特殊講義Ⅲ	1	
		環境・エネルギー工学特殊講義Ⅳ	1	
		環境・エネルギー工学特殊講義Ⅴ	1	
		環境・エネルギー工学特殊講義Ⅵ	1	
		基礎	選択	

科目	必修	高分子化学特論 I	2
		分析化学特論 II	2
		有機化学特論 I	2
		科学技術英語	2
		環境・エネルギー工学知的財産法	2

専門科目の必修科目18単位、専門科目の選択必修科目6単位以上、基礎科目の選択必修科目6単位以上、計30単位以上を修得すること。なお、研究指導教員の指示を受けて他の専攻の講義科目4単位以内を専門科目の選択必修科目の単位に充てることができる。

博士後期課程

物理学専攻

授業科目	単位数	備考
(選択必修)		
理論宇宙物理ゼミナール	2	
宇宙粒子物理ゼミナール	2	
原子核物理ゼミナール	2	
光・量子エレクトロニクスゼミナール	2	
光物性ゼミナール	2	
半導体ゼミナール	2	
電子物性物理ゼミナール	2	
(必修)		
物理学特別講義	2	
物理学研究演習Ⅲ	2	
物理学研究演習Ⅳ	2	
物理学研究演習Ⅴ	2	
(共通科目)		
インターンシップ	1	

必修科目8単位、選択必修科目2単位以上、計10単位以上を修得すること。

生命・機能科学専攻

授業科目	単位数	備考
(選択必修 甲)		
生命・機能科学特殊講義 I	2	
生命・機能科学特殊講義 II	2	
生命・機能科学特殊講義 III	2	
(選択必修 乙)		
環境・資源科学ゼミナール	2	
エネルギー科学ゼミナール	2	
分子生命科学ゼミナール	2	
細胞生命科学ゼミナール	2	
(必修)		
生命・機能科学研究演習 I	2	
生命・機能科学研究演習 II	2	

生命・機能科学研究演習Ⅲ	2	
(共通科目)		
インターンシップ	1	
必修科目6単位、選択必修甲から2単位以上、選択必修乙から2単位以上、計10単位以上を修得すること。		

知能情報学専攻

授業科目	単位数	備考
(選択必修 甲)		
情報幾何特別講義	2	
情報調和解析特別講義	2	
多目的システム特別講義	2	
情報通信ネットワーク特別講義	2	
ヒューマンインタフェース特別講義	2	
知能情報システム科学特別講義	2	
知的画像処理特別講義	2	
コンピュータアーキテクチャ特別講義	2	
音声工学特別講義	2	
立体映像システム特別講義	2	
データ工学特別講義	2	
数理認識特別講義	2	
情報可視化特別講義	2	
意思決定特別講義	2	
人工知能特別講義	2	
非線形システム特別講義	2	
認知神経心理学特別講義	2	
ロボット工学特別講義	2	
ソフトウェア解析特別講義	2	
自然言語処理特別講義	2	
(選択必修 乙)		
情報構造ゼミナール	2	
知能システムゼミナール	2	
(選択必修 丙)		
知能情報学研究演習Ⅲ	2	
知能情報学研究演習Ⅳ	2	
知能情報学研究演習Ⅴ	2	
知能情報学研究演習Ⅵ	2	
知能情報学研究演習Ⅶ	2	
(共通科目)		
インターンシップ	1	
選択必修甲から2単位以上、選択必修乙から2単位以上、選択必修丙から6単位、計10単位以上を修得すること。		

環境・エネルギー工学専攻

授業科目	単位数	備考
(必修)		
環境・エネルギー工学演習Ⅲ	2	
環境・エネルギー工学演習Ⅳ	2	
環境・エネルギー工学演習Ⅴ	2	
(選択必修 甲)		
環境・エネルギー工学特別講義Ⅰ	2	
環境・エネルギー工学特別講義Ⅱ	2	
環境・エネルギー工学特別講義Ⅲ	2	
(選択必修 乙)		
環境・計測科学ゼミナール	2	
資源科学ゼミナール	2	
エネルギー材料科学ゼミナール	2	
(共通科目)		
インターンシップ	1	
必修科目6単位、選択必修甲から2単位以上、選択必修乙から2単位以上、計10単位以上を修得すること。		

社会科学部

修士課程

経済学専攻

	授業科目	単位数	備考
基本 科目	マクロ経済学基礎研究	4	
	ミクロ経済学基礎研究	4	
	経済学史基礎研究	4	
	社会思想史基礎研究	4	
	日本経済史基礎研究	4	
	西洋経済史基礎研究	4	
	統計学基礎研究	4	
	計量経済学基礎研究	4	
	租税法のための民法	4	
	租税法のための法学概論	4	
発展 科目	演習Ⅰ	4	
	演習Ⅱ	4	
	課題研究Ⅰ	2	
	課題研究Ⅱ	2	
	経済学原論特殊研究Ⅰ	4	A系 理論・統計・歴史
	経済学原論特殊研究Ⅱ	4	A系 理論・統計・歴史
	経済学原論特殊研究Ⅲ	4	A系 理論・統計・歴史
	経済学史特殊研究	4	A系 理論・統計・歴史
	日本経済史特殊研究	4	A系 理論・統計・歴史
	西洋経済史特殊研究	4	A系 理論・統計・歴史
経済史特殊研究	4	A系 理論・統計・歴史	

統計学特殊研究	4	A系 理論・統計・歴史
計量経済学特殊研究	4	A系 理論・統計・歴史
社会思想史特殊研究	4	A系 理論・統計・歴史
財政学特殊研究	4	B系 財政・金融 C系 公共経済
金融政策論特殊研究	4	B系 財政・金融
経済政策特殊研究	4	B系 財政・金融 D系 国際経済
労働経済学特殊研究	4	C系 公共経済
社会保障財政特殊研究	4	B系 財政・金融 C系 公共経済
日本経済論特殊研究	4	B系 財政・金融 C系 公共経済 D系 国際経済
ファイナンス特殊研究	4	B系 財政・金融
都市政策論特殊研究	4	C系 公共経済 E系 産業・企業
経済体制論特殊研究	4	C系 公共経済 E系 産業・企業
環境経済学特殊研究	4	C系 公共経済 E系 産業・企業
国際経済学特殊研究 I	4	D系 国際経済
国際経済学特殊研究 II	4	D系 国際経済
国際金融論特殊研究	4	B系 財政・金融 D系 国際経済
交通経済論特殊研究	4	E系 産業・企業
産業経済学特殊研究	4	E系 産業・企業
租税法特殊研究 I	4	E系 産業・企業
租税法特殊研究 II	4	E系 産業・企業
租税法特殊研究 III	4	E系 産業・企業
企業組織論特殊研究	4	E系 産業・企業
公共経済学特殊研究	4	C系 公共経済
公共政策特殊研究	4	C系 公共経済

研究コース

発展科目の演習Ⅰ、演習Ⅱ各4単位、発展科目として選択した一つの系から12単位以上、研究指導教員が指示した基本科目4単位以上、計32単位以上を修得すること。

税理コース

発展科目の演習Ⅰ、演習Ⅱ各4単位、発展科目のB系、C系及びE系から併せて12単位以上、研究指導教員が指示した基本科目4単位以上、計32単位以上を修得すること。

社会人コース

発展科目の課題研究Ⅰ、課題研究Ⅱ各2単位、発展科目として選択した二つの系からそれぞれ12単位以上、研究指導教員が指示した基本科目4単位以上、計32単位以上を修得すること。

なお、すべてのコースにおいて、研究指導教員の指示を受けて、経営学専攻及び人文科学研究科応用社会学専攻の講義科目8単位以内を発展科目の単位に充てることができる。

経営学専攻

	授業科目	単位数	備考
演習	演習AⅠ	4	
	演習AⅡ	4	
	演習BⅠ	4	

		演習BⅡ	4	
基本 科目	経営 学系	経営学特論	2	
		経営史特論	2	
		経営学史特論	2	
		経営管理論特論	2	
		経営戦略論特論	2	
		経営財務論特論	2	
		経営労務論特論	2	
		経営組織論特論	2	
		工業経営論特論	2	
		国際経営論特論	2	
		アジア経営論特論	2	
		ベンチャービジネス特論	2	
		経営科学特論	2	
		会計 学系	企業会計論特論	2
	会計制度論特論		2	
	原価計算特論		2	
	管理会計特論		2	
	監査論特論		2	
	情報会計システム論特論		2	
	税務会計特論		2	
	商学 系	国際会計論特論	2	
		マーケティング・サイエンス特論	2	
		マーケティング管理論特論	2	
		国際マーケティング論特論	2	
		金融論特論	2	
		証券論特論	2	
	共通	リスクマネジメント特論	2	
外国文献研究Ⅰ	2			
発展 科目	経営 学系	経営学特殊講義	2	
		経営史特殊講義	2	
		経営学史特殊講義	2	
		経営管理論特殊講義	2	
		経営戦略論特殊講義	2	
		経営財務論特殊講義	2	
		経営労務論特殊講義	2	
		経営組織論特殊講義	2	
		工業経営論特殊講義	2	
		国際経営論特殊講義	2	
		アジア経営論特殊講義	2	
		ベンチャービジネス特殊講義	2	

		経営科学特殊講義	2
会計 学系		企業会計論特殊講義	2
		会計制度論特殊講義	2
		原価計算特殊講義	2
		管理会計特殊講義	2
		監査論特殊講義	2
		情報会計システム論特殊講義	2
		税務会計特殊講義	2
		国際会計論特殊講義	2
商学 系		マーケティング・サイエンス特殊講義	2
		マーケティング管理論特殊講義	2
		国際マーケティング論特殊講義	2
		金融論特殊講義	2
		証券論特殊講義	2
		リスクマネジメント特殊講義	2
共通		外国文献研究Ⅱ	2
応用 科目	経営 学系	マネジメント実務講義Ⅰ	2
		マネジメント実務講義Ⅱ	2
		マネジメント実務講義Ⅲ	2
		ファイナンス実務講義Ⅰ	2
		ファイナンス実務講義Ⅱ	2
	会計 学系	アカウンティング実務講義Ⅰ	2
		アカウンティング実務講義Ⅱ	2
		アカウンティング実務講義Ⅲ	2
	商学 系	マーケティング実務講義Ⅰ	2
		マーケティング実務講義Ⅱ	2
<p>1 経営学コースを履修する者は、必修科目「演習AⅠ」「演習AⅡ」8単位、基本科目から10単位以上、発展科目から10単位以上、併せて30単位以上を修得しなければならない。なお、研究指導教員の許可を得て、1年次で「演習AⅠ」のほか「演習AⅡ」を履修することができる。</p> <p>ビジネスコースを履修する者は、必修科目「演習BⅠ」「演習BⅡ」8単位、基本科目と応用科目から22単位以上、併せて30単位以上を修得しなければならない。なお、研究指導教員の許可を得て、1年次で「演習BⅠ」のほか「演習BⅡ」を履修することができる。</p> <p>2 研究指導教員の指示を受けて、経営学コースを履修する者にあつては応用科目、経済学専攻及び人文科学研究科応用社会学専攻の講義科目から8単位以内を基本科目又は発展科目の単位に、ビジネスコースを履修する者にあつては発展科目、経済学専攻及び人文科学研究科応用社会学専攻の講義科目から10単位以内を基本科目又は応用科目の単位に充てることができる。</p>			

博士後期課程

経営学専攻

授業科目	単位数	備考
(必修)		
演習Ⅰ	4	

演習Ⅱ	4
演習Ⅲ	4
(選択)	
経営学特殊研究	4
経営史特殊研究	4
経営学史特殊研究	4
経営管理論特殊研究	4
経営戦略論特殊研究	4
経営財務論特殊研究	4
経営労務論特殊研究	4
経営組織論特殊研究	4
工業経営論特殊研究	4
国際経営論特殊研究	4
アジア経営論特殊研究	4
ベンチャービジネス特殊研究	4
経営科学特殊研究	4
企業会計論特殊研究	4
会計制度論特殊研究	4
原価計算特殊研究	4
管理会計特殊研究	4
監査論特殊研究	4
情報会計システム論特殊研究	4
税務会計特殊研究	4
国際会計論特殊研究	4
マーケティング・サイエンス特殊研究	4
マーケティング管理論特殊研究	4
金融論特殊研究	4
証券論特殊研究	4
リスクマネジメント特殊研究	4
必修科目「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ」12単位、選択科目4単位以上、計16単位以上を修得すること。なお、研究指導教員の許可を得て、1年次に「演習Ⅰ」のほか「演習Ⅱ」及び「演習Ⅲ」を、2年次に「演習Ⅱ」のほか「演習Ⅲ」を履修することができる。	

フロンティアサイエンス研究科

修士課程

生命化学専攻

授業科目		単位数	備考
必修	ナノバイオ研究実験	12	
選択必修A	上級ナノサイエンス	2	
	上級バイオサイエンス	2	
	上級ナノバイオサイエンス	2	
	上級ケミカルサイエンス	2	

選択必修B	ナノバイオ研究演習1	2	
	ナノバイオ研究演習2	2	
	ナノバイオ国際演習	2	
選択必修C	ナノバイオサイエンス特殊講義	2	
	ケミカルサイエンス特殊講義	2	
	ナノサイエンス特殊講義	2	
	バイオサイエンス特殊講義	2	
選択必修D	ナノバイオ材料工学特論	2	
	ナノバイオ創薬特論	2	
	ナノバイオ医療診断特論	2	
	ナノバイオ機能材料特論	2	
	フロンティアサイエンス特論1	2	
	フロンティアサイエンス特論2	2	
選択必修E	ナノサイエンスゼミナール	2	
	バイオサイエンスゼミナール	2	
	ナノバイオサイエンスゼミナール	2	
	ケミカルサイエンスゼミナール	2	
必修科目12単位、選択必修A科目4単位以上、選択必修B科目4単位以上、選択必修C科目2単位以上、選択必修D科目4単位以上、選択必修E科目2単位以上、計30単位以上を修得すること。			

博士後期課程

生命化学専攻

	授業科目	単位数	備考
選択必修A	ナノバイオ研究演習3	2	
	ナノバイオ研究演習4	2	
	ナノバイオ研究演習5	2	
	ナノバイオ国際研究演習	2	
選択必修B	上級ナノサイエンス特殊講義	2	
	上級バイオサイエンス特殊講義	2	
	上級ナノバイオサイエンス特殊講義	2	
	上級ケミカルサイエンス特殊講義	2	
選択必修C	上級ナノサイエンスゼミナール	2	
	上級バイオサイエンスゼミナール	2	
	上級ナノバイオサイエンスゼミナール	2	
	上級ケミカルサイエンスゼミナール	2	
自由選択科目	ジョブ型研究インターンシップ	1	
選択必修Aから6単位以上、選択必修Bから2単位以上、選択必修Cから2単位以上、計10単位以上を修得すること。			

別表第2

(単位 円)

入学受験料	35,000
-------	--------

科目等履修生検定料	10,000
研究生申請料	1,000
聴講生検定料	5,000

別表第3

(単位 円)

入学金	人文科学研究科・社会科学研究科（経済学専攻・経営学専攻）・ 自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科	300,000
-----	---	---------

別表第4の(1)

(単位 円)

授業料	人文科学研究科・社会科学研究科（経済学専攻・経営学専攻）	617,000
	自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科	803,000

別表第4の(2)

(単位 円)

研究実験費	145,000
-------	---------

別表第4の(3) 削除

別表第4の(4)

在籍料

(単位 円)

前期	150,000
後期	150,000
通年	300,000

別表第5

(単位 円)

科目等履修料	1単位	20,000	
研究生料	人文科学研究科・社会科学研究科	前期	100,000
		後期	100,000
		通年	200,000
	自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科	前期	136,250
		後期	136,250
		通年	272,500
聴講料	1単位	15,000	

※ 自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科の研究生料は、前期・後期各36,250円の研究実験費相当分を含む。

変更事項を記載した書類（変更の事由及び変更点）

1. 自然科学研究科修士課程及び博士後期課程に環境・エネルギー工学科を設置することに伴い、人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標、収容定員、学位、授業科目、その他必要な事項を定める。
2. この学則は、令和8年4月1日から施行する。

甲南大学大学院学則新旧対照表

改正案		現行	
○甲南大学大学院学則		○甲南大学大学院学則	
昭和39年3月31日 認可		昭和39年3月31日 認可	
改正 昭和39年10月22日 省略 (現行どおり)		改正 昭和39年10月22日 省略	
令和7年2月28日 <u>令和7年3月28日</u>		令和7年2月28日	
第1章 総則		第1章 総則	
第1条 甲南大学大学院は、甲南大学の教育精神に基づいて育成された一般的及び専門的教養を基盤として、学術の理論と応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、人類文化の向上発展と社会福祉の増進に貢献することを目的とする。 省略 (現行どおり)		第1条 甲南大学大学院は、甲南大学の教育精神に基づいて育成された一般的及び専門的教養を基盤として、学術の理論と応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、人類文化の向上発展と社会福祉の増進に貢献することを目的とする。 省略	
第2章 研究科の組織、教育目標及び収容定員		第2章 研究科の組織、教育目標及び収容定員	
第2条 大学院には、次の研究科及び専攻を置く。		第2条 大学院には、次の研究科及び専攻を置く。	
研究科	専攻	研究科	専攻
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	人文科学研究科	日本語日本文学専攻
	英語英米文学専攻		英語英米文学専攻
	応用社会学専攻		応用社会学専攻
	人間科学専攻		人間科学専攻
自然科学研究科	物理学専攻	自然科学研究科	物理学専攻
	化学専攻		化学専攻
	生物学専攻		生物学専攻
	生命・機能科学専攻		生命・機能科学専攻
	知能情報学専攻		知能情報学専攻
	<u>環境・エネルギー工学専攻</u>		<u>修士課程・博士後期課程</u>
社会科学研究科	経済学専攻	社会科学研究科	経済学専攻
	経営学専攻		経営学専攻
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻
第2条の2 各研究科・専攻における人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標は次のとおりとする。		第2条の2 各研究科・専攻における人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標は次のとおりとする。	
研究科	専攻	人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標	
人文科学研究科	修士課程	人文科学研究科では、4専攻の人文科学の諸分野における、より深い教養と専門知識、技能を身につける機会を学生に提供するとともに、専門職としての資格を持つ高度専門職業人及び論文執筆の可能な自立した研究者の育成を目標とする。高い倫理性と明確な社会への貢献の意志を有する人材の育成を目指す。	
		日本語日本文学専攻	日本語学、日本語教育学、日本古典文学、日本近現代文学の四つの専門領域の知識・技能を身につけた研究者・高度専門職業人を養成し社会の要請に応える。日本語・日本文学に関する広汎な知識の修得を促し、豊
人文科学研究科	修士課程	人文科学研究科では、4専攻の人文科学の諸分野における、より深い教養と専門知識、技能を身につける機会を学生に提供するとともに、専門職としての資格を持つ高度専門職業人及び論文執筆の可能な自立した研究者の育成を目標とする。高い倫理性と明確な社会への貢献の意志を有する人材の育成を目指す。	
		日本語日本文学専攻	日本語学、日本語教育学、日本古典文学、日本近現代文学の四つの専門領域の知識・技能を身につけた研究者・高度専門職業人を養成し社会の要請に応える。日本語・日本文学に関する広汎な知識の修得を促し、豊

		かな表現力、精緻な分析力、強靱かつ柔軟な思考力を養う。
	英語英米文学専攻	英語圏文学・文化及び英語学・言語科学の領域における高度で先端的な研究活動を促し、確かな英語運用力と、専門分野に関する豊かな学識をもった人材を育成する。その目的達成のため、自ら研究課題を設定し、英語文献及び資料を分析する基礎的な研究能力と、英語による自己表現能力を修得させる。
	応用社会学専攻	応用社会学の分野における専門研究能力や、高度の専門性が求められる職業を担う卓越した能力をもち、併せて優れた倫理観と品格を持った人材を育成する。そのために、資料分析と文献調査についての基礎的な研究能力を修得させるとともに、自ら研究課題を設定する力を涵養する。
	人間科学専攻	哲学、芸術学、心理学の三つの専門領域の担当教員が密接に協力し、教員、博物館学芸員等、現代社会の複雑な問題に柔軟に対応できる幅広い専門知識を備えた専門職業人及び創造性豊かな専門研究者を養成する。高い倫理性と積極的な社会貢献への意志を有する人材の育成を目指す。
博士後期課程	4専攻の人文科学のそれぞれの専門分野における研究状況を適切に把握して、新たな研究課題を探究し、学術論文にまとめ、集大成としての学位論文を執筆することができる高度な学問的能力を備えた人材及び専門職としての資格を持ち、高度な専門的知識、技能によって社会に貢献できる高度専門職業人の育成を目標とする。また、研究によって獲得した高度な学問的達成を、社会に生かすことのできる高い倫理性を備えた人材を養成する。	
	日本語日本文学専攻	日本語学、日本語教育学、日本古典文学、日本近現代文学の四つの専門領域の高度な知識・技能を身につけた研究者・高度専門職業人を養成し社会の高度な要請に応える。日本語・日本文学の研究を新たに進展させる研究能力を修得させ、豊かな表現力、精緻な分析力、強靱かつ柔軟な思考力を養う。
	英語英米文学専攻	修士課程までに身につけた英米文化・文学及び英語学・言語科学の領域に関する理解を基盤として、独創性のある研究活動を展開できる高度専門職業人、研究者を育成する。その目的達成のため、きめ細かい指導のもとに研究成果の発表を促し、新たなテーマを自ら発掘・設定する能力、研究成果を説得力豊かに表現する能力を修得させる。
	応用社会学専攻	応用社会学の分野における専門研究能力を持ち、学界の発展に貢献するだけでなく、優れた倫理観と品格をも併せ持った高度専門職業人、研究者を育成する。そのために独創性のある研究を自ら展開できる構想力を涵養する。
	人間科学専攻	哲学、芸術学、心理学の三つの専門領域の担当教員が密接に協力し、教員、博物館学芸員等、現代社会の複雑な問題に広く、かつ、深く対応できる幅広い専門知識を備えた高度専門職業人及び創造性豊かな自立した専門研究者を養成する。高い倫理性と積極的な社会貢献への意志を有する人材の育成を目指す。
自然科学研究	修士課程	建学の理念のもとに、自然科学分野の幅広い知識と専攻分野における専門的な知識及び高い倫理観を教授し、独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者並びに自然科学に関係する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人を養成す

		かな表現力、精緻な分析力、強靱かつ柔軟な思考力を養う。
	英語英米文学専攻	英語圏文学・文化及び英語学・言語科学の領域における高度で先端的な研究活動を促し、確かな英語運用力と、専門分野に関する豊かな学識をもった人材を育成する。その目的達成のため、自ら研究課題を設定し、英語文献及び資料を分析する基礎的な研究能力と、英語による自己表現能力を修得させる。
	応用社会学専攻	応用社会学の分野における専門研究能力や、高度の専門性が求められる職業を担う卓越した能力をもち、併せて優れた倫理観と品格を持った人材を育成する。そのために、資料分析と文献調査についての基礎的な研究能力を修得させるとともに、自ら研究課題を設定する力を涵養する。
	人間科学専攻	哲学、芸術学、心理学の三つの専門領域の担当教員が密接に協力し、教員、博物館学芸員等、現代社会の複雑な問題に柔軟に対応できる幅広い専門知識を備えた専門職業人及び創造性豊かな専門研究者を養成する。高い倫理性と積極的な社会貢献への意志を有する人材の育成を目指す。
博士後期課程	4専攻の人文科学のそれぞれの専門分野における研究状況を適切に把握して、新たな研究課題を探究し、学術論文にまとめ、集大成としての学位論文を執筆することができる高度な学問的能力を備えた人材及び専門職としての資格を持ち、高度な専門的知識、技能によって社会に貢献できる高度専門職業人の育成を目標とする。また、研究によって獲得した高度な学問的達成を、社会に生かすことのできる高い倫理性を備えた人材を養成する。	
	日本語日本文学専攻	日本語学、日本語教育学、日本古典文学、日本近現代文学の四つの専門領域の高度な知識・技能を身につけた研究者・高度専門職業人を養成し社会の高度な要請に応える。日本語・日本文学の研究を新たに進展させる研究能力を修得させ、豊かな表現力、精緻な分析力、強靱かつ柔軟な思考力を養う。
	英語英米文学専攻	修士課程までに身につけた英米文化・文学及び英語学・言語科学の領域に関する理解を基盤として、独創性のある研究活動を展開できる高度専門職業人、研究者を育成する。その目的達成のため、きめ細かい指導のもとに研究成果の発表を促し、新たなテーマを自ら発掘・設定する能力、研究成果を説得力豊かに表現する能力を修得させる。
	応用社会学専攻	応用社会学の分野における専門研究能力を持ち、学界の発展に貢献するだけでなく、優れた倫理観と品格をも併せ持った高度専門職業人、研究者を育成する。そのために独創性のある研究を自ら展開できる構想力を涵養する。
	人間科学専攻	哲学、芸術学、心理学の三つの専門領域の担当教員が密接に協力し、教員、博物館学芸員等、現代社会の複雑な問題に広く、かつ、深く対応できる幅広い専門知識を備えた高度専門職業人及び創造性豊かな自立した専門研究者を養成する。高い倫理性と積極的な社会貢献への意志を有する人材の育成を目指す。
自然科学研究	修士課程	建学の理念のもとに、自然科学分野の幅広い知識と専攻分野における専門的な知識及び高い倫理観を教授し、独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者並びに自然科学に関係する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人を養成す

科		ることを目的とする。
	物理学専攻	建学の理念のもとに、自然科学分野の幅広い知識と物理学分野における専門的な知識及び高い倫理観を教授し、世界に通用する学識と独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者並びに物理学に関する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
	化学専攻	現代社会の要請に応じて、基礎的な自然科学の基盤の上に、化学分野における基礎から最先端までの専門的な知識と技能を教授し、これらを身につけた高度専門職業人の育成並びに化学の発展に寄与する研究者の養成を目指す。
	生物学専攻	建学の理念のもとに、自然科学分野の幅広い知識と生物学・生命科学における専門的な知識及び高い倫理観を教授し、独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者並びに生物学・バイオテクノロジーに関する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
	知能情報学専攻	建学の理念のもとに、高い倫理観を持ち、知能情報学の基礎分野から応用分野までの広い基礎学力と高度な専門的学問を修得し、独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者並びに知能情報学に関する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人の育成を目指す。
	<u>環境・エネルギー工学専攻</u>	<u>建学の理念のもとに、現代社会の要請に応じて、基礎的な自然科学の基盤の上に、環境・エネルギー工学分野における専門的な知識及び高い倫理観を教授し、これらを身につけた高度専門職業人の育成並びに環境・エネルギー工学の発展に寄与する研究者の養成を目指す。</u>
博士後期課程		建学の理念のもとに、自然科学の専攻分野における専門的な深い知識を教授し、自立して優れた独創的研究・開発ができる能力を持つ研究者並びに自然科学に関する高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
	物理学専攻	建学の理念のもとに、物理学分野における深い専門的な知識及び高い倫理観を教授し、物理学の各専門分野で自立して優れた独創的研究・開発ができる能力を持つ研究者並びに物理学に関する高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
	生命・機能科学専攻	建学の理念のもとに、化学、生物学及びその複合領域における専門的な深い知識を教授し、化学と生物学の有機的複合領域の分野を開拓・深化させることができる、優れた独創的研究・開発能力を持つ自立した研究者並びに化学、生物学及びその複合領域に関する高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
	知能情報学専攻	建学の理念のもとに、高い倫理観を持ち、知能情報学分野の理論や技術の細分化、複合、境界領域の開拓及び複合化などの変革に対応し、新しい研究分野を開拓・深化し問題発掘・解決能力を身につけ、自立して優れた独創的研究・開発ができる能力を持つ研究者並びに知能情報学に関

科		ることを目的とする。
	物理学専攻	建学の理念のもとに、自然科学分野の幅広い知識と物理学分野における専門的な知識及び高い倫理観を教授し、世界に通用する学識と独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者並びに物理学に関する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
	化学専攻	現代社会の要請に応じて、基礎的な自然科学の基盤の上に、化学分野における基礎から最先端までの専門的な知識と技能を教授し、これらを身につけた高度専門職業人の育成並びに化学の発展に寄与する研究者の養成を目指す。
	生物学専攻	建学の理念のもとに、自然科学分野の幅広い知識と生物学・生命科学における専門的な知識及び高い倫理観を教授し、独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者並びに生物学・バイオテクノロジーに関する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
	知能情報学専攻	建学の理念のもとに、高い倫理観を持ち、知能情報学の基礎分野から応用分野までの広い基礎学力と高度な専門的学問を修得し、独創性豊かで優れた研究・開発能力を持つ研究者並びに知能情報学に関する専門的な業務に従事するに必要な能力を持つ高度専門職業人の育成を目指す。
博士後期課程		建学の理念のもとに、自然科学の専攻分野における専門的な深い知識を教授し、自立して優れた独創的研究・開発ができる能力を持つ研究者並びに自然科学に関する高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
	物理学専攻	建学の理念のもとに、物理学分野における深い専門的な知識及び高い倫理観を教授し、物理学の各専門分野で自立して優れた独創的研究・開発ができる能力を持つ研究者並びに物理学に関する高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
	生命・機能科学専攻	建学の理念のもとに、化学、生物学及びその複合領域における専門的な深い知識を教授し、化学と生物学の有機的複合領域の分野を開拓・深化させることができる、優れた独創的研究・開発能力を持つ自立した研究者並びに化学、生物学及びその複合領域に関する高度に専門的な業務に従事するに必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。
	知能情報学専攻	建学の理念のもとに、高い倫理観を持ち、知能情報学分野の理論や技術の細分化、複合、境界領域の開拓及び複合化などの変革に対応し、新しい研究分野を開拓・深化し問題発掘・解決能力を身につけ、自立して優れた独創的研究・開発ができる能力を持つ研究者並びに知能情報学に関

			係する高度に専門的な業務に従事するために必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人の育成を目指す。				係する高度に専門的な業務に従事するために必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人の育成を目指す。
		環境・エネルギー工学専攻	建学の理念のもとに、環境・エネルギー工学分野における深い専門的な知識及び高い倫理観を教授し、環境・エネルギー工学分野の各専門分野で自立して研究・開発ができる能力を持つ研究者並びに環境・エネルギー工学に関する高度に専門的な業務に従事するために必要な卓越した能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。				
社会科学 研究科	修士課程		経済社会の激しい変化に対応して充実した活動ができるように、広い視野と豊かな創造力を有し、高度な専門的知識と理解力あるいは革新力を備えた人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、経済学・経営学に関する課題を探索・発見し、論理的かつ体系的に課題を考察・分析する能力、経済社会や企業組織が直面する諸問題に対する解決策を導出する能力を求める。	社会科学 研究科	修士課程		経済社会の激しい変化に対応して充実した活動ができるように、広い視野と豊かな創造力を有し、高度な専門的知識と理解力あるいは革新力を備えた人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、経済学・経営学に関する課題を探索・発見し、論理的かつ体系的に課題を考察・分析する能力、経済社会や企業組織が直面する諸問題に対する解決策を導出する能力を求める。
		経済学専攻	変化の激しい経済社会で充実した活動ができるように、広く経済的視野に立ちながら、同時に高度な専門性を必要とする職業に就く人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、学部で専攻した学問領域を踏まえつつ、経済・社会問題や税務問題を的確に捉える能力、論理的かつ体系的に問題を整理・思考する能力、自らの力で現実問題に対する解決策を示す能力を求める。			経済学専攻	変化の激しい経済社会で充実した活動ができるように、広く経済的視野に立ちながら、同時に高度な専門性を必要とする職業に就く人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、学部で専攻した学問領域を踏まえつつ、経済・社会問題や税務問題を的確に捉える能力、論理的かつ体系的に問題を整理・思考する能力、自らの力で現実問題に対する解決策を示す能力を求める。
		経営学専攻	社会変化に対応して創造性ある問題解決能力を発揮する高度専門職業人並びに経営学に関する理論的・実践的課題を考察・分析する能力を有した研究者を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、経営学に関する高度な専門的知識・理解力、社会変化に対応した新しく多様な情報の探索能力、トータルな人間性・倫理性と豊かな個性に基づいた社会的貢献力、これらに加えて、高度専門職業人養成では、特に産業や企業組織が直面する諸問題を発見・解決する能力、また、研究者養成では、特に経営学に関する理論的・実践的課題を考察・分析する能力を求める。			経営学専攻	社会変化に対応して創造性ある問題解決能力を発揮する高度専門職業人並びに経営学に関する理論的・実践的課題を考察・分析する能力を有した研究者を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、経営学に関する高度な専門的知識・理解力、社会変化に対応した新しく多様な情報の探索能力、トータルな人間性・倫理性と豊かな個性に基づいた社会的貢献力、これらに加えて、高度専門職業人養成では、特に産業や企業組織が直面する諸問題を発見・解決する能力、また、研究者養成では、特に経営学に関する理論的・実践的課題を考察・分析する能力を求める。
	博士後期課程	経営学専攻	最先端の経営理論・経営実践を自立独創的に考案・革新する能力を有した創造性豊かな研究者並びに知識基盤社会に資する経営理念・方法を導出する高度で知的な素養のある人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、より高度で複雑な経営現象に関する高度な専門的知識・理解力、社会変化に対応した最先端の経営理論・経営実践の探求能力、トータルな人間性・倫理性と豊かな個性に基づいた社会的貢献力、これらに加えて、研究者の養成では、経営現象や社会変化に対応するための最先端の経営理論・経営実践を自立独創的に考案・革新する能力、また、高度な知的人材養成では、特に経営実践で培われた経験をもとに知識基盤社会に資する経営理念・方法を導出する能力を求める。		博士後期課程	経営学専攻	最先端の経営理論・経営実践を自立独創的に考案・革新する能力を有した創造性豊かな研究者並びに知識基盤社会に資する経営理念・方法を導出する高度で知的な素養のある人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、より高度で複雑な経営現象に関する高度な専門的知識・理解力、社会変化に対応した最先端の経営理論・経営実践の探求能力、トータルな人間性・倫理性と豊かな個性に基づいた社会的貢献力、これらに加えて、研究者の養成では、経営現象や社会変化に対応するための最先端の経営理論・経営実践を自立独創的に考案・革新する能力、また、高度な知的人材養成では、特に経営実践で培われた経験をもとに知識基盤社会に資する経営理念・方法を導出する能力を求める。
フロンティア サイ	修士課程	生命化学専攻	教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する専門的な知識と技能を修得させることにより、先進の科学技術を自在に扱うことのできる自立した研究者や、産業界でリーダーとなる人材を養成する。	フロンティア サイ	修士課程	生命化学専攻	教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する専門的な知識と技能を修得させることにより、先進の科学技術を自在に扱うことのできる自立した研究者や、産業界でリーダーとなる人材を養成する。

エンス研究科	博士後期課程	生命化学専攻	生命化学分野における深い専門知識と、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能をバランス良く修得させることにより、自らが最先端科学技術を創出し、科学の新たな分野を開拓できる先導的研究者を養成する。
--------	--------	--------	--

第3条 研究科の収容定員は、次のとおりとする。

研究科	専攻	修士課程		博士後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	5	10	2	6
	英語英米文学専攻	6	12	3	9
	応用社会学専攻	5	10	2	6
	人間科学専攻	10	20	3	9
	計	26	52	10	30
自然科学研究科	物理学専攻	12	24	3	9
	化学専攻	12	24	—	—
	生物学専攻	5	10	—	—
	生命・機能科学専攻	—	—	3	9
	知能情報学専攻	10	20	2	6
	環境・エネルギー工学専攻	3	6	1	3
	計	42	84	9	27
社会科学研究科	経済学専攻	10	20	—	—
	経営学専攻	10	20	3	9
	計	20	40	3	9
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	15	30	2	6

第3章 授業科目、研究指導及び履修方法

第4条 大学院の教育は、授業科目の授業、学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によつて行うものとする。

第4条の2 教育、研究上有益と認めるときは、他大学の大学院又は研究所等との協議に基づき、学生が当該大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、修士課程の学生について認める場合は、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

第5条 各研究科における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第1のとおりとする。

第5条の2 大学院の教育は、授業科目の授業及び研究指導によつて行うものとする。

2 前項の研究指導は、第32条に規定する研究指導教員が行うものとする。

第5条の3 大学院は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 大学院は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第6条 修士課程、博士後期課程においては、履修する授業科目の選択及び学位論文の作成について、研究指導教員の承認を得なければならない。

エンス研究科	博士後期課程	生命化学専攻	生命化学分野における深い専門知識と、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能をバランス良く修得させることにより、自らが最先端科学技術を創出し、科学の新たな分野を開拓できる先導的研究者を養成する。
--------	--------	--------	--

第3条 研究科の収容定員は、次のとおりとする。

研究科	専攻	修士課程		博士後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	5	10	2	6
	英語英米文学専攻	6	12	3	9
	応用社会学専攻	5	10	2	6
	人間科学専攻	10	20	3	9
	計	26	52	10	30
自然科学研究科	物理学専攻	12	24	3	9
	化学専攻	12	24	—	—
	生物学専攻	5	10	—	—
	生命・機能科学専攻	—	—	3	9
	知能情報学専攻	10	20	2	6
	計	39	78	8	24
社会科学研究科	経済学専攻	10	20	—	—
	経営学専攻	10	20	3	9
	計	20	40	3	9
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	15	30	2	6

第3章 授業科目、研究指導及び履修方法

第4条 大学院の教育は、授業科目の授業、学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によつて行うものとする。

第4条の2 教育、研究上有益と認めるときは、他大学の大学院又は研究所等との協議に基づき、学生が当該大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、修士課程の学生について認める場合は、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

第5条 各研究科における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第1のとおりとする。

第5条の2 大学院の教育は、授業科目の授業及び研究指導によつて行うものとする。

2 前項の研究指導は、第32条に規定する研究指導教員が行うものとする。

第5条の3 大学院は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 大学院は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第6条 修士課程、博士後期課程においては、履修する授業科目の選択及び学位論文の作成について、研究指導教員の承認を得なければならない。

2 授業科目の履修及び学位論文の作成にあたっては、学年又は学期の初めに申請して許可を得なければならない。

第6条の2 教育職員免許状を得るための資格を得ようとする者は、別に定める教育職員養成課程に関する規程に従い、必要な単位を修得しなければならない。

2 修士課程において、取得できる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

研究科	専攻	免許教科	免許状の種類
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	国語	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
	英語英米文学専攻	英語	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
	応用社会学専攻	社会	中学校教諭専修免許状
		地理歴史 公民	高等学校教諭専修免許状
人間科学専攻	社会	中学校教諭専修免許状	
	公民	高等学校教諭専修免許状	
自然科学研究科	物理学専攻 化学専攻 生物学専攻 <u>環境・エネルギー工学専攻</u>	理科	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
	知能情報学専攻	数学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
	社会科学研究科	経済学専攻	社会
経営学専攻		公民	高等学校教諭専修免許状
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	理科	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状

第4章 標準修業年限及び最長在学年数

第7条 大学院の標準修業年限については、次のとおり定める。

|省略(現行どおり)|

第5章 課程修了の認定並びに学位及びその授与

第9条 単位の認定は、筆記試験、口述試験、報告等によつて、学期末又は学年末に行う。ただし、実験及び演習については、平常の成績によることができる。

第9条の2 研究、教育上有益と認めるときは、他の大学(外国の大学を含む。)との協議に基づき、学生に当該大学の大学院の授業科目を履修させることがある。

2 前項により修得した単位は、15単位を限度として、大学院において修得した単位とみなすことができる。

3 第1項の規定に基づく外国留学(以下「留学」という。)に関しては、この学則に定めるもののほか別に定める。

第9条の3 大学院は、教育上有益と認めるときは、学生が大学院に入学する前に大学院又は他の大学院において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生により修得した単位を含む。)を、大学院に入学した後の大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項により修得したものとみなす単位数は、10単位を超えないものとする。

2 授業科目の履修及び学位論文の作成にあたっては、学年又は学期の初めに申請して許可を得なければならない。

第6条の2 教育職員免許状を得るための資格を得ようとする者は、別に定める教育職員養成課程に関する規程に従い、必要な単位を修得しなければならない。

2 修士課程において、取得できる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

研究科	専攻	免許教科	免許状の種類
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	国語	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
	英語英米文学専攻	英語	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
	応用社会学専攻	社会	中学校教諭専修免許状
		地理歴史 公民	高等学校教諭専修免許状
人間科学専攻	社会	中学校教諭専修免許状	
	公民	高等学校教諭専修免許状	
自然科学研究科	物理学専攻 化学専攻 生物学専攻	理科	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
	知能情報学専攻	数学	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
	社会科学研究科	経済学専攻	社会
経営学専攻		公民	高等学校教諭専修免許状
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	理科	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状

第4章 標準修業年限及び最長在学年数

第7条 大学院の標準修業年限については、次のとおり定める。

|省略|

第5章 課程修了の認定並びに学位及びその授与

第9条 単位の認定は、筆記試験、口述試験、報告等によつて、学期末又は学年末に行う。ただし、実験及び演習については、平常の成績によることができる。

第9条の2 研究、教育上有益と認めるときは、他の大学(外国の大学を含む。)との協議に基づき、学生に当該大学の大学院の授業科目を履修させることがある。

2 前項により修得した単位は、10単位を限度として、大学院において修得した単位とみなすことができる。

3 第1項の規定に基づく外国留学(以下「留学」という。)に関しては、この学則に定めるもののほか別に定める。

第9条の3 大学院は、教育上有益と認めるときは、学生が大学院に入学する前に大学院又は他の大学院において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生により修得した単位を含む。)を、大学院に入学した後の大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項により修得したものとみなす単位数は、10単位を超えないものとする。

第9条の4 第9条の2及び第9条の3により修得したものとみなす単位数は、併せて15単位を超えないものとする。

第10条 授業科目の成績は、秀・優・良・可・不可の5種とし、秀・優・良・可を合格とする。

第11条 最終試験は、所定の単位を修得し、学位論文を提出した者について、その論文を中心とし、それに関連のある授業科目について行う。

第12条 論文の審査及び最終試験は、研究科委員会が行う。

第13条 修士課程において、2年以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者は、修士課程を修了したものと認める。ただし、優れた業績を上げた者については、在学期間に関しては1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項の場合において、研究科において適当と認めるときは、特定の課題について研究の成果の審査をもつて修士論文の審査に代えることができる。

3 博士課程において、5年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者は、博士課程を修了したものと認める。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間に関しては3年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

4 第1項ただし書の規定による在学期間をもつて修士課程を修了した者が博士課程において、修士課程における在学期間に3年を加えた期間以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者は、博士課程を修了したものと認める。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間に関しては3年（修士課程における在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

5 前2項の規定にかかわらず第18条第2号から第7号の規定により、博士後期課程に入学した者が3年以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者は、博士課程を修了したものと認める。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間に関しては1年以上在学すれば足りるものとする。

第14条 前条による修士又は博士の課程を修了した者には、大学院研究科委員会及び大学院委員会の審議を経て、学長が学位を授与する。

2 学位の名称は、次のとおりとする。

(1) 修士の学位

人文科学研究科	日本語日本文学専攻	修士（文学）
	英語英米文学専攻	修士（文学）
	応用社会学専攻	修士（社会学）
	人間科学専攻	修士（文学）
自然科学研究科	物理学専攻	修士（理学）
	化学専攻	修士（理学）
	生物学専攻	修士（理学）
	知能情報学専攻	修士（知能情報学）
	<u>環境・エネルギー工学専攻</u>	<u>修士（理工学）</u>
社会科学研究科	経済学専攻	修士（経済学）
	経営学専攻	修士（経営学）

第9条の4 第9条の2及び第9条の3により修得したものとみなす単位数は、併せて10単位を超えないものとする。

第10条 授業科目の成績は、秀・優・良・可・不可の5種とし、秀・優・良・可を合格とする。

第11条 最終試験は、所定の単位を修得し、学位論文を提出した者について、その論文を中心とし、それに関連のある授業科目について行う。

第12条 論文の審査及び最終試験は、研究科委員会が行う。

第13条 修士課程において、2年以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者は、修士課程を修了したものと認める。ただし、優れた業績を上げた者については、在学期間に関しては1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項の場合において、研究科において適当と認めるときは、特定の課題について研究の成果の審査をもつて修士論文の審査に代えることができる。

3 博士課程において、5年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者は、博士課程を修了したものと認める。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間に関しては3年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

4 第1項ただし書の規定による在学期間をもつて修士課程を修了した者が博士課程において、修士課程における在学期間に3年を加えた期間以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者は、博士課程を修了したものと認める。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間に関しては3年（修士課程における在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

5 前2項の規定にかかわらず第18条第2号から第7号の規定により、博士後期課程に入学した者が3年以上在学し、専攻ごとに定められた授業科目を所定の単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者は、博士課程を修了したものと認める。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間に関しては1年以上在学すれば足りるものとする。

第14条 前条による修士又は博士の課程を修了した者には、大学院研究科委員会及び大学院委員会の審議を経て、学長が学位を授与する。

2 学位の名称は、次のとおりとする。

(1) 修士の学位

人文科学研究科	日本語日本文学専攻	修士（文学）
	英語英米文学専攻	修士（文学）
	応用社会学専攻	修士（社会学）
	人間科学専攻	修士（文学）
自然科学研究科	物理学専攻	修士（理学）
	化学専攻	修士（理学）
	生物学専攻	修士（理学）
	知能情報学専攻	修士（知能情報学）
社会科学研究科	経済学専攻	修士（経済学）
	経営学専攻	修士（経営学）

フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	修士（理工学）
(2) 博士の学位		
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	博士（文学）
	英語英米文学専攻	博士（文学）
	応用社会学専攻	博士（社会学）
	人間科学専攻	博士（文学）
自然科学研究科	物理学専攻	博士（理学）
	生命・機能科学専攻	博士（理学）
	知能情報学専攻	博士（知能情報学）
	<u>環境・エネルギー工学専攻</u>	<u>博士（理工学）</u>
社会科学研究科	経営学専攻	博士（経営学）
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	博士（理工学）

第15条 学位及びその授与に関して必要な手続等は、別に定める。

第6章 学年、学期及び休業日

第16条 学年、学期及び休業日については、甲南大学学則第5章を準用する。

| 省略（現行どおり）

附 則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和8年4月1日から施行する。

別表第1

人文科学研究科

| 省略（現行どおり）

自然科学研究科

修士課程

| 省略（現行どおり）

環境・エネルギー工学専攻

		授業科目	単位数	備考
専門 科目	必修	<u>環境・エネルギー工学演習Ⅰ</u>	3	
		<u>環境・エネルギー工学演習Ⅱ</u>	3	
		<u>環境・エネルギー工学研究実験Ⅰ</u>	6	
		<u>環境・エネルギー工学研究実験Ⅱ</u>	6	
選択 必修		<u>地球科学特論</u>	2	
		<u>光触媒材料特論</u>	2	
		<u>界面物理化学特論</u>	2	
		<u>分子機能学特論</u>	2	
		<u>計算材料科学特論</u>	2	
		<u>半導体材料特論</u>	2	

フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	修士（理工学）
(2) 博士の学位		
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	博士（文学）
	英語英米文学専攻	博士（文学）
	応用社会学専攻	博士（社会学）
	人間科学専攻	博士（文学）
自然科学研究科	物理学専攻	博士（理学）
	生命・機能科学専攻	博士（理学）
	知能情報学専攻	博士（知能情報学）
	社会科学研究科	経営学専攻
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	博士（理工学）

第15条 学位及びその授与に関して必要な手続等は、別に定める。

第6章 学年、学期及び休業日

第16条 学年、学期及び休業日については、甲南大学学則第5章を準用する。

| 省略

附 則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。

別表第1

人文科学研究科

| 省略

自然科学研究科

修士課程

| 省略

		<u>有機電子材料特論</u>	<u>2</u>
		<u>電池材料特論</u>	<u>2</u>
		<u>環境・エネルギー工学特殊講義Ⅰ</u>	<u>1</u>
		<u>環境・エネルギー工学特殊講義Ⅱ</u>	<u>1</u>
		<u>環境・エネルギー工学特殊講義Ⅲ</u>	<u>1</u>
		<u>環境・エネルギー工学特殊講義Ⅳ</u>	<u>1</u>
		<u>環境・エネルギー工学特殊講義Ⅴ</u>	<u>1</u>
		<u>環境・エネルギー工学特殊講義Ⅵ</u>	<u>1</u>
基礎 科目	選択	<u>材料化学特論Ⅱ</u>	<u>2</u>
	必修	<u>高分子化学特論Ⅰ</u>	<u>2</u>
		<u>分析化学特論Ⅱ</u>	<u>2</u>
		<u>有機化学特論Ⅰ</u>	<u>2</u>
		<u>科学技術英語</u>	<u>2</u>
		<u>環境・エネルギー工学知的財産法</u>	<u>2</u>
専門科目の必修科目18単位、専門科目の選択必修科目6単位以上、基礎科目の選択必修科目6単位以上、計30単位以上を修得すること。なお、研究指導教員の指示を受けて他の専攻の講義科目4単位以内を専門科目の選択必修科目の単位に充てることができる。			

博士後期課程

| 省略 (現行どおり)

環境・エネルギー工学専攻

授業科目	単位数	備考
<u>(必修)</u>		
<u>環境・エネルギー工学演習Ⅲ</u>	<u>2</u>	
<u>環境・エネルギー工学演習Ⅳ</u>	<u>2</u>	
<u>環境・エネルギー工学演習Ⅴ</u>	<u>2</u>	
<u>(選択必修 甲)</u>		
<u>環境・エネルギー工学特別講義Ⅰ</u>	<u>2</u>	
<u>環境・エネルギー工学特別講義Ⅱ</u>	<u>2</u>	
<u>環境・エネルギー工学特別講義Ⅲ</u>	<u>2</u>	
<u>(選択必修 乙)</u>		
<u>環境・計測科学ゼミナール</u>	<u>2</u>	
<u>資源科学ゼミナール</u>	<u>2</u>	
<u>エネルギー材料科学ゼミナール</u>	<u>2</u>	
<u>(共通科目)</u>		
<u>インターンシップ</u>	<u>1</u>	
必修科目6単位、選択必修甲から2単位以上、選択必修乙から2単位以上、計10単位以上を修得すること。		

社会科学研究科

修士課程

| 省略 (現行どおり)

別表第5

博士後期課程

| 省略

社会科学研究科

修士課程

| 省略

別表第5

(単位 円)

科目等履修料		1単位	20,000
研究生料	人文科学研究科・社会科学研究科	前期	100,000
		後期	100,000
		通年	200,000
	自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科	前期	136,250
		後期	136,250
		通年	272,500
聴講料		1単位	15,000

※ 自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科の研究生料は、前期・後期各36,250円の研究実験費相当分を含む。

(単位 円)

科目等履修料		1単位	20,000
研究生料	人文科学研究科・社会科学研究科	前期	100,000
		後期	100,000
		通年	200,000
	自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科	前期	136,250
		後期	136,250
		通年	272,500
聴講料		1単位	15,000

※ 自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科の研究生料は、前期・後期各36,250円の研究実験費相当分を含む。

○甲南大学大学院研究科委員会運営規程

平成21年12月17日

大学会議制定

改正 平成25年3月14日

平成27年3月19日

平成27年4月1日

学長決定

改正 平成28年3月17日

平成30年10月18日

(目的)

第1条 この規程は、甲南大学大学院学則に基づき、研究科委員会の運営等に必要な事項について定めることを目的とする。

(構成)

第2条 大学院の各研究科に研究科委員会を置く。

2 研究科委員会は、当該研究科に所属する研究指導教員をもつて構成する。

3 前項の規定にかかわらず、社会科学研究科委員会の構成については別に定める。

(審議事項)

第3条 研究科委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 研究指導及び授業に関すること。
- (2) 研究科における専攻課程に関すること。
- (3) 研究科担当教員の推薦に関すること。
- (4) 大学院入学者の検定に関すること。
- (5) 学位論文の審査及び最終試験に関すること。
- (6) 研究科に関し学長から諮問された事項

(研究科長)

第4条 各研究科に研究科長を置く。

2 研究科長候補者は、研究科に所属する研究指導教員である教授の中から、研究科委員会が選出する。

3 前項の規定にかかわらず、社会科学研究科長の選出方法は別に定める。

(運営)

第5条 研究科委員会は、研究科長がこれを招集し、その議長となつて研究科の運営に当た

る。

- 2 研究科長に事故があるときは、原則として、当該研究科選出の大学院委員会委員のうち年長者がこれに代わる。
- 3 研究科委員会は、研究科委員会委員の過半数の出席を必要とし、議長が議決を必要と判断するときは、出席委員の過半数をもつて議決する。
- 4 第3条第5号の学位授与に関する事項は、前項の規定にかかわらず、研究科委員会の委員の3分の2以上の出席を必要とし、出席委員の3分の2以上の賛成をもつて議決する。

(構成員以外の出席)

第6条 議長は、必要に応じて研究科委員会の承認を得て、研究指導教員以外の教員を出席させることができる。ただし、構成員以外の者は、議決権を有しない。

(事務)

第7条 研究科委員会に関する事務は、事務分掌規程に定める学部事務室が行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、大学院委員会及び大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 大学院研究科委員会規程（昭和39年5月28日大学会議制定）は、廃止する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改廃は、平成27年4月1日から学長決定により行う。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年10月18日から施行する。